

CASIO

授業特化型アプリ

ClassPad.net

ClassPad.net



ClassPad.net

導入・実践事例集
Vol. 6

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

製品情報 <https://classpad.net/jp/>

3年連続受賞!



導入・実践事例集 vol.6

index

熊本国府高等学校 様	P.02
●現代文	P.04
●英語	P.06
●数学	P.08
常葉大学附属橘中学校・高等学校 様	P.10
●古文	P.12
●現代文	P.14
●英語	P.16
●日本史①	P.18
●日本史②	P.20
●数学①	P.22
●数学②	P.24
●化学	P.26
●美術①	P.28
●美術②	P.30
SDGsワークショップ/TPRプロジェクト	P.32
●探究①	P.34
●探究②	P.36
●探究③	P.38
●探究④	P.40
●探究⑤	P.42
浦和実業学園中学校・高等学校 様	P.44
●古文①	P.46
●古文②	P.48
大阪産業大学附属高等学校 様	P.50
●古文	P.52
●英語①	P.54
●英語②	P.56
●英語③	P.58
●数学①	P.60
●数学②	P.62
●情報	P.64
東京立正中学校・高等学校 様	P.66
●現代文	P.68
●数学	P.70
●特別授業	P.72
京都女子中学校・高等学校 様	P.76
●英語	P.78
●数学	P.80
遊学館高等学校 様	P.82
●漢文	P.84
●英語	P.86
●数学	P.88
●情報	P.90
静岡サレジオ高等学校 様	P.92
●地理総合	P.94
●世界史探究	P.96
●数学	P.98
江東区立辰巳中学校 様	P.100
●英語	P.102
●理科	P.104
信州大学教育学部附属長野中学校 様	P.106
●英語①	P.108
●英語②	P.110
活用サポート	P.112

熊本国府高等学校様〈熊本県〉

校訓・学校の教育目的

礼節 創造 自立

本校には建学の精神があります。その中の一節が「真に役立つ人材の育成」です。社会に出て、活かされるような生徒を育てていきたいと思っております。また、2021年の創立80周年を期に、この10年間のキャッチフレーズとして「君への追い風 はじめる物語(ストーリー)」というものを決めました。みんなが一人一人の追い風になろう。そして先生方も保護者の方々も地域の方々も、本校生徒の追い風になっていただきたい。このような気持ちで、教育を進めています。

ICT教育の課題・テーマ

ICT教育への取り組みの格差

ICT教育は最近導入されたものですから、アレルギー反応を持っていらっしゃる先生も少しいるかな、と感じています。そういう先生方も一生懸命、自分ができることを行っているところですが、このICT教育への取り組みの格差が、一番の課題だと思っています。ICT教育は、様々な教育現場で役に立つシステムになっていきます。今後、生徒たちの学習の向上のために、全校で取り組んでいきたいと考えています。

端末整備状況

本校は、令和4年度から1人1台端末を学年進行で行っております。現在は全学年が1人1台端末を持っている状態です。

ClassPad.net導入に至った経緯と理由

オンライン辞書機能の存在、そして生徒たちが主体的に学べ、リアルタイムで先生方が返信できること

元々カシオの電子辞書を使用していましたが、ICT教育を導入するにあたっては、電子辞書と、それに加えてICT端末の両方を持たせるのはいかなものかという議論がありました。ClassPad.netにはオンライン辞書機能が備わっているため、電子辞書は持たなくて良い。そこが導入の一番のきっかけでした。ClassPad.netにはオンライン辞書機能の他にも、様々な機能があります。先生方の「他の機能もどんどん使っていこう」という積極的な取り組みから、ClassPad.netを本格的に導入させていただきました。生徒たちが主体的に学んでいく、リアルタイムで先生方が返信できる、というところがClassPad.netを利用している理由です。



谷口 晋平 校長先生



現代文 松本 真也 先生

現代の国語「文化としての科学」を読み解く授業
積極的に授業に参加する生徒の割合が7~8割→ほぼ10割に!

→ P.04



英語 浦田 大夢 先生

他己紹介を英文で作り上げる論理・表現の授業
英語が苦手な生徒でも集中力を切らさず授業に取り組めるように!

→ P.06



数学 草原 俊寛 先生

余弦定理を利用し練習問題を解く授業
添削の大幅なスピードアップとペーパーレス化を実現!

→ P.08



積極的に授業に参加する生徒の割合が 7～8割→ほぼ10割に!

～現代の国語「文化としての科学」を読み解く授業～

授業支援機能で提出状況が
把握できることで生徒へコンタクトを
取るが増えました!

授業のポイント
動画を
ご紹介

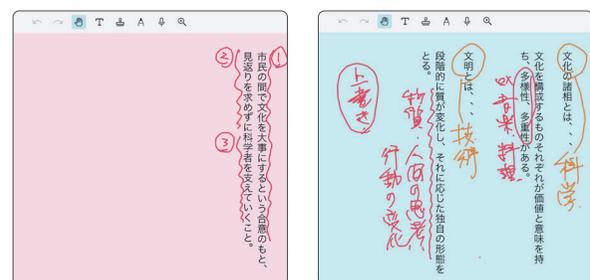


松本 真也 先生

授業の流れとClassPad.netの活用方法

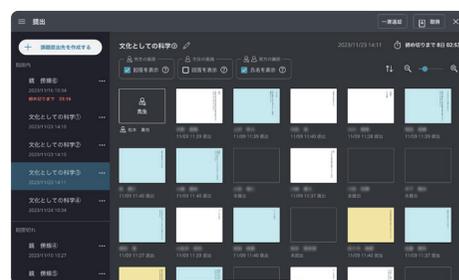
STEP 1

事前に用意したふせんを送信しながら「文化と文明の違い」や「具体的な文化の例」などについて生徒と会話し、問題文を読み進める。



STEP 2

問題文を読み進めながら、各問題に対して、生徒それぞれがふせんに解答を記入し、できた生徒から提出。



STEP 3

提出を待つ間、手が動いていない生徒、問題自体の意味を理解できていない生徒に対して、補足をしながら提出を促す。



STEP 4

提出した生徒の解答に対し、より適切な解答にするためのアドバイスを伝え、生徒が解答を修正し再提出する。



宿題や自宅学習でのClassPad.netの活用機会

授業では、どうしても時間に限りがあります。生徒の学力や学習状況によって、少しでも長めに提出期間を取れ、家庭に戻ってからも提出ができるよう、ClassPad.netを活用しています。

導入前と導入後の変化

提出状況が把握できることで生徒へコンタクトを取ることが増え、積極的に授業に参加する生徒の割合が10割に近づいていると感じます。

授業に積極的な生徒の割合は、クラスによって差はあるものの、7～8割。多くても9割で、なかなか10割にはできな感じていました。ClassPad.net導入後は、誰が提出していないか一目で分かる状況になりましたので、提出がなければ、その生徒にアドバイスなど、なんらかのコンタクトを取ることができます。授業への積極的な姿勢に関しては、10割に近づいているのではと感じています。



お気に入りの機能・使い方

情報がライブで、即時性があります。

ClassPad.netは生徒が作った答案を、すぐ全員に見せることができます。従来では、ノートをコピーし配布、あるいは黒板に書いて、それを他の生徒が写すという作業がありました。工程がかなり減る、ライブで行えるところが良いと思っています。

ClassPad.netを使用した今後取り組みたい授業

今行っている、生徒に課題の解答を提出させ、それを他の生徒がどう思うか意見交換をする取り組みをもっと成熟させたい、深めたいと考えています。内容的に成熟してきたら、答えのある問いではなく、答えがない問いに対して、自由に発言の提出をさせてみたいです。



生徒に聞いた、ClassPad.netの「良いところ」



上村 柊斗さん

生徒全員の意見や先生からのメッセージも見られるのが良いです!

紙のノートでは、生徒がノートに書いたものを、先生が全員分見るのは難しいですし、誰かのノートを他の生徒が見ることもできません。ClassPad.netなら、生徒全員の意見や先生からのメッセージも見られます。課題の提出後、他の生徒の意見を見て自分が間違ったところを書き直したりすることで、授業の理解度が上がりました。授業中の班活動での調べものもClassPad.netのオンライン辞書機能の活用により便利になったと感じています。



井野 朝陽さん

個人の意見を全員で見ることができ、一人一人がしっかり理解できる授業になっていると思います!

ClassPad.netを利用することによって、個人の意見を全員で見ることができます。他の人の意見について考え、先生に送ることによって、大画面での発表がしやすくなりました。これにより一人一人がしっかり理解できる授業になっていると思います。自分が考えた答えを先生が全員の前で映してくれるのも嬉しく感じます。また、自宅学習のために教材を多く持ち帰らなくてよくなり、とても良いことだと思いました。

英語が苦手な生徒でも集中力を切らさず授業に取り組めるように!

～他己紹介を英文で作る論理・表現の授業～

授業支援機能の活用で
授業に刺激が生まれ、紙ベースの授業より
生徒の積極性が増しました!

授業のポイント
動画を紹介します



浦田 大夢 先生

授業の流れとClassPad.netの活用方法

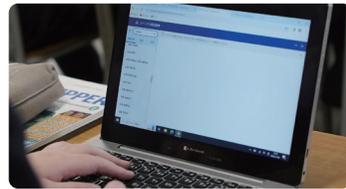
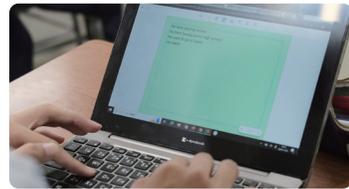
STEP 1

生徒がペアを組み、相手を紹介するための情報を収集する。



STEP 2

ClassPad.netのデジタルノート機能を使い、現在完了の文法を意識しながら、収集した情報で英文を書く。「ネット上の翻訳機能ではなく、ClassPad.netのオンライン辞書機能を使うこと」「必ず主語動詞のある英文を2文以上含むこと」をルールとする。



STEP 3

ペア同士で相手の書いた英文の文法チェックを行い、ClassPad.netの提出BOXに提出する。



STEP 4

何名かの生徒の英文を取り上げ、文法的な間違いがある場合はクラス全員でどう直せば良いか議論する。



宿題や自宅学習でのClassPad.netの活用機会

本授業で行ったような、英文の提出などで活用しています。私は進学コースも担当していますが、このコースでは学習意欲が高い生徒たちが集まっています。彼らの中には、実用英検等の取り組みを個別で行っている生徒もいます。そういった生徒たちにはClassPad.netを使って個別で課題の配信をしたり、実用英検の中の英作文の添削を行ったりしています。

導入前と導入後の変化

英語が苦手な生徒でも、授業中に集中力を切らさず一生懸命取り組んでいる姿も多く見られるようになりました。

以前は手元のペーパーを中心にしていたため授業中に刺激が少なく、居眠りをする生徒が目立っていました。ClassPad.netを使いこなすことで、居眠りをする生徒がほぼゼロになっているという印象があります。さらに英語が苦手な生徒でもパソコンなどを使うことが好きな生徒であれば、授業中に集中力を切らさず一生懸命取り組んでいる姿も多く見られるようになりました。



お気に入りの機能・使い方

送受信、そして課題提出の機能が一番使用頻度が高いです。

単に提出したかどうかの確認が容易にできるだけでなく、締め切り内に出したか、締め切りを過ぎて出したかという確認も一目で可能です。さらに提出時間まで出てくるので、例えば夜遅い時間帯にこの生徒は提出しているなということが分かった時には、「昨日、寝るのが遅かっただろう」というような形で、別の角度からの声掛けもできるようになりました。

ClassPad.netを使用した今後取り組みたい授業

今はまだClassPad.netの使用法は「書く」ことが中心ですが、英語にはスピーキングの力も必要です。ClassPad.netの機能の中には、音声の録音があります。今はまだ手がつけられていませんが、今後は「読み」の部分へも、ClassPad.netの使用を広げていきたいと考えています。また、生徒同士の送受信によって、生徒たち同士で添削ができる。それくらいの学力レベルへ彼らが上がってほしいと思います。



生徒に聞いた、ClassPad.netの「良いところ」

高木 皓志郎 さん

自宅学習でも、様々な教科の課題を進められるようになりました!

例えば国語では意味調べの宿題が出る場合があります。ClassPad.netのオンライン辞書機能を使うことで、簡単に意味を調べることができます。また、ClassPad.netを介して先生とやり取りできることも良いと感じました。

中川 航佑 さん

作業時間が短縮でき、その分、他の教科の学習に使う時間が増えました!

今までは紙の辞書で語句の意味を調べていたため時間がかかっていましたが、ClassPad.netのオンライン辞書機能の活用によって作業の時間が短くなり、その分他の教科の学習に使う時間が増えました。特に英語や国語では、難しい語句の調べものが多いため便利だと感じています。自宅でも先生とのやり取りができるのがとても便利です。例えば英検のライティングでは、先生に会いに行かなくても文章を添削してもらえようになりました。

志賀 杏奈 さん

自宅や登下校時の電車からでも課題を提出できるようになりました!

ClassPad.netにより、自宅や登下校時の電車など、どこからでも課題を提出できるようになりました。英語では、書いた英文をClassPad.netのふせん機能で先生に送り、添削してもらっています。英単語や古文単語など分からない言葉をClassPad.netのオンライン辞書機能でさっと調べられます。それを単語帳にまとめられる機能もあり、とても便利だと感じています。

授業のポイント
動画を
紹介



添削の大幅なスピードアップと ペーパーレス化を実現!

～余弦定理を利用し練習問題を解く授業～

紙のプリントが無くなり、
演習問題の配布・回収の手間が
とても少なくなっています!

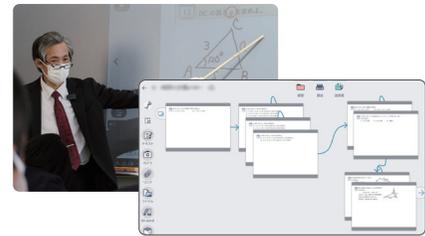


草原 俊寛 先生

授業の流れとClassPad.netの活用方法

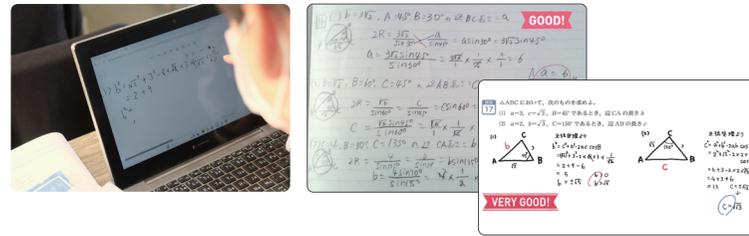
STEP 1

予め用意してあった資料をプロジェクターで投影し、解説を書き加えながら、テーマである「余弦定理」の解説を行う。



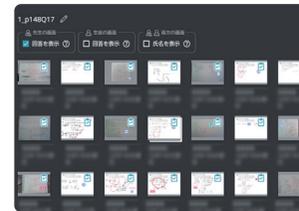
STEP 2

ClassPad.netで練習問題を配布し、解き終わった生徒から解答を提出BOXへ。(ClassPad.net上で書いても紙のノートに書いて写真での提出でも可とする。)



STEP 3

提出された解答を確認しながら、直すべき点をその場で指摘していく。つまづいている生徒に対しては、より丁寧に解説する。



STEP 4

授業中に解ききれず提出できなかった生徒は、自宅からClassPad.netで提出する。



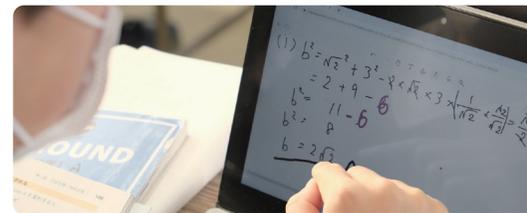
宿題や自宅学習でのClassPad.netの活用機会

授業の展開によっては、演習などをやらせることができない時もあります。そんな時にはClassPad.netで生徒たちに課題を配布し、自宅学習としてやってもらい、ClassPad.netから提出してもらって確認する、ということを行っています。

導入前と導入後の変化

ペーパーレスになったのは大きな変化です。

以前の授業では、様々なプリントの配布物がありましたが、ClassPad.netを利用してペーパーレスで生徒に配布できるようになりました。さらにClassPad.netを利用して配布した資料に書き込んでもらったり、写真機能を使ってノートを写真で撮ってそれを提出してもらったりもしています。配布・回収という面で、手間がなくなりました。



お気に入りの機能・使い方

授業支援機能による課題の配布と数学ツール「ClassPad Math」の活用です。

課題の配布において、プリント類を印刷しなくてよい、配る必要もない、ということが大きなメリットです。課題を生徒たちから提出してもらえれば、瞬時に内容を精査することもできるし、情報共有もできる、ということもメリットです。また、ClassPad.netは数学ツール「ClassPad Math」の機能でグラフを書くことができます。1年生から2年生に上がると、またさらに違う関数が出てきますので、グラフを書くことがヒントになり、問題を解いていくといった使い方ができるようになると思います。

ClassPad.netを使用した今後取り組みたい授業

数学は、教科内容が大幅に変わることはありませんので、授業展開していきたい部分をスライド化、ふせんにしておくことで、翌年も使っていけると考えています。ただ、デジタルで作ったものは現場にいる目の前の生徒たちによって受け止め方が違うと個人的には感じます。分かりやすいこともあるし、分かりにくいこともある。私としては、現場に即したやり方で、瞬時に変化させて、まだまだアナログ的な要素も使うことになると思います。ClassPad.netは、大きな活用の可能性を秘めていると思うので、幅広く試してみたいです。

生徒に聞いた、ClassPad.netの「良いところ」



碓 菜乃葉さん

家からでも先生に課題を送ることができ、すぐ返事をいただけるのが嬉しいです!



早野 正人さん

すぐに勉強に取りかけられるので、自宅で学習に取り組むハードルが下がりました!

ClassPad.netを使うことによって、自宅学習でも分からないところをすぐに調べられるようになりました。以前はインターネットで言葉や英単語の意味を調べていました。ClassPad.netではその場ですぐに調べられて、インターネットでの検索以上の答えが出てくるところが気に入っています。辞書を持ち帰るのは重いと感じていましたが、ClassPad.netによってそのような負担もなくなりました。また、紙のノートを使っての学習では、毎回先生に提出する必要がありましたが、ClassPad.netは家からでも先生に課題を送ることができます。数学の授業では先生から「ここがOK」や「ちゃんとできている」など、すぐ返事が来るのでその点が良いと思います。

紙ベースからClassPad.netになったことで、勉強を身近に感じるようになりました。今までは自宅で勉強に取り組む時「さて勉強するか」という構えた感じがありましたが、ClassPad.netひとつですぐに勉強に取りかけられるので、取り組むハードルが下がった気がします。また、カメラで解答を記入したノートの写真を撮り、それを先生にそのまま提出できるところが良い点です。ノートを預ける必要もなく、撮ってすぐそれを提出できる、というのがすごく楽です。問題の解答をクラス全員で共有し、先生がそれを見て一人一人がどこを理解している、どこを理解していないかが授業中に分かることは、以前の授業では考えられないことで、すごいことだと思います。

常葉大学附属橘中学校・高等

校訓

より高きを目指して ～Learning for Life～

サブタイトルに含まれる「ライフ」は、人生や生活のほかに「幸せ」という意味も持たせています。勉強を含め多岐にわたる学びを続けることは、生徒にとって幸せに繋がっていく。そのために、より高きを目指して学び続けてほしい、という想いを込めた校訓です。

学校の教育目的

「学力を伸ばす」「人間性を高める」

日々、職員が同じベクトルを持ちながら「伸ばす教育」を実践すべく教育活動を行っています。

ICT教育の課題・テーマ

ICTツールを活用し、生徒自らが答えを見つけ出していく

グローバル化が急速に進む先の見えづらい社会、そして世の中の価値観も非常に不透明な中、生徒たちが自らICTツールを使いながら「何が正解なのか」自分で答えを見つけ出していくことを意識的に、そして継続的に行っていくことが必要だと考えています。ICTツールが宝の持ち腐れにならないよう、どのような場面・ポイントで使っていくかを我々教員がしっかり把握しながら教育活動を行うよう心がけています。

端末整備状況

令和5年4月には、中学1年生から高校3年生まで全学年がiPadを持つ状態に

令和3年度の新生入生から段階的にBYOD形式でiPadの導入を進めており、令和5年4月には、中学1年生から高校3年生まで全学年がiPadを持つ状態になっています。



学校様〈静岡県〉

ClassPad.net導入に至った経緯と理由

一番は辞書機能の充実、そして教員がフル活用できる多彩な機能がオールインワンであること

本校は学校改革部・教育開発部を中心にICT教育の推進を行っており、様々なICT教育システム・ツールを検討する中で、ClassPad.netの良さを知りました。現場の担当教員の意見も取り入れながら導入検討を進める中で、特に辞書機能が充実している点が注目を集めました。また、本校では全教員がフル活用できることを目指しており、意見集約や課題の配信、提出作業などを総合的に効率良く行えることを評価し、ClassPad.netの導入を決定しました。



関本 和彦 校長先生



古文 小林 理恵 先生

『土佐日記』の現代語訳を行う授業 辞書を使う意識が生徒全体に浸透!調べ学習の習慣化に!

→ P.12



現代文 上岡谷 美結 先生

評論文を使用した正確な言葉・指示語の理解と全体内容把握の演習授業 教室内での共有効率化で生徒とのコミュニケーションが深化!

→ P.14



英語 菅原 隆平 先生

英語で自分の考えを表現する論理・表現の授業 課題添削の効率化を実現!配布～回収～返却のスピードアップ!

→ P.16



日本史 小澤 祐太 先生

戦国大名についての発表スライドを作成する授業 「自ら調べまとめる」能力が向上! 双六から読み解く近世と近代の学びの比較の授業 約9割の生徒が理解が深まったと実感!

→ P.18

→ P.20



数学 有海 裕子 先生

二次不等式の問題演習の授業 理解度の低い生徒の個別対応を授業内で実施可能に!

→ P.22



数学 稲葉 梨乃 先生

新たな微分の計算方法を学ぶ授業 生徒へのサジェスションや指摘の精度・機会が大きく向上!

→ P.24



化学 大野 那津恵 先生

量的関係の演習を行う授業 全クラスでほぼ100%のペーパーレス授業を実現!

→ P.26



美術 鈴木 淳也 先生

遠近法を正しく理解しながら風景画を描く授業 授業時間外でも制作や添削ができ、課題の達成率が上昇!

→ P.28

地域PRのためのデザインを考える芸術探究の授業 高度な探究の授業でも大活躍!制作過程を丁寧に評価可能に!

→ P.30

※掲載の各先生の学校名は、取材時のものを記載しています。



調べたいものがすぐに出てくるので、「まずはオンライン辞書を開いてみよう」と生徒が思えるようになりました!

辞書を使う意識が生徒全体に浸透! 調べ学習の習慣化に!

～『土佐日記』の現代語訳を行う授業～

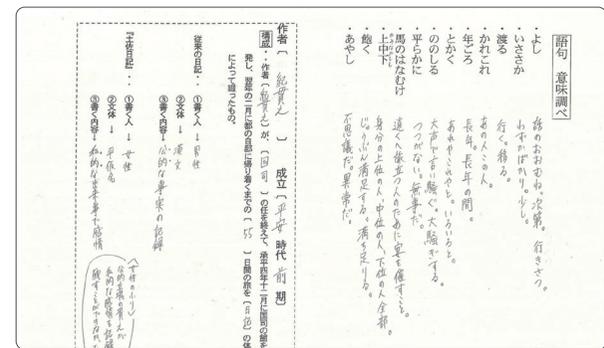
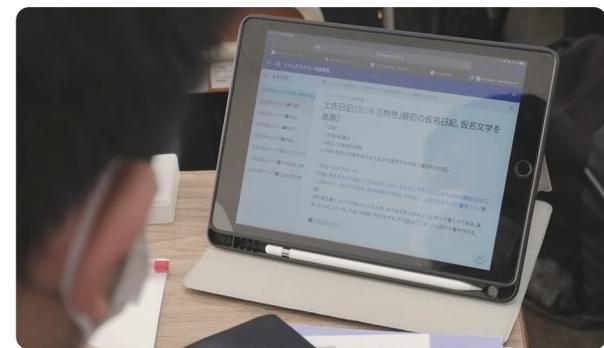


小林理恵 先生

授業の流れとClassPad.netの活用方法

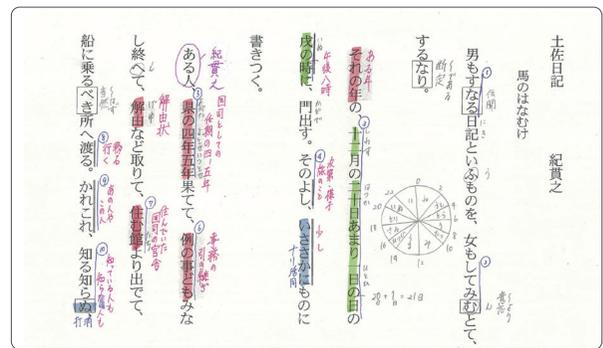
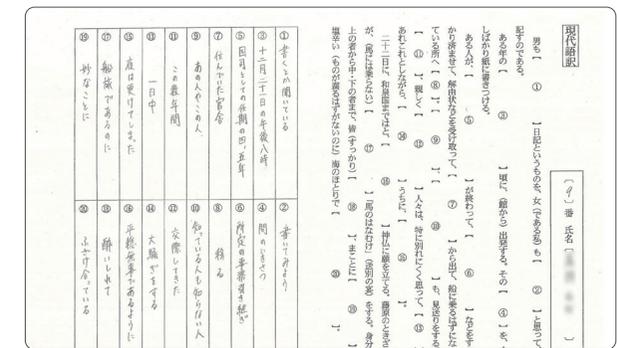
STEP 1

ClassPad.netのオンライン辞書機能に搭載されている国語便覧で、『土佐日記』について調べる。



STEP 2

『土佐日記』についての基本情報を理解した上でClassPad.netのオンライン辞書機能で語句の意味を調べ、現代語訳を行う。



宿題や自宅学習でのClassPad.netの活用機会

生徒が自分で現代語訳をする際、自然とClassPad.netを開いて、辞書機能を使って意味を調べているようです。

導入前と導入後の変化

ClassPad.netを開けば、オンライン辞書機能で探したいものがすぐに見つかりますので、「まずはClassPad.netを開いてみよう」という意識が生徒たちに浸透したように感じます。

今までは、生徒にあまり調べる習慣がついておらず、分からないままにしてしまうことが多かったのですが、今は何が分からないことがあるとClassPad.netを開いて、自分で率先して調べようとか、やってみようという意識が変わったように感じます。



お気に入りの機能・使い方

やはりオンライン辞書機能と、その中の検索の機能がすごく助かっています。

ClassPad.netを使用した今後取り組みたい授業

双方向授業という形で、生徒から出た意見を集約して見せる、ということ積極的に取り入れていきたいなと思っています。

生徒に聞いた、ClassPad.netの「良いところ」

岡本 龍武さん

ClassPad.netで先生が要所要所をまとめてくれるので分かりやすい!

牧田 琥太朗さん

ClassPad.netで単元ごとのデジタルノートができるので見やすい!

ClassPad.netを使う授業では、先生方が要所要所をまとめてくださって、とても分かりやすいです。また、家で勉強する時、復習する時にすごく分かりやすいです。

重い辞書を持たなくても良くなり、端末一つで全部解決してしまうので、すごくありがたいなと思います。ClassPad.netを使うようになり、ノートを単元ごとに変えていくのですごく見やすいです。

教室での共有効率化で 生徒とのコミュニケーションが深化!

～評論文を使用した正確な言葉・指示語の理解と全体内容把握の演習授業～

手元の端末で生徒の提出物を確認でき、
授業が進めやすくなりました!

授業のポイント
動画を
ご紹介



上岡谷 美結 先生

授業の流れとClassPad.netの活用方法

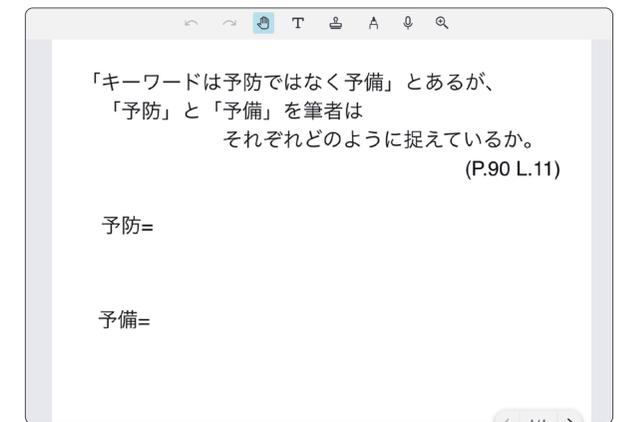
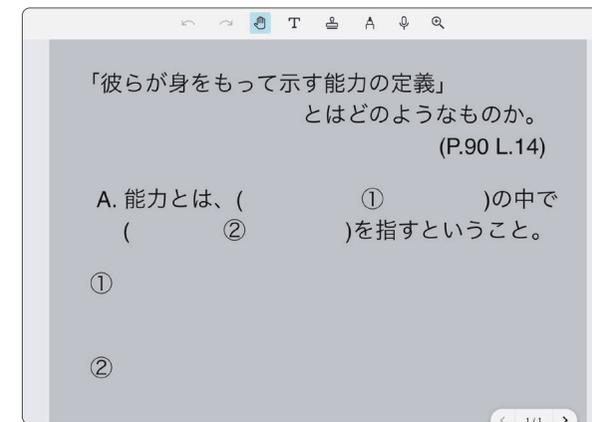
STEP 1

生徒が自ら考えた内容をClassPad.netのふせん機能にまとめ、提出。



STEP 2

提出されたふせんをプロジェクターで投影しクラス全員に共有する。



宿題や自宅学習でのClassPad.netの活用機会

授業支援機能を使った送受信で主に活用しています。

例えば課題のプリントを渡す際、生徒には自宅学習で丸つけなどをしてほしいので、学校から解答を送信し、生徒が自宅で確認・学習するという形式にしています。それにより紙の削減にも繋がっていると思います。

導入前と導入後の変化

教壇に端末を置いて、ClassPad.netで手元で見ながら作業できるというのは大きいです。

用意したスライドや生徒から送信されたものを見ながら映す、といったことに使いやすと思っています。

お気に入りの機能・使い方

授業支援機能での送受信ができる点です。

ClassPad.netを使用した今後取り組みたい授業

話の流れが分かるようなデジタルノートの活用法も検討したいです。

現在は一問一答の形式でふせん機能を使っていますが、国語科ですので話の流れなどもポイントとなります。

ClassPad.netには、ふせん同士を矢印で繋ぐ機能もありますので、例えば最初の導入から結論まで、どのような流れで動いているのかが一目で分かるようなデジタルノートを作る活動してみたいと思っています。



生徒に聞いた、ClassPad.netの「良いところ」



松本 禪さん

ClassPad.netで提出すると、
プリントの受け渡しが無いのが良いです!

ClassPad.netでは先生に送る機能があり、わざわざ会いに行かなくても渡すことができるので、すごく便利だなと思います。紙のプリントだと受け渡しのために動かないといけませんが、ClassPad.netで先生から解答が送られてきて、それを見ながら丸つけができるので、すごく楽です。

課題添削の効率化を実現！ 配布～回収～返却のスピードアップ！

～英語で自分の考えを表現する論理・表現の授業～

授業支援機能により、紙での
提出物回収がほぼなくなりました！

授業のポイント
動画をご紹介



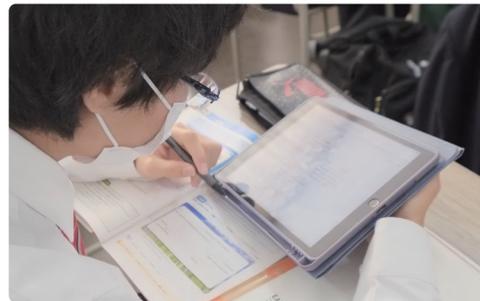
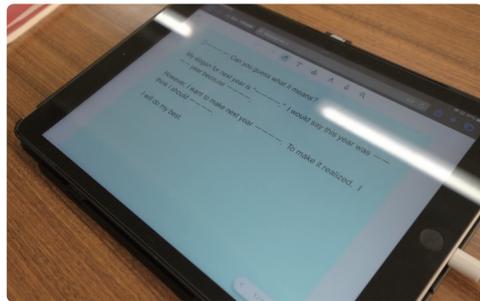
菅原 隆平 先生

※2022年11月取材時点

授業の流れとClassPad.netの活用方法

STEP 1

生徒それぞれが考えた英文を、ClassPad.netのふせん機能にまとめる。



STEP 2

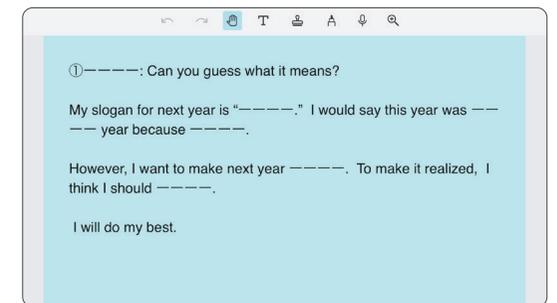
どのように表現したら良いかわからない時は、ClassPad.netのオンライン辞書機能で調べる。

STEP 3

ClassPad.netの授業支援機能を使い、作成したふせんに提出する。

STEP 4

ふせんの内容を添削し、生徒に送信する。



宿題や自宅学習でのClassPad.netの活用機会

ClassPad.netの提出機能を活用し、1週間後を提出期限にして宿題を出す、という形を頻繁にとっており、活用機会としては宿題や自宅学習の方がむしろ多いと感じています。

導入前と導入後の変化

生徒から提出物を紙で回収することがほぼなくなり、ClassPad.netで回収、出された順に添削して返す、という方式になりました。

以前は生徒全員分を同時に集めて、まとめて添削をし、次の予習に間に合うように返却するというタイトなスケジュールでした。

ClassPad.netを導入してから、早い生徒は当日の夜に提出してくるため、1日に5人～10人分くらいの添削を行うことができ、次回の授業までには全員分を返し終えています。それは私の中で大きく変わったところです。



お気に入りの機能・使い方

デジタルノート機能です。

今は主にライティングの授業で活用していますが、今後はプレゼンを強化するような授業をもう少し行っていきたいと思っています。生徒が作ったスライドを添付したり、それを矢印で繋いだり、コメントを書いたり、写真を貼ったりするなど、一つの大きな模造紙をイメージしてプレゼンができる点がすごく魅力的だと思っています。

ClassPad.netを使用した今後取り組みたい授業

プレゼンテーション能力の向上に活用していきたいです。

英語ですので、やはりコミュニケーションがキーワードになってきます。プレゼンテーションで「伝える力」を身に付けるという観点では、自分で発し、自分の声で自分の表情で撮ったものも残していき、そのプレゼンの題材とともに自分がどうやってプレゼンしたかということを残していき、というのはすごく使ってみてみたい機能だと思っています。



生徒に聞いた、ClassPad.netの「良いところ」

松井 信司さん

一つの端末で調べものが全部完結できるのがとても楽で良いです！



白鳥 兼佑さん

提出した課題を次の日には添削してもらえるスピーディさに驚きました！



調べものがとても楽になりました。紙の辞書ですと「これはこの辞書で調べて、これはこっちの辞書で調べて」というような調べ方でしたが、ClassPad.netには色々な辞書がたくさん入っているので、分からないことがあった時、同じ一つの端末で全部完結できるのがとても楽で良いです。また、今まで宿題は紙のノートで行っていましたが、「持ってくるのを忘れて提出期限に間に合わなかった」ということがありました。ClassPad.netを使うと、家でやったことをそのまま忘れずに提出できるのでその点も助かっています。

ディベートディスカッションという英語の教科で、例文を書く課題がありましたが、ClassPad.netでその日提出したものに対して、ALTの先生が次の日にはもう添削してくれます。また、以前は提出物を先生に手渡ししていましたが、家に忘れて減点されてしまう、ということがありました。ClassPad.netで写真を撮ってそのまま提出することができるので、提出物への不安がなくなりました。



授業支援機能を活用した
提出・添削で生徒が作成するスライドの
完成度が上がりました!

「自ら調べまとめる」能力が向上!

～戦国大名についての発表スライドを作成する授業～

小澤 祐太 先生

授業の流れとClassPad.netの活用方法

STEP 1

ClassPad.netのオンライン辞書機能などを使い、戦国大名(今川義元など)について、生徒自身で情報収集。



STEP 2

調べたことを生徒が自分なりの観点でスライドにまとめる。



STEP 3

全5時間の授業の中で、毎回授業終わりに生徒がスライドをClassPad.netで提出。



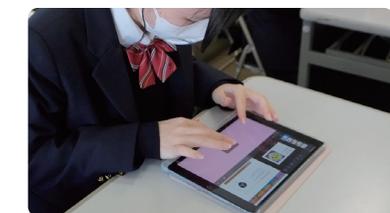
STEP 4

提出されたスライドを教師が次の授業までに添削し生徒に返信する。



STEP 5

生徒は添削されたことを踏まえ、スライドを直し改良していく。



宿題や自宅学習でのClassPad.netの活用機会

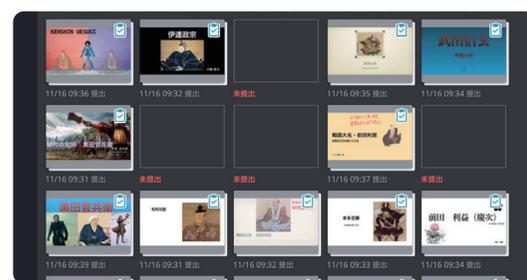
現在はあまり機会がありませんが、いずれは、レポート課題など校外で行ったものを写真に撮って送信してもらい、それを添削する、ということができると考えています。

導入前と導入後の変化

生徒が作成するスライドの完成度が上がりました。

今までも、生徒が自ら調べレポートにまとめる、という授業は行っていたのですが、良いお手本を見たり、「ここを直したら良いよ」というようなコミュニケーションを取りながら進めることができていませんでした。

ClassPad.netの授業支援機能を活用して提出・添削を行うことによって、以前より完成度が高くなっていると感じています。



お気に入りの機能・使い方

添削機能です。

この機能があることによって、本授業のように成果物を作る活動において、一方的な指示だとなかなか伝わりにくい個別のことを、そのまま書いて伝えることができますので、レポートやスライドなどの完成度が上がってくると思っています。

ClassPad.netを使用した今後取り組みたい授業

調べ学習やレポートを作る活動において定期的に
使っていきたいです。

歴史の領域だけではなく、例えば発表するプレゼン能力なども伸ばしていければと思っています。



生徒に聞いた、ClassPad.netの「良いところ」



松村 紗矢香 さん

ClassPad.netは、確かな情報が
単元ごとに調べられるので効率的!

インターネットを使って自分で調べると、たくさんの情報が一気に出てきてしましますが、ClassPad.netを使うことで、単元ごとにまとめて情報が出てきてくれるので、見やすく時間も短縮できるのが良いと思います。

ClassPad.netを通じて先生とのやり取りや提出ができるので、ノートをわざわざ先生に提出して、それを配ったりする手間が省けています。先生が資料を私達にClassPad.netで配信して手元でその資料を見て、そこに書き込んで、それをそのまま提出しています。

約9割の生徒が 理解が深まったと実感!

～双六から読み解く近世と近代の学びの比較の授業～

課題提出方法の幅が広がり、
単元が不得意な生徒も
ケアできるようになりました!

授業のポイントを
動画で紹介

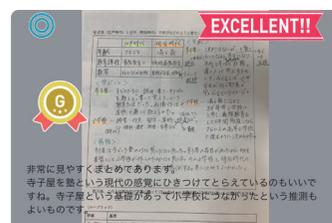


小澤祐太 先生

授業の流れとClassPad.netの活用方法

STEP 1

前回の授業で生徒が提出した課題に対する添削データをClassPad.netでクラス全員が閲覧できる状態にしておき、お手本になるような生徒の解答をピックアップ紹介する。



STEP 2

グループワークの下準備として4人グループを作り、

- 司会・タイムキーパーの役割
 - 資料を読む役割
 - 一番最初に意見を言う役割
 - 発表する役割
- を決める。



STEP 3

【検証A】として、江戸時代と明治時代の二つの双六を実際にグループで遊びながら、両者を比較し「学びの違い」を読み解く。

【検証B】福澤諭吉の『学問のすすめ』から読み取れる社会の変化について、グループ内で意見をまとめる。



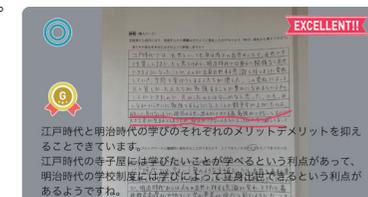
STEP 4

【検証A】と【検証B】について話し合った結果を代表者が発表し、解答について教師が解説する。



STEP 5

最後に、「近世から近代になり、社会や人々の意識はどのように変化したのか」についてや、授業を受けたことで「自分にとっての学ぶ意義をどう考えるか」について個人でまとめ、ClassPad.netで提出する。



宿題や自宅学習でのClassPad.netの活用機会

地理総合でGISのデータを重ねた際に、それを提出する方法として、ClassPad.netを活用しました。

導入前と導入後の変化

課題提出方法の幅が広がり、単元が不得意な生徒にフォーカスを当てられるようになりました。

提出方法であったり、意見交換であったり、共有する手段が増えたと思います。例えば、ClassPad.net導入前は、GISの課題はiPadで作っても紙媒体に印刷するのが難しいのでなかなか提出がしづらく、課題として出しにくいものでした。

導入後は、ClassPad.netで提出できるようになり、提出方法の幅が広がりました。それまで生徒たちが書いたものは、授業中では全部を見ることはできませんでしたが、ClassPad.netで写真に撮って送ってもらうことによって、社会が得意な生徒以外の生徒にもフォーカスを当てることができるようになりました。また、その時頑張ってくれた生徒の意見を聞くことができることも大きな変化です。



お気に入りの機能・使い方

ClassPad.netで一番気に入っている機能は、提出機能と他のICTツールにはついていない添削機能です。生徒が提出してきたものに対して、それほど時間がかからずフィードバックできる点が良いところです。

ClassPad.netを使用した今後取り組みたい授業

グループワークや個人で行うアクティブラーニングなど、生徒主体で授業を進めていきたいと考えています。生徒がやってきたものに対するフィードバック、あるいは他の生徒との違う考え方を共有するツールとして、ClassPad.netを活用していきたいと考えます。生徒の思考力、コミュニケーション能力、そういった力が伸びていくのではと期待しています。



生徒に聞いた、ClassPad.netの「良いところ」

本田 かのんさん

宿題の提出から、テスト直しまでが
とてもスムーズになりました!



ClassPad.netで、調べたいデータがすぐにできてきますので、紙の辞書を使わなくなりました。また、出された課題をすぐに確認できたり、終わらせた宿題を提出できるところがClassPad.netの良い点だと思います。テストが返却された後、テスト直しを全員で取り組む作業がありますが、先生から宿題をClassPad.netで出してもらい、提出箱に提出、その提出箱を利用してテスト直しができることがすごく便利だと感じています。

牧田 小夢さん

授業中に終わらなかった課題も、自宅で
行い提出ができるようになりました!



新型コロナウイルスで自粛期間が長引いた時にオンライン授業となりましたが、ClassPad.netの導入で自粛期間も時間を有効に使って勉強することができました。授業内で出た課題を授業中に終わらせることができない、ということがありません。そんな時でもClassPad.netなら、家に帰ってその課題を終わらせて、家から提出できるのでとても良いと思います。

理解度の低い生徒の個別対応を授業内で実施可能に!

～二次不等式の問題演習の授業～

授業支援機能で、生徒たちの反応をタイムリーに把握できるようになりました!

授業のポイント動画を紹介します

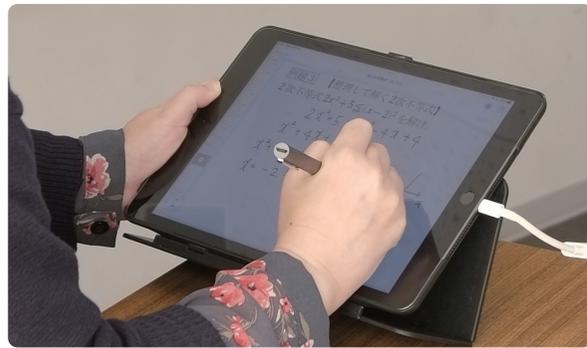


有海 裕子 先生

授業の流れとClassPad.netの活用方法

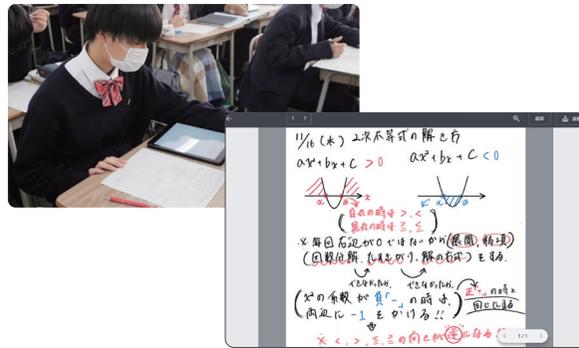
STEP 1

授業で扱う問題の解答を、ClassPad.netのデジタルノート機能で事前に用意しておく。



STEP 2

授業では生徒に解く時間をしっかりと与え、ある程度の生徒が解き終わったら思われるタイミングで、ClassPad.netで解答を一斉配信。



STEP 3

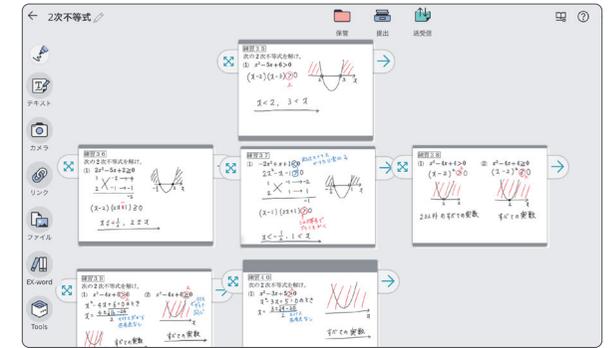
合っているところ/間違っているところを生徒自身が確認する間、生徒が分からないところを個別に対応・解説していく。

黒板で一斉に解説するのではなく、生徒ごと個別に対応していくのがポイント!



STEP 4

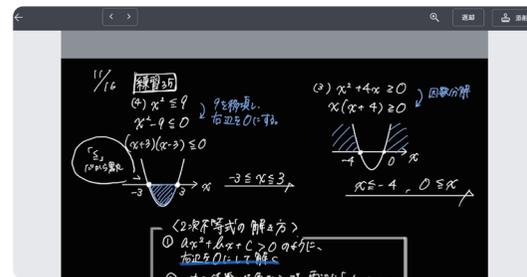
授業の最後に、ClassPad.netのふせん機能を使い、生徒が授業の振り返りをまとめ、デジタルノートとして提出。



導入前と導入後の変化

タイムリーに生徒たちの反応が得られ、提出物もすぐに出してもらえるようになりました。

今までは授業の振り返りを紙媒体で行っており、毎日集めて見るのが大変でした。また、1週間ごとに集めるとなると、生徒によっては提出期限間際になって慌てて書き出したりしていましたが、ClassPad.netを導入して課題を集めるようになったことで、その日のうちに提出してくれることも多く「毎日しっかり書く」ということが定着してきたな、と強く感じています。



ClassPad.netを使用した今後取り組みたい授業

授業の中で生徒たちが書いたものを受け取って、それをタイムリーに紹介・解説するような授業を行ってみたいと思っています。



お気に入りの機能・使い方

「生徒と教員側の送受信ができる」のが一番良いところだと思います。

生徒に聞いた、ClassPad.netの「良いところ」



諸角 木葉さん

提出物を出すのに先生を探さなくてもよくなりました!

ClassPad.netで提出物を出したり、先生から添削を返してもらったりするのがとてもスムーズになりました。学校で先生を探さなくても、ClassPad.netならすぐに提出することができます。提出できる機能が本当にすごく好きです。以前は、提出するのに先生を学校中探したりしないといけなくてすごく大変でしたが、ClassPad.netの導入によって、とても提出がしやすくなりました。

授業のポイント
動画を紹介します



授業支援機能により、
生徒一人一人の解き方まで把握できる
ようになりました!



稲葉 梨乃 先生

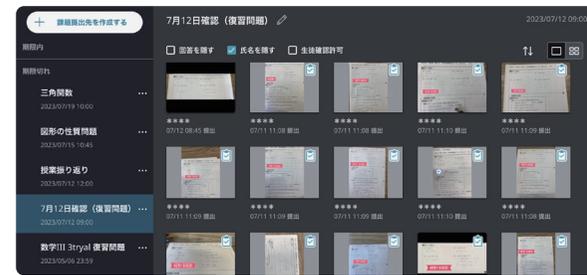
生徒へのサジェスチョンや指摘の 精度・機会が大きく向上!

～新たな微分の計算方法を学ぶ授業～

授業の流れとClassPad.netの活用方法

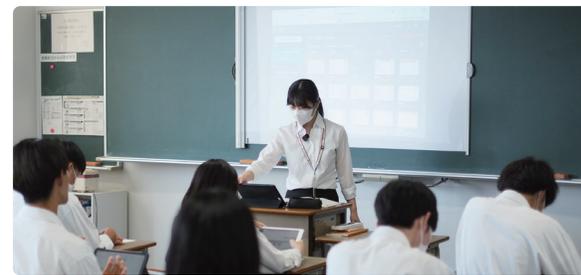
STEP 1

2年生で習った微分の計算を復習として宿題に出しておき、ClassPad.netの授業支援機能で回収する。



STEP 2

生徒から提出された解答と、その添削を前のスクリーンに投影しクラス全体に共有する。



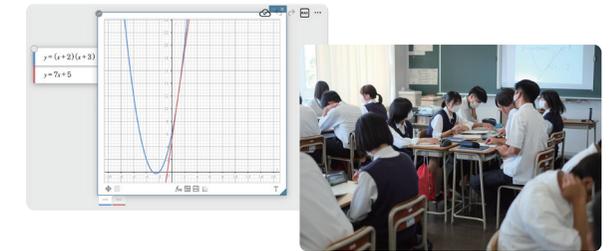
STEP 3

新たな微分の計算の公式として「解き方が異なっていても計算できる方法」をClassPad.netで生徒たちに共有し、スクリーンで映しながら計算方法を解説する。



STEP 4

演習問題を解きながら、グループワークを通じてその結果が正しいのか、実際に数学ツール「ClassPad Math」のグラフツールを使って検証する。さらにグラフでただ解くだけではなく、その結果が正しいのか、生徒が自分の目で見ながら確認する。



宿題や自宅学習でのClassPad.netの活用機会

宿題として出した演習をClassPad.netで提出してもらった際、分からなかった問題に丸をつけてもらうようにしています。生徒たちから丸の多かった問題を次の授業でピックアップし、その問題の解説に比重を置くという工夫をしています。

導入前と導入後の変化

生徒一人一人の解き方まで共有できるようになりました。

ClassPad.net導入後、一番変化を感じたのは、生徒たちと共有する時間が作れたということです。全体の人数が多いことから、実際に一人一人の計算の解き方まで見ていくのは大変でした。ClassPad.netで共有することで、ある過程で立ち止まって発言させたり、異なる解き方もあると発言させたり、共有する時間を多く作ることができました。



お気に入りの機能・使い方

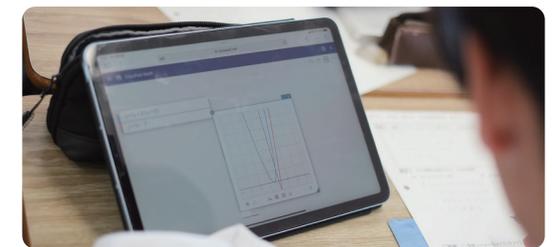
授業支援機能での提出・返却により、生徒一人一人の解答を丁寧に見られるようになりました。

ClassPad.netのお気に入りの機能は、提出機能と返却機能です。生徒たちに問題を出し、それを提出してもらった時に、一人一人の答えを丁寧に見られるようになりました。ここはもう少しこうした方が良いというサジェスチョンや、生徒が気付いていないところの指摘ができます。さらにそこから発展して、類題を解くこともできます。このように、提出して返却する流れの中で、ClassPad.netだからこそできるようになったことが多々あります。

ClassPad.netを使用した今後取り組みたい授業

数学ツール「ClassPad Math」のグラフをより使っていきたくと考えています。空間図形や空間のベクトルの単元では、黒板で書いてもなかなか理解しづらい生徒も多くいます。

ClassPad.netでは図形やグラフを書く機能が充実していますので、私自身も学びながら、生徒たちと一緒に体験して、より効果的に使っていかれたらと考えています。



生徒に聞いた、ClassPad.netの「良いところ」



山家 百々花さん

自宅学習でも分からない箇所を先生に聞くことができます!

今までは紙の辞書などの持ち物が重く、持てないこともあり。ClassPad.netが導入されたことによって、今ではiPad1台だけで良いので、いろいろな場面に持っていけます。分からないことは、すぐその場で解決できるのがとても良いと思います。意味を調べた後に履歴が残るので、後日復習にも使えてとても便利です。また、自宅学習で分からない問題があった時に、ClassPad.netで先生に送信することによって、その問題の解説を返してもらえ、私にとって大きなプラスになっています。分からない問題をそのままにせず、その場で解決できるようになりました。



海野 陽紀さん

授業中でも自分で見返せて簡単にメモを取ることができます!

先生が前で投影する形式のスライドでは、次に進んでしまったらもう見返すことはできませんが、ClassPad.netを使用していることで、先生が用意してくれた資料を自分で見返せて、メモを簡単に取ることもでき、便利になったと感じています。数学を中心に、家に帰ってからの復習にもClassPad.netを多く活用しています。

全クラスでほぼ100%の ペーパーレス授業を実現!

～量的関係の演習を行う授業～

端末でPDFを表示させることで、
プリントの配布物が無くなりました!

授業のポイントを
動画で紹介

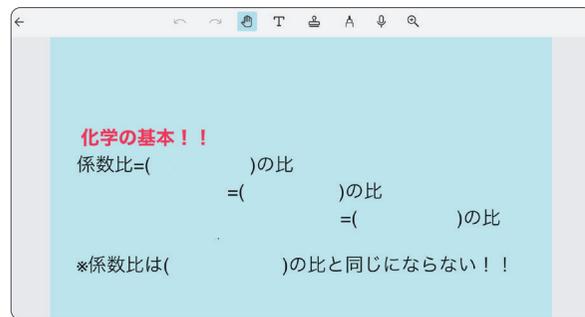


大野 那津恵 先生

授業の流れとClassPad.netの活用方法

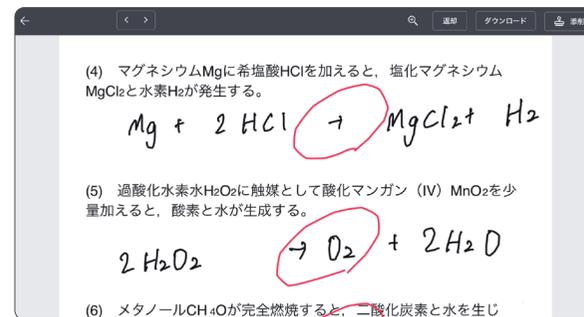
STEP 1

ClassPad.netのふせん機能で生徒に課題を配布。



STEP 2

生徒に課題を考えさせ、デジタルノート上でまとめさせる。



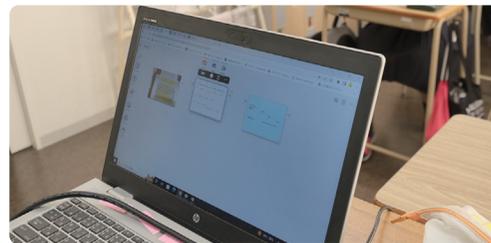
STEP 3

机間巡視しながら、能動的に生徒とコミュニケーションを取り、理解を促進する。



宿題や自宅学習でのClassPad.netの活用機会

ふせん機能で何問かの課題を出しておき、「いつまでに復習でやっておいてね」と期限を設けて伝えるなど、様々な方法で活用できる可能性を秘めていると思います。



導入前と導入後の変化

一番変わったのは、プリントの印刷が減ったことです。

私は従来、プリントを配布し授業を行っていましたが、ClassPad.net導入後は、プリントをそのままPDFでデータとして配信しているので、全クラスほぼペーパーレスで授業を行っています。



お気に入りの機能・使い方

一番大きいのは提出BOXの存在です。

ノートやワークのテキストの点検作業などでは、提出機能を使って、撮影したノートやワークの写真を提出してもらえることが一番助かっています。

ClassPad.netを使用した今後取り組みたい授業

理科ですので、実験と絡めて使えるようになっていきたいと思っています。

実験で出た結果のグラフを作ったり、表でまとめたりといったことを、ClassPad.netの数学ツール「ClassPad Math」を活用して行ってみたいです。

生徒に聞いた、ClassPad.netの「良いところ」



高澤 直人 さん

黒板の文字が見えづらかったのが、ClassPad.netなら手元の画面ではっきり見られてありがたい!

私はあまり目が良くなく、席が後ろだと黒板があまり見えなかったことがありました。ClassPad.netでは、自分の手元で文字も大きくしっかり見られるのでありがたいです。また、ClassPad.netには辞書もたくさん入っていて、これ一つで教科や内容に合わせた辞書を使い分けることができ、紙の辞典に比べて持ち運びも楽なのでありがたいです。今までは家で勉強するのに、教科分のノートや教科書を持って帰っていましたが、ClassPad.netが導入されたことによって、教科書を持って帰る量が減ったので気持ち的にもだいぶ楽になったなと思います。

授業時間外でも制作や添削ができ、 課題の達成率が上昇!

～遠近法を正しく理解しながら風景画を描く授業～

生徒は教師からの
添削やアドバイスを受け、
次の授業に臨んでいます!

授業のポイント
を動画でご紹介



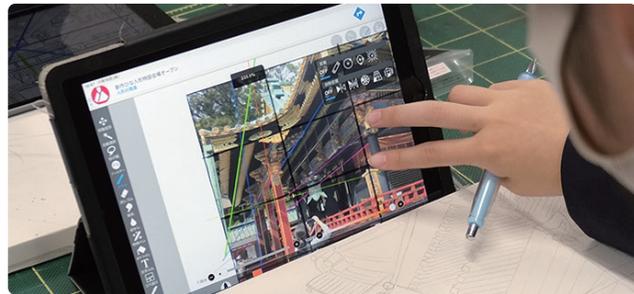
鈴木 淳也 先生

※2022年11月取材時点

授業の流れとClassPad.netの活用方法

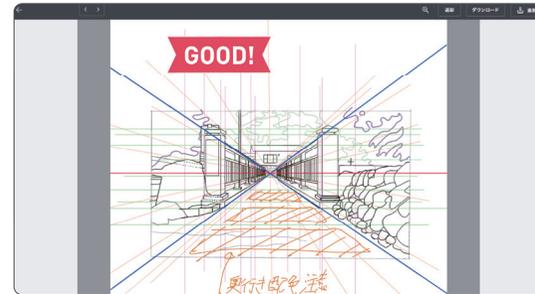
STEP 1

描く絵の元となる風景の写真をClassPad.netが入ったタブレット端末で生徒が撮影。タブレット端末の描画ツールを使用し、撮影した写真に「アイレベル」「パースライン」「8分割の線」の線を書き入れ、ClassPad.netで教師に送信する。



STEP 2

教師が添削し生徒に返信する。



STEP 3

STEP1～2によりデジタルで制作した線画を基に、B3サイズのケント紙に線画を描く。



STEP 4

ClassPad.netの授業支援機能を活用し、デジタルで制作したものと、実際に紙に作図したものと
の整合性を確認しながら、制作を進める。



STEP 5

空気遠近法を考慮しながら、透明水彩絵の具で線画に着色を行う。



導入前と導入後の変化

特に大きな変化は、課題の達成率です。

ClassPad.netで授業終わりに課題を配信することで、生徒が学んだ内容を復習したり、教師からの添削やアドバイスを受けたりしたうえで次の授業に臨めるため、生徒の課題の達成率がClassPad.netの導入前よりも上昇しました。



お気に入りの機能・使い方

課題を写真で撮影し複数繋げて送ることができる、という点を一番好ましく思っています。

ClassPad.netを使用した今後取り組みたい授業

今後は校外学習の際にも利用したいと考えています。

生徒が各自で校外で取材してきた内容をClassPad.netの機能を使って収集し、それを生徒自身が共有しながら発展できるような課題を作っていきたいと思っています。



生徒に聞いた、ClassPad.netの「良いところ」



岩崎 莉奈さん

授業で遅れても、家で取り返せるのはClassPad.netのおかげ!

美術の制作過程においてもClassPad.netで先生にアドバイスがいただけて、家でも直したり作業することができて、授業で遅れてしまった分を取り返せるので、すごく良いと思います。
ClassPad.netは、授業中分からない単語が出てきた時にすぐに調べられるので、いろいろな知識を頭に入れることができ、他の教科でも助かっています。



柴川 明咲さん

ClassPad.netで作品へのアドバイスも先生からいただいています!

美術の授業では、自分の作品を先生に送り、アドバイスをいただいて制作に活かすことができています。
また、分からないところをすぐに調べることや、資料などを学校で写真に撮って家でそれを見ながら学習することができるので、すごく便利だと思います。

高度な探究の授業でも大活躍！ 制作過程を丁寧に評価可能に！

～地域PRのためのデザインを考える芸術探究の授業～

授業支援機能により、
制作経過でも生徒へのフォローが
できるようになりました！

授業のポイント
動画で紹介



鈴木 淳也 先生

※2022年11月取材時点

授業の流れとClassPad.netの活用方法

地域の問題解決に向けての提案や活動を産学で連携して行うことを目的にした芸術探究課題です。問題解決までの過程において芸術的側面の視点でリサーチを行うことでアプローチ方法や改善策を練る力を養うこと、提案の際にデザインやアート表現において成果物の発表という表現手段を学ぶことも含まれています。常葉大学経営学部マーケティングゼミとのコラボレーションにより地場百貨店での展示会が実現し、生徒たちの制作物とプレゼンテーション資料を来店者に見ていただける機会を設けることができました。

課題内容

【探究課題】

地域のPRに繋がるアイデア創出やデザインの制作

地域発見「マスコットプロジェクト」

【制作物】

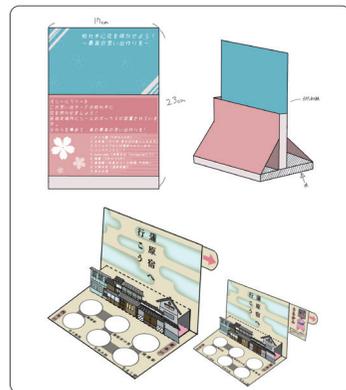
①地域のテーマ性を考慮した「マスコットキャラクター」のデザイン

②地域の魅力的なタウンマップ作成

一般的な地図にはない、「行ってみたい」と思えるようなワクワクするマップを考える。

③地域のPRポスターのデザイン

マスコットキャラクターとタウンマップ情報を載せた地域発見PRポスターや立体POPなどの販促物を制作。
レイアウトやフォントの配置・構成、色彩を効果的に用いて魅力的になるよう創意工夫する。



探究課題
地域発見「マスコットプロジェクト」

マスコットって何？
説明しよう！マスコットとは地域やコミュニティの象徴やアイコンになるマスコットとトラベルガイドなど有名な場所や穴場などの地図のスポットという言葉合わせた美術専攻期間の造語なのだ～

マスコットプロジェクト制作物

- 1 地域指定したテーマをもとにマスコットのキャラクターデザインを行う
- 2 任意で指定した地域のタウンマップを作成する
- 3 指定地域のPRポスターをデザインする。POP、販促物を作成する方法をとってもよい。立体POP、販促物は展開図で誰もが組み立てられることとする

旅行に行く前に滞在先のホテルや旅館でタウンマップを見ることはありますか？
遊園地やテーマパークに行くパークマップは見たことありますか？
ほとんどの人が見たことか利用したことがあると思います。
初めての場所での活動や行動する際の指針になるこのマップは地域の魅力を伝えるツールとしても魅力的な素材と言えます。

例えば下のマップを見てワクワクしますか？

ポイント1
ここに行ってみたいと思わせるワクワクポイントを作る。
ポイント2
周辺の情報の中から必要な情報に絞る。取捨選択が重要です。
ポイント3
印象に残りやすくなるために地図をデフォルメする。配色や構成を工夫して見やすくまとめる。

例：Googleマップでは詳細に地図が表示しているがここではピックアップした情報が見やすいタウンマップをデザインすることを優先しよう。

Pinをマスコットで表現しよう。

いるいるちご当地のタウンマップを参考に自分たちのプランを深めていきましょう。

情報を整理して必要な情報が目立つようにタウンマップをレイアウトしましょう。

STEP 1

探究課題のポイントを解説。課題で使用するデザインワークシートや立体POPの展開図データをClassPad.netで配布。

STEP 2

キャラクターの原案やマップの中で活用するためのモーション案、マップデザインを生徒一人一人が作成。

「マスコット」キャラデザインワークシート 2023.4.17配布 (4/19までの期間)

マスコット特徴
主要なイメージ (何をベースにしている)

いぬ (目撃) = 散歩が大好きな可愛らしい地域 = 自然豊か

付加価値 (加えることで新たな要素や価値が加わる)
その地域やその物 (特産物商品) や産業の魅力を高める要素

水蜜桃 = 桃の産地(産地) = 富士山が近い

ラフイメージ キャラクターの見え方 (ビジュアル)

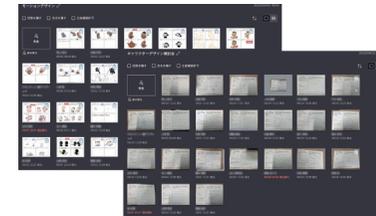
構成要素
犬のカラー = 富士山のカラー
輪っか = 輪っかの中に
マスコットの顔
マスコットの体
マスコットの足

キャラ設定
名前 = 桃川 ふうたろう
性別 = 男
年齢 = 10歳
職業 = 学生
住んでいる場所 = 富士山麓
好きな食べ物 = 水蜜桃
得意な科目 = 美術



STEP 3

作成したキャラクターやマップデザインの途中経過～修正案をClassPad.netの授業支援機能で提出。



STEP 5

ClassPad.netの提出画面を全生徒が見られるようにしておき、グループによる討論会を実施。生徒それぞれが抱える問題点やその解決策について、グループで意見やアドバイスを伝え合い学びを深める。



STEP 4

ClassPad.netのふせんで提出された制作物の途中経過を添削。悩みや疑問点があればふせんに記載するよう促すことで、一方的な評価ではないコミュニケーションを行う。



STEP 6

松坂屋静岡店での成果物展示。



常葉大学附属橘中学校・高等学校 様 (静岡県)

SDGsワークショップ/ TPRプロジェクト

1年生のSDGsワークショップと2年生のTPRプロジェクトとは



関本 和彦 校長先生

本校では、「学力以外の力も育てていきたい」という思いの基、1年生は主に探究学習の一環として、SDGsワークショップを取り入れています。静岡市のSDGs共同宣言校として複数の企業とタイアップしており、多くの方々とは様々な形でお話をしたり、考えを共有させていただいています。生徒たちは、多くの企業の方々とお会いすることによって、自分自身を知ること、または未来に向けて思考することを通じて、非常に成長していると実感しています。

2年生は、TPRプロジェクト (Tachibana Pioneers for the Region Project) と申しまして、いわゆる地域貢献を主に考えて活動をしています。21の企業や様々な団体と取り組みを行っており、毎週火曜日の5時間目と6時間目を使い、生徒たちを派遣または参加させていただいています。探究学習あるいは総合学習は様々な学校で取り組みを行っていると思いますが、これだけ多くの人数を一斉に外に出して体験をさせているのは、高校の中では珍しいと思います。この活動によって、もっと静岡市に貢献できる生徒を育てていきたいと考えます。また、生徒が自分の未来を考えるにあたって、静岡市の中で自分自身がどのような立ち位置にいるか、将来ここに戻ってきた時に、どのような考えを持ちながら生活をしていくか、そういった視点も高校生のうちから育てていくことも本校の特色の一つであると私は考えています。

SDGsワークショップとTPRプロジェクトの狙い

私が今危惧しているのは、生徒たちが生活の中でバーチャルな部分に大きく依存しているということです。私としては、できるだけ生の体験、実際に人と会って話をし、考える、またそれを基に振り返るといった活動が、今後の社会においては重要になってくるだろうと考えています。AIがどれだけ我々の生活の中に入ってくるかは分かりませんが、人の仕事、または社会で生きていくということは、最終的には人と人との関わりがなければ成り立ちません。生徒たちをできるだけ外へ出し、多くの方々に様々なご教示をいただきながら、生徒たちを育てていきたいと考えています。

取り組みによって培った能力を 生徒たちに将来どのように発揮して欲しいか

本校では、ランドデザインを作成し、その中で大きな二つの目標を掲げました。一つは、建学の精神に基づいて、自ら学び、または自らの幸せを感じられる生徒になること。もう一つは、社会の時代の変化に対応できる生徒となることです。様々なものが大切だとは思いますが、やはりこれからは変化に耐えうるしなやかさや強さが大事になってくると思います。この面で、本校の特色ある教育が非常に重要だと私は感じています。

SDGsワークショップとTPRプロジェクトを立ち上げた時期

静岡市がSDGsのアジアハブ都市宣言を行った時に、本校としても何かタイアップができないかということで様々な団体や企業にお声掛けをし、2021年に高校1年生のSDGsワークショップが実現しました。TPRプロジェクトは2019年度に「地域協働推進校 (アソシエイト)」として文部科学省からの認定を受けまして、その後さらなる発展を目指し、5Cスキル (Choice/Communication/Challenge/Coproduction/Contribution) を身に付けるための取り組みを本校独自で考案し、現在に至っています。

タイアップした団体や企業からの評価や地域貢献の効果

スターバックス、FDA、静岡銀行など、様々な企業と取り組みをさせていただいています。生徒たちも、学校の教師とは違う、家族とも違う、社会の中で活動されている方々と実際に会うことが非常に参考になった、ためになったという振り返りをしています。生徒たちの成長実感としては、非常に満足度の高いものになっていると感じます。



取り組みによって起こった生徒の変化

やはり学校では、机に座ってしっかりと勉強するというのが基本です。しかし、これからの社会を生きていく上では、それだけでは到底やっていけないと思います。こういった取り組みを行うことによって、生徒たちが自ら振り返り、様々なことを感じることができるようになったというのは非常に効果があったのではないかと考えています。今後は、それらを発展させ、自分の中で昇華させて、大学生になった時、または社会人になった時に、この経験が活きるように生徒たちにしっかりと根付かせていきたいと考えています。

取り組みに対する保護者の評価

生徒たちが様々な形で振り返りをしてくれるものですから、取り組んできた内容や体験してきたことを家庭で話してくれていることでしょうか。保護者の方々も、こういった取り組みについて後押しをしてくれていることと思います。保護者の方々も、これからの社会はやはり非常に不確かな社会だと認識されていますので、学力プラスアルファの部分に関しては賛成していただけていると思います。

今後の展望

こういった取り組みが一過性で終わらないように、どのような形で根付かせていくのかが課題となります。将来的に彼らが成長していき、次の進路に向かった時に、フィードバックをしっかり行って、自分の成長にどのように本校での体験が役立っているのかという声を聴けるシステムを作りたい。これは、我々としても自信になりますし、在校生や指導する教員にとっても非常に価値のあるものになると思います。

	SDGs 稲葉 梨乃 先生 ローソンとコラボしたSDGsワークショップ 生徒と教師、生徒同士でのスムーズなやり取りが協働的な探究を促進!	→ P.34
	SDGs 小澤 祐太 先生 清水エスパルスとコラボしたSDGsワークショップ 添削のデジタル化でプレゼンの表現力が格段に向上!	→ P.36
	SDGs 望月 康平 先生 日興美術とコラボしたSDGsワークショップ 意見共有が容易になり、生徒同士が思考を深め合えるように!	→ P.38
	TPR 武田 皓希 先生 とこは幼稚園・たちばな幼稚園とコラボしたTPRプロジェクト 探究の過程で集めた情報をまとめておく場として活躍! LUSHとコラボしたTPRプロジェクト 「書く」から「打つ」への変換で、多くの生徒が考えを表現できるように!	→ P.40 → P.42

生徒と教師、生徒同士でのスムーズなやり取りが協働的な探究を促進!

～ローソンとコラボしたSDGsワークショップ～

最終プレゼンテーションに向けたグループでの話し合いと、クラス内での中間発表にClassPad.netを活用しました!



稲葉 梨乃 先生

授業の流れとClassPad.netの活用方法

本カリキュラムは、食品ロスについてローソンの方から講義を受けた上で、コンビニ店において食品ロスを減らすための販売方法等のアイデアをグループで考え、最終的に企画としてまとめ、ローソンにプレゼンする総合探究の授業です。

STEP 1

グループに分かれ、食品ロス削減を考える対象の食品(おにぎりやファストフードなど)とその選定理由を話し合う。



STEP 2

ClassPad.netのグループ機能を使い、その食品でどういった削減に繋がれるのかについて、グループで意見を出し合う。類似点のある意見はふせんにまとめるなどしながら整理していく。

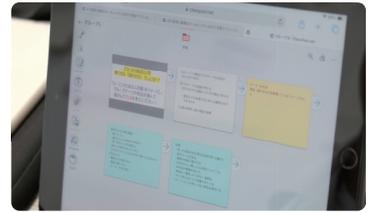


SDGsワークショップ

SDGsに繋がる活動を通して、世界・国・県・社会全体が取り組んでいるSDGsの理解を深め、社会の一員としての自覚を持つことを目的とした産学協同のワークショップ。

STEP 3

グループ内の意見を代表の生徒が一つのふせんにとまとめ、提出BOXに提出する。



STEP 4

代表者が提出したふせんをスクリーンに投影し発表する。



STEP 5

他グループの発表を聞いた上で、自グループの案になかった視点などを話し合いながら案を更に具体化していく。

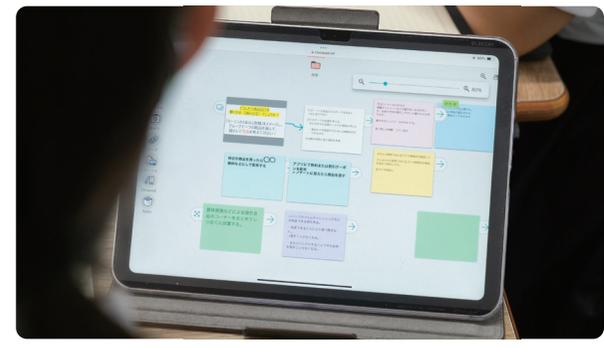


探究的な学びの授業におけるICTツールやアプリの利点

ICTツールの活用は非常に有効だと考えています。自分で考えて、それを書き出してみる。その書き出したものをスクリーンに投影し、自分の意見を表現できます。意見があっても発言は苦手だと感じている生徒でも、ICTツールを使うことによって発表することのハードルが下がり、様々な意見が共有されることは、ICTあってのことだと思います。

探究の授業においてClassPad.netが便利だと思うポイント

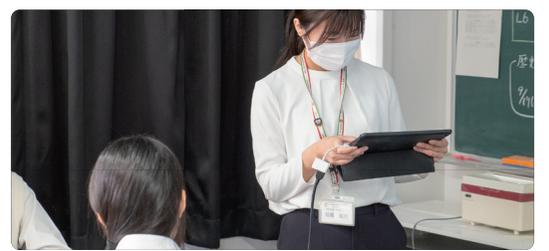
私はClassPad.netの提出機能が特に優れていると感じています。添削に役立つだけでなく、提出物を俯瞰的に一目で確認できますし、生徒からもクラスメイトの提出物を見ることができますので、生徒と教師、生徒同士での相互のやり取りが可能で、どんどん新しいものを作ったり、あるいは修正改善していくことができます。探究の授業においてそのようなやり取りは、非常に大事だと感じています。



数学の授業における導入前と導入後の変化

添削にかかる時間が激減しました。

導入前は、各生徒の提出状況の確認から始まり、次にどこを間違えているのか一人ずつチェックし、間違いの多かった問題を整理し次の時間で確認する、という流れで行っており結構大変でした。導入後は、課題を写真に撮って提出してもらっており、提出状況が一目でわかります。また、分からなかった問題に印を付けて提出してもらうことで、生徒の理解度の全体把握が、ClassPad.net上で簡単に行えます。添削作業以外の時間のロスが大幅に減り、非常に楽になりました。



生徒に「まずはやってみよう」という気持ちが芽生えました。

導入前の数学の授業では問題を投げかけても、分からないとそこで思考が止まってしまう、結局白紙のまま教師の解答を待つような生徒が多かったのですが、ClassPad.netの数学ツールを授業に取り入れたことで、グラフを自分で触って動かすことができ、楽しみながら「この場合はこうなるのか」と、分からなくてもまずは取り掛かってみようという意識の変化が見られました。生徒たちの取り組む姿勢の変化を強く実感しています。

生徒に聞いた、ClassPad.netの「良いところ」

海野 莉玖 さん

ふせん機能は効率的に情報を整理したり共有したりでき、探究がスムーズに進みます!

端末があるだけでは、どのように学習に活用してよいか分からないことがありますが、「辞書機能を使ってみよう」「ふせんに考えを書いて先生に提出してみてください」など、ClassPad.netの特長を活かした先生からの具体的な指示があることで、授業が進めやすくなっていると思います。また、ふせん機能を使えば、効率的に情報を整理していくことができますし、先生や生徒同士でふせんを共有することもできますので、特定のテーマについてまとめる探究の授業には非常に役立っていると思います。

添削のデジタル化で プレゼンの表現力が格段に向上!

～清水エスパルスとコラボしたSDGsワークショップ～

プレゼンテーションに向けた
個人のアイデア出しとグループでの話し合いに
ClassPad.netを活用しました!



小澤 祐太 先生

授業の流れとClassPad.netの活用方法

本カリキュラムは、静岡県静岡市をホームタウンとするサッカークラブ、清水エスパルスが海岸線のゴミの増加について課題を持っていることから、ゴミを減らすためのイベントをグループワークを通して考え、プレゼンテーションを行う総合探究の授業です。

STEP 1

前回の授業で出たグループの意見をPDFにまとめ、ClassPad.netを通して生徒に配布する。



STEP 2

各グループの意見について、グループごとに会話をしながら振り返りと確認をする。



SDGsワークショップ

SDGsに繋がる活動を通して、世界・国・県・社会全体が取り組んでいるSDGsの理解を深め、社会の一員としての自覚を持つことを目的とした産学協同のワークショップ。

STEP 3

SNSで普及するような「みんなが楽しくできるゴミ拾いイベント」のアイデアをグループで出し合う。



STEP 4

グループのアイデアをまとめ、ClassPad.netで提出する。



探究的な学びの授業におけるICTツールやアプリの利点

主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、各生徒に違う課題を渡し情報共有しながら進めていく、といったジグソー法のような形式を取り入れた授業を多く行っています。そのような授業ではICTツールを使うことによって共有が簡単になったり、記録としてポートフォリオを残せるという点が便利だと思っています。

探究の授業においてClassPad.netが便利だと思うポイント

探究の思考過程を記録として残すのに役立っています。

探究の授業は、1時間で完結するものではありませんので、調べたことやグループワークの内容を記録として残していき、最後の振り返りの時にどういった思考過程であったのかを確認する必要があります。ClassPad.netは記録をしっかりと残りポートフォリオを作っていくことに非常に役立つツールです。



導入前と導入後の変化

スライドを作ったり、デザインする表現力が格段に上がりました。

アドバイスや指示がClassPad.netを介してできるようになったことで、生徒たちが作り上げるプレゼンスライドの質が大きく向上しました。表現力に関しては、それまでの生徒とは格段にレベルが上がってきていると思います。探究的な観点からも、進路などに関してこれまでとは違い、今の自分より一つ上を目指そうという生徒も出てきているので、自立した学習者を育むという面でも効果が出ていると考えています。



生徒に聞いた、ClassPad.netの「良いところ」



佐藤 凪さん
複数の端末から一つのデジタルノートに書き込みができて、グループワークが効率良く進みます!

探究は、企業の方々と進めていくことで社会体験をすることができるとても有意義な授業だと思います。その中でも、グループ内で意見を出し合い考えをまとめていくことがありますが、ClassPad.netは複数の端末から一つのデジタルノートに書き込みができてとても便利です。グループワークなどで以前より効率的に進められるようになったと感じています。

意見共有が容易になり、生徒同士が思考を深め合えるように！

～日興美術とコラボしたSDGsワークショップ～

発表に向けた案出しと案を絞っていくグループワークにClassPad.netを活用しました！



望月 康平 先生

授業の流れとClassPad.netの活用方法

本カリキュラムは、SDGsに取り組んでいる地元静岡県の企業である日興美術から、「チョーク」「人工芝」「カレンダー」など、世の中から無くすことができないものから、廃棄物削減に繋がるような新しい製品を企画立案する、という課題を受け、生徒がグループ単位で案をまとめ発表する総合探究の授業です。

<p>STEP 1</p> <p>ClassPad.netで事前に教師がクラスを5人一組にグループ分けをしておき、グループに一つふせんを配布する。</p> 	<p>STEP 2</p> <p>グループ内で一人一つのふせんで作業できるように配布されたふせんを複製し、そこに各生徒が自分の製品企画案を書き込んでいく。</p> 	<p>STEP 3</p> <p>グループ内の他の4人のふせんに書かれた案に対して「面白そう」「便利そう」といった観点で、最も良いと思うものに◎を、2番目に良いと思うものに○を付ける。</p> 	<p>STEP 4</p> <p>他の4人からの◎や○が多かった2案について、「その製品があることで世の中がどのように変わるか」について、各生徒がさらに製品企画の精度を高め、ふせんを更新する。</p> 	<p>STEP 5</p> <p>他の4人の各ふせんにまとめられた2案について、良いと思った方に◎を付ける。(ふせんに書かれた案が一つだった場合は、意見や助言を加筆する。)</p> 	<p>STEP 6</p> <p>グループ内の4人からの◎が多かった案について、各グループの中で発表する。</p> 
--	---	---	--	--	---

探究的な学びの授業におけるICTツールやアプリの利点

一番の利点は、生徒たちが普段からなじみのあるものを使って授業に臨めることだと思います。今の生徒たちは、スマートフォンやiPadを日常で当たり前のように使っています。それらを使うことで、紙とペンに比べスムーズに学びに入ることができている印象を受けます。私たち教師でも思い付かなかったような方法で、ICTツールを使ってグループワークをしたり、生徒たち同士で教え合ったりしていることには驚かされます。ICTツールによって、生徒同士での学び合いが深まったという実感があります。

教師と生徒の間にはどうしても壁があり、目線の高さに差がありますが、生徒同士は目線が一緒ですので、分からないところが気軽に聞けたりと、様々なことがうまく解決できているという実感があります。ICTによって、生徒たちの活動の幅が非常に広がったように思います。

探究の授業においてClassPad.netが便利だと思うポイント

準備物が圧倒的に減ったこと、生徒の意見をクラス全体にすぐに共有できるようになったことです。

今までグループワークをさせる際は、大きい模造紙や紙のふせんを用意したり、色を着けたい時にはマーカーを用意したりと、非常に数多くのものを用意する必要がありました。ClassPad.netを使えば、タブレット一つでグループワークを行えますので、教師としては非常に助かっています。また、出した意見をすぐに共有できることが、生徒たちにとっては有効な機能だと思います。グループで良い意見が出たら、今までは模造紙にそれを書いて持ち上げて他者に見せていました。今はClassPad.netを介して提出することで、プロジェクターとスクリーンを使って教師がすぐにそれを映し出しクラスに共有することができます。「このアイデアは良い」と生徒たちから声が上がれば、アイデアを出した生徒は嬉しいですし、意見が出なくてモヤモヤしているようなグループのヒントやきっかけにもなっていきます。



導入前と導入後の変化

意見を出そう、答えを導こうという姿勢を強く持ってくれるようになりました。

積極的に参加をすることが難しい、発言するのが苦手だという生徒がクラスの中には一定数存在します。今までの紙のふせんを使ってのグループワークや紙のノートでの授業では、そういった生徒たちは授業の流れから外され気味でした。しかし、そんな生徒でもClassPad.netを使って考えていることを文章にまとめて発表したり、クラス内で共有したりすることができるようになってきました。また、課題に対する生徒個人の取り組み状況が教師側から一目瞭然なので、生徒たちも必ず何かしらの意見を出してくれたり、何かしらの答えを導こうという姿勢をだいぶ強く持ってくれるようになりました。



SDGsの探究の授業では、主に生徒たちにはグループワークを通じて活動してもらっています。その中では、教師が思い付かないような考えや意見が出てくることもあり、驚くことが非常に多いです。様々な物事について考えたり、それを深く学んでいく主体性が生徒たちに見受けられるようになってきました。

生徒に聞いた、ClassPad.netの「良いところ」

廣澤 みなとさん

クラスメイトからコメントをもらえたり、異なる意見を発見するのが楽しい！



SDGsの探究の授業では、ClassPad.netのふせん機能で、自分の意見を書いてクラスメイトと共有しています。自分の意見に対して、クラスメイトからコメントをもらうことや今まで自分になかった意見を見つけることができず楽しくて、やる気も出ます。

探究の過程で集めた情報を まとめておく場として活躍!

～ここは幼稚園・たちばな幼稚園とコラボしたTPRプロジェクト～

前週に行った幼稚園での
実践についての振り返りに
ClassPad.netを活用しました!



武田 皓希 先生

授業の流れとClassPad.netの活用方法

本カリキュラムは、常葉大学附属の幼稚園である、ここは幼稚園・たちばな幼稚園に登園している幼児(3歳～5歳)を対象に、遊びを交えた教育プログラムをグループごとに企画し実践する総合探究の授業です。

<p>STEP 1</p> <p>あらかじめ教師が用意したデジタルノートを用いて、グループワーク機能を使用する。</p> 	<p>STEP 2</p> <p>グループに分かれ、リーダーがデジタルノートに「良かった点」「改善したい点」について、それぞれふせんを作成する。</p> 	<p>STEP 3</p> <p>グループ内の他の生徒も「良かった点」「改善したい点」の二つのふせんを作成し、リーダーが作成したふせんの下に並べ、ふせんに自分の振り返りとして、意見や写真を貼り付けていく。</p> 	<p>STEP 4</p> <p>良かった点は「さらに良くなるためにはどうすれば良いか」、改善点は「次はどうしたら良いか」という次の実践に向けた内容を話し合い、新しいふせんに書き、ふせんを矢印で繋げていく。</p> 	<p>STEP 5</p> <p>生徒がふせんに記入した内容を教師が画面でリアルタイムに確認しながら机間巡視する。</p> 	<p>STEP 6</p> <p>次回実践に向けた話し合いを行い、YouTubeのリンクなども張ってデジタルノートにまとめていく。</p> 
---	--	---	---	---	---

探究的な学びの授業におけるICTツールやアプリの利点

従来ではノートとペンのみがツールですが、インターネットに接続していることによって音声、画像、動画も記録することができます。探究においては、生徒たちのプレゼンなどを、より分かりやすく進化させていくために、教師からフィードバックする時に非常に役に立っています。

探究の授業においてClassPad.netが便利だと思うポイント

音声や画像、動画を一つのツールの中で保存できることが非常に便利です。

探究学習においては、生徒たちが自ら企画したり、課題を見つけてそれに対して様々な情報を集め、解決を目指していくことが基本の流れです。情報を集めてきた時に、音声や画像、動画など、多岐にわたるものを一つのツールの中で保存できることがClassPad.netの強みだと思います。

その情報を複数のメンバーと共有することによって、新たなアイデアが生まれます。それを提出したり、他の人に見てもらったりする時も、ClassPad.netなら一つの画面にまとめておく状態にできるので、非常に分かりやすく相手に伝えることができると思います。



導入前と導入後の変化

「書く」から「打つ」への変換で、
多くの生徒が自分の考えを表現できるようになりました。

今の生徒たちはスマートフォンやタブレットで文字を打つことに非常に長けており、ペンで書かせるよりもデバイスで打たせた方が、非常に良いアイデアが生まれることがあります。ClassPad.netの導入により、ペンではなかなか自分の思いを伝えられない生徒も、打つことによって自分の考えを表現できるようになりました。



探究的な学びの実践が生徒に与えた影響や効果

生徒たちにとって、自分が今学んでいる内容が将来的に何に繋がっていくのか、学校の中だけではイメージしづらいものですが、探究プロジェクトを通し、社会の中で実際に働いている親や教師以外の大人と関わることで、自分の将来が学校生活と地続きになっているという認識をより明確に感じられるようになっていくと思います。

生徒に聞いた、ClassPad.netの「良いところ」

松岡 璃奈さん

意見を発表するのが苦手でも、
ふせんに書くことで意見をみんなに
共有することができます!

TPRプロジェクトは、企業に出向いて企業の課題などを自分たちならどう解決できるかを考える活動です。今まで知らなかった地域の課題や職業の課題などを細かく深く知ることができるので、とても良い活動だと思っています。

ふせん機能は、自分の意見を他の人たちに共有できるところがとても便利です。自分の意見を発表するのが苦手な生徒でも、ふせんに書くことで意見をみんなに共有することができますので、TPRプロジェクトのような探究の授業にとっても良いと思います。

「書く」から「打つ」への変換で、 多くの生徒が考えを表現できるように！

～LUSHとコラボしたTPRプロジェクト～

考えや意見をグループで
出し合い整理する過程で
ClassPad.netを活用しました！

授業のポイント
動画を紹介します



武田 皓希 先生

授業の流れとClassPad.netの活用方法

本カリキュラムは、気候変動について、企業理念、またミッションとして取り組んでいるラッシュジャパン合同会社から、政府が推進している気候変動対策やその組織の実情についてレクチャーを受け、生徒が自ら気候変動について調べ、自身の考えやアクションを起こす意識を持つことを目的とした総合探究の授業です。

STEP 1

グループワーク用のデジタルノートを
教師が事前に用意しておく。



STEP 2

以前の授業で知った、気候変動対策の政府
機関のメンバー構成が「年齢」「性別」「職業」
の観点から偏りがある事実を踏まえ、それ
によって起こることについて、自身の考えをふ
せんにまとめる。(ふせん1枚に1つの意見を
記入する。)



探究的な学びの授業におけるICTツールやアプリの利点

従来ではノートとペンのみがツールですが、インターネットに接続していることによって音声、画像、動画も記録することができます。探究においては、生徒たちのプレゼンなどを、より分かりやすく進化させていくために、教師からフィードバックする時に非常に役に立っています。

探究の授業においてClassPad.netが便利だと思うポイント

音声や画像、動画を一つのツールの中で保存できることが非常に便利です。

探究学習においては、生徒たちが自ら企画したり、課題
を見つけてそれに対して様々な情報を集め、解決を目指
していくことが基本の流れです。情報を集めてきた時に、
音声や画像、動画など、多岐にわたるものを一つのツ
ールの中で保存できることがClassPad.netの強みだと思
います。

その情報を複数のメンバーと共有することによって、新
たなアイデアが生まれます。それを提出したり、他の人に
見ってもらったりする時も、ClassPad.netなら一つの画面
にまとまっている状態にできるので、非常に分かりやすく
相手に伝えることができると思います。



TPRプロジェクト (Tachibana Pioneers for the Region Project)

「橋で地域の先駆者となれる力をつける!」をスローガンに、グループワークや発表など主体的に取り組む活動を実践する常葉大学附属
橋高等学校独自の地域協働推進プロジェクト。

STEP 3

生徒が各自意見を記入したふせんを
グループ内で共有し、グループでも話
し合い、意見を出し合いながら、さら
にふせんに意見をまとめ、考えを深め
ていく。



STEP 4

ふせんにまとめたグループ内の
意見を代表者が発表する。

導入前と導入後の変化

「書く」から「打つ」への変換で、
多くの生徒が自分の考えを表現できるようになりました。

今の生徒たちはスマートフォンやタブレットで文字を打つことに非常に長けており、ペンで書かせるよりもデ
バイスで打たせた方が、非常に良いアイデアが生まれることがあります。ClassPad.netの導入により、ペンで
はなかなか自分の思いを伝えられない生徒も、打つことによって自分の考えを表現できるようになりました。



探究的な学びの実践が生徒に与えた影響や効果

生徒たちにとって、自分が今学んでいる内容が将来的に何に繋がっていくのか、学校の中だけではイメージしづらいものですが、探究プロジェクトを通し、社会
の中で実際に働いている親や教師以外の大人と関わることで、自分の将来が学校生活と地続きになっているという認識をより明確に感じられるようになって
いると思います。

生徒に聞いた、ClassPad.netの「良いところ」

大木 心愛さん

ふせんを共有することで、
自分の意見をみんなに
発表しやすくなりました！

ClassPad.netを使った授業では、ふせんを使って提出BOXに宿題を提出できますし、先生とのやり取りも
できるようになって便利です。
TPRプロジェクトでは、グループワークで意見を出し合います。自分の意見を出すのが苦手な生徒もいま
すが、そのような生徒もふせんに書いてみんなに見せることができるようになりました。自分の意見をしっかりと
みんなに発表できるようになって、非常に良いと思いました。



浦和実業学園中学校・高等学

校訓

実学に勤め徳を養う

学問のための学問ではなく、実社会に出て役に立つ学問、実学とは何かを模索しながら教育を行ってきました。世のため人のために尽くす人間の育成を目的とし、挨拶や感謝、奉仕、反省の気持ちを持つ「徳育」にも力を入れております。

ICT教育の課題・テーマ

生徒の主体性を培うためのアクティブラーニングやICT教育

新しい学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」が掲げられています。実社会で役立つスキルを身に付けるためには、アクティブラーニングやICT教育を用いて、生徒の主体性を培っていく必要があると考えています。学びにおいては、教室で生徒同士で意見を出し合ったり教師とやり取りしたりする協働学習が非常に重要であり、オンライン会話ツールを使った画面越しの授業ではなく、学校でみんなが顔を合わせて集まることの意味に繋がってくると思います。

知識を吸収しそれを深めていくには、自学の姿勢が欠かせません。その姿勢が学力の向上に繋がります。その自ら学ぶ姿勢づくりは、これまでは家庭学習あるいは塾や予備校といった学校以外のところに任されていたが、ICTの活用により、学校の授業と家庭を連結できるようになりました。これは非常に効果が大いと思っています。当然、協働学習に不慣れなタイプの生徒もいますので、そのような生徒たちをどうサポートしていくかが課題となりますが、教師側の工夫により、かなり改善していると思います。

校様〈埼玉県〉

端末整備状況

本校では校務のDX化を推進するなかで、2019年から教職員にiPadを配布しており、職員会議の完全ペーパーレス化を実現しました。印刷や製本の手間が無くなり、働き方改革に繋がっていると思います。生徒には2020年から入学時にiPadを購入してもらっていますので、現在は全生徒が1人のiPadを持っている状態です。

ClassPad.net導入に至った経緯と理由

言葉の力を効率的に育むことができる オンライン辞書機能

勉強する上で一番大事なのは言葉だと思っています。特に最近の共通テストでは、全ての教科で読解力が問われていますので、言葉の力を育む必要があります。また、試験だけではなく、他者とのコミュニケーションや自分の考えを深めていくプロセスにおいても、人は言葉を使っています。豊富な言葉を持ち、それを自由に操って考えを深めていくことが一番大事だと思っています。ClassPad.netを導入したことで、言葉の力を育むことの効率化が図れております。生徒たちがClassPad.netのオンライン辞書機能を活用し、「これはどうなんだろう」と言葉に興味を持ち、次々と関連した言葉を短時間で効率よく容易に調べられる。そういった点が非常にありがたいツールだと思っています。



岡田 慎一 校長先生



古文 田淵 直弘 先生

基礎文法の内容確認の授業

発言が苦手な生徒も積極的に意見を発信できるように!

→ P.46



古文 田口 純平 先生

助動詞「せ」を中心に源氏物語『桐壺』を読み解く授業

発表に至る話し合いも可視化!効果的なアクティブラーニングが可能に!

→ P.48



発言が苦手な生徒も積極的に意見を発信できるように!

～基礎文法の内容確認の授業～

生徒の考えを理解し各生徒に寄り添った授業を行えるようになりました!

授業のポイント動画を紹介します



田淵 直弘 先生

授業の流れとClassPad.netの活用方法

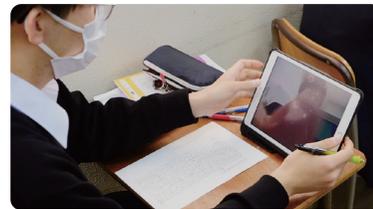
STEP 1

授業の中で使う基礎的な内容を小テストで確認。



STEP 2

音読したデータをClassPad.netで提出。音読で生徒の緊張感をほぐしつつも、提出の緊張感を持たせる。



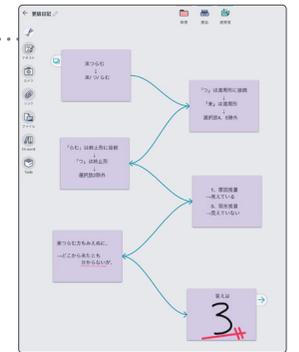
STEP 3

本題となる助動詞「らむ」の識別について、生徒が発表。



STEP 4

発表内容に対する足りない部分、補足説明が必要な部分を授業として展開。



導入前と導入後の変化

積極的に発言するのが苦手な生徒の意見も把握できるようになりました。

クラスには、やはり消極的な生徒が一定数います。今までその生徒たちは、なかなか声を出して自分の意見を言うことができませんでしたが、ClassPad.netを導入してからは、そのような生徒たちが自分の意見を積極的に発信してくれるようになりました。それぞれの生徒がどのようなことを考えているのかを理解できるようになり、その生徒たちに寄り添った形で授業が展開できるようになったことが一番大きなポイントだと思います。



宿題や自宅学習でのClassPad.netの活用機会

生徒の自宅学習として通常の宿題にClassPad.netを活用しています。また、授業内で出した課題が終わらなかった場合や、次の授業の材料として使うための資料作成にも自宅でも活用してもらっています。それを学校で確認し、授業の中で活用するという意識的に多く行っています。

ClassPad.netを使用した今後取り組みたい授業

ClassPad.netなら、理想とする授業を目指せます。

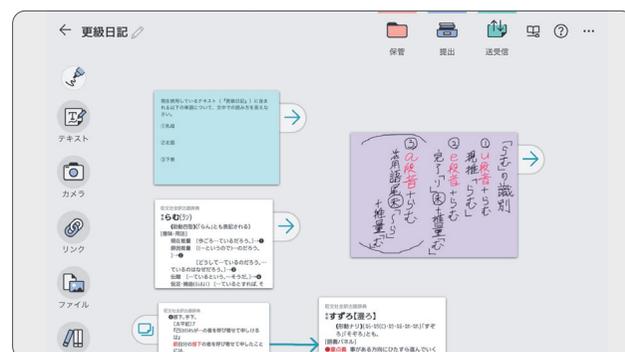
教師はその場を管理するだけで、生徒が自主的に疑問点を探し、その疑問点を解決するために取り組んでいく。これが私の考える授業の理想型の一つです。そういったことを実現できるのがClassPad.netだと思っていますので、今後もその理想の実現に向け活用していきたいです。



お気に入りの機能・使い方

デジタルノート機能全般が気に入っています。

一方的な授業では、なかなか生徒の力にはならないと考えています。教師が知識や考え方を教えることはもちろんですが、それらを使って生徒が辞書で自主的に言葉の意味を調べたり、インターネットを使って外の世界にその知識を繋げていく作業ができることによって、今まで点で覚えていたものが、線として繋がる。それが本当の力になると考え、これからも積極的に活用したいと思っています。



生徒に聞いた、ClassPad.netの「良いところ」



関谷 穂南さん
自分でまとめたデジタルノートはテスト前の復習に役立ちます!

一番のお気に入りは、デジタルノート機能です。ClassPad.netのデジタルノート機能で、自分の考えをまとめるようになりました。ふせんに、写真や参考サイトのURL、オンライン辞書機能で調べたこともそのまま貼ることができるので、ノートがとてもまとめやすいです。そのノートを授業やテスト前に見て、復習に活用しています。また、授業で終わらなかった課題を家に帰ってから終わらせて提出することができるようになりました。授業中に分からない単語が出てきた時でも、授業を受けながら自分で調べることによって、しっかりと授業についていけます。

発表に至る話し合いも可視化！ 効果的なアクティブラーニングが可能に！

～助動詞「せ」を中心に源氏物語『桐壺』を読み解く授業～

オンライン辞書機能により、
「正しい情報を得て考え、残す」
意識が定着しました！

授業のポイント
動画を紹介します



田回 純平 先生

授業の流れとClassPad.netの活用方法

発表に至るまでの話し合いの可視化と「受験とどう繋がるか」の視点を重視

生徒が発表する形式の授業は多いと思いますが、発表だけで終わってしまうのではなく、実はその発表前までに行われる話し合いが最も重要だと考えています。その話し合いの中にこそ、気づきや覚えるべきことがあり、それらを可視化することをポイントにしています。

ClassPad.netを活用し授業内で生徒たちから受け取ったものを発表する双方向での授業を行いました。古文の学習には単語の意味の把握が欠かせませんが、それを教師が簡単に教えてしまうと、そこで理解が終わってしまいます。そうではなく、生徒が自分で調べ、まとめ、振り返る。語彙と学習の相乗効果を狙った授業です。

STEP 1

授業開始と同時に全員がClassPad.netにログインする。

STEP 2

前回の授業で話し合った「なぜ帝は急いで桐壺を参内させたのか、桐壺もなぜ急いで参内したのか」について、班ごとに考察を発表するための資料をデジタルノートのふせん機能を使い10分間でまとめる。
その間、教師が進捗を見て回り、アドバイスを伝える。



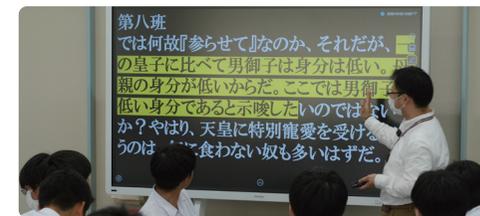
STEP 3

作成したふせんを授業支援機能で教師の端末に送信し、全班のふせんを集約。発表する班をくじで決め、班の代表者がプロジェクターでふせんを投影しながら発表する。
発表を聴いている他の生徒は、自分たちの班のアプローチと比べながら、発表班の内容をまとめる。



STEP 4

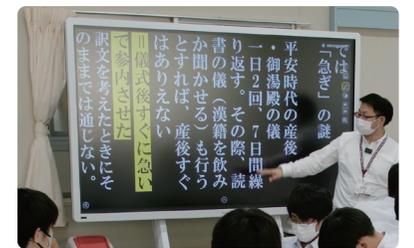
教師が、発表した班やその他の班の話し合いの過程を紹介しながら、各班の「良い視点」や「独自の鋭い視点」を解説する。
各班が発表した理由の判断の拠り所となる本文についても紹介しながら、その中で出てきた「楊貴妃のためし」「物忌」「方違」といった重要なキーワードについて触れ、全員がオンライン辞書機能でその言葉の意味を調べる。



STEP 5

1年前、2年前に同じ課題を行った先輩たちの答えのアプローチと教師のアプローチを紹介。

本文には書かれていない平安時代の産後の儀式の存在を考慮するアプローチにより、「訳が間違っている」というひとつの結論を提示し、多角的に調べ考えていく視点を与える。



STEP 6

全班の発表シートと教師作成の資料をClassPad.netで全員に配布。

導入前と導入後の変化

「辞書で調べ正しい情報を得て考える・それを残しておく」という意識が教師と生徒に定着しました。

まず、我々教師の意識が変わりました。今までは、教師が板書しつつ説明し、それを生徒がノートに書き写す、という状態でした。

ClassPad.netを導入したことによって、授業中に分からない単語が出てきたらすぐに調べることができます。生徒が40人いたら、それぞれ分かるところと分からないところは違うはず。「私はここは分かるからいいよ」「私はここが分からないから調べてみよう」といったことができるようになったのが大きいと思っています。今までは、教師から教えられるのをただ待っている、という状況でした。それが悪いことだとは一概には言えませんが、生徒が自主的に自分で分からないところを調べられるようになったのは、ClassPad.netのオンライン辞書機能の効果だと考えています。



お気に入りの機能・使い方

EX-wordのコンテンツが入ったオンライン辞書機能と調べたことを貼り付けられるデジタルノート機能。

私は国語科として、言葉を非常に重要視していますので、やはり一番のお気に入り機能はEX-wordのコンテンツが搭載されたオンライン辞書機能です。すぐに検索できる、そしてそれをデジタルノートに貼り付けておける。その「残す」作業が今まではできなかったのありがたいと思っています。また、最近では昔の生徒たちが作ったノートを授業支援機能を使って生徒たちに送信しています。生徒は家に帰ってから「この先輩はこんな風に捉えていたんだな」と参考にしています。

生徒に聞いた、ClassPad.netの「良いところ」

田中 沙季さん



自分が持っていない参考書や用語集が入っていて、
教科に合わせて活用でき、検索すると瞬時にでてくれてありがたいです！

ClassPad.netには、自分が持っていない参考書や用語集が入っていて、教科に合わせて活用できる場所が良いです。英語の文法参考書や日本史の用語集など、検索すると瞬時にでてくれるのはとてもありがたいです。デジタルノート機能は、メモやふせん、スタンプなどを使うことによって要点がまとめやすく、特に文系教科で活用しやすいです。また、授業支援機能を活用すると、分からないことを自宅からでも先生に聞くことができるのでとても良いと思います。

大阪産業大学附属高等学校

校訓

偉大なる平凡人たれ

創立者、瀬島源三郎先生が「平凡な日常生活を大切に送っていくこと、地道にたゆまず努力していくことは偉大なことである」と教え、それは現在の徳育・知育・体育の三位一体教育の実践に繋がっています。徳育を先頭に位置付けたのは知育も体育も徳育の上に育まれると考えられているためです。

学校の教育目的

生徒・保護者のニーズにしっかりと応えていける学校を目指しています

本校は昭和3年に、大阪鉄道学校として創立されました。現在は大阪産業大学の附属高校として、五つのコースを設けており、それぞれの目標を持つ受験生が、コースを選んで入ってきます。多くの生徒が大学進学を目指し、卒業後はそれぞれ希望の大学に進学します。そういった生徒あるいは保護者のニーズにしっかりと応えていける学校を目指しています。

ICT教育の課題・テーマ

年齢問わず、全ての先生がICTを推進できる環境づくりに力を入れています

ICT教育推進については、本校は残念ながら、全国あるいは大阪の他の学校に比べると後発ではありました。そこで新たにICT教育を推進する部署を立ち上げ、ベテランの先生から若い先生まで、全ての先生がICTを進めていくための環境づくりを大きな課題として取り組んでいます。後発の学校ではありますが、ここ数年でかなり進んできているのではないかと思います。

端末整備状況

令和6年度には全ての生徒が端末を持つ状況に

令和4年4月入学の高校1年生から、全員にChromebookを持たせており、令和6年度には全ての生徒が端末を持つ状況になっています。



様 〈大阪府〉

ClassPad.net導入に至った経緯と理由

オンライン辞書機能のコンテンツの充実と、ICTを推進しづらい「数学」にも効果的な数学ツール「ClassPad Math」が決め手

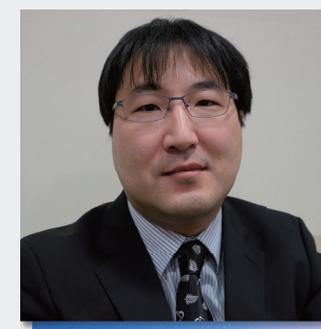
生徒全員にChromebookを持たせるにあたり「Chromebookの金額に追加して、今までのように電子辞書の端末も保護者にご購入いただくのか」ということが課題でした。

二つの端末を合わせると負担がとて大きいですが、一方で辞書は必ず持たせたいと考えておりましたので、様々な辞書のサービスを検討・体験しました。その中でClassPad.netは辞書だけでなく、今まで生徒たちが使っていた参考書や用語集なども入っていたことが一番大きかったと思います。

また、5教科の中でICTを推進しづらいのが「数学」でした。他のサービスでは「電子ペンだとグラフが書きにくい」という話が上がりましたが、ClassPad.netにはグラフや図形が視覚的につかめる数学ツール「ClassPad Math」があり、5教科全てで活用できるサービスということも導入のポイントでした。



平岡 伸一郎 校長先生



市川 典孝 先生 (ICT担当)



古文 新宮 一平 先生

古典の文法理解の授業 気になったことをすぐ調べ書き込む習慣が生徒に定着!

→ P.52



英語 縄田 烈志 先生

環境汚染を題材にした文章で受動態とif節を理解する授業 複数の辞書を横断的に調べられ総合的な知識が定着!

→ P.54



英語 市川 典孝 先生

英語と情報をかけ合わせた新しい形式の授業

調べ学習から議論、発表資料作成までの協働作業がスムーズに!

→ P.56

海外コンテンツの字幕入れを通して、楽しみながら総合的な英語スキルを培う探究の授業

辞書の例文まで深く調べる習慣化により、総合英語力を養う探究的な学びが深化!

→ P.58



数学 池田 透 先生

三角関数のグラフの変化を視覚的に学ぶ授業 sin, cos, tanなど理解しづらいグラフの変化を直感的に理解!

→ P.60



数学 綿谷 知貴 先生

入試問題を解く微分法の授業 生徒同士で率先して教え合うように!効果的な協働学習が可能に!

→ P.62



情報 松永 秀樹 先生

都道府県の特徴についての調べ学習 情報に欠かせない「調べる・整理する・まとめる」を効果的に実現!

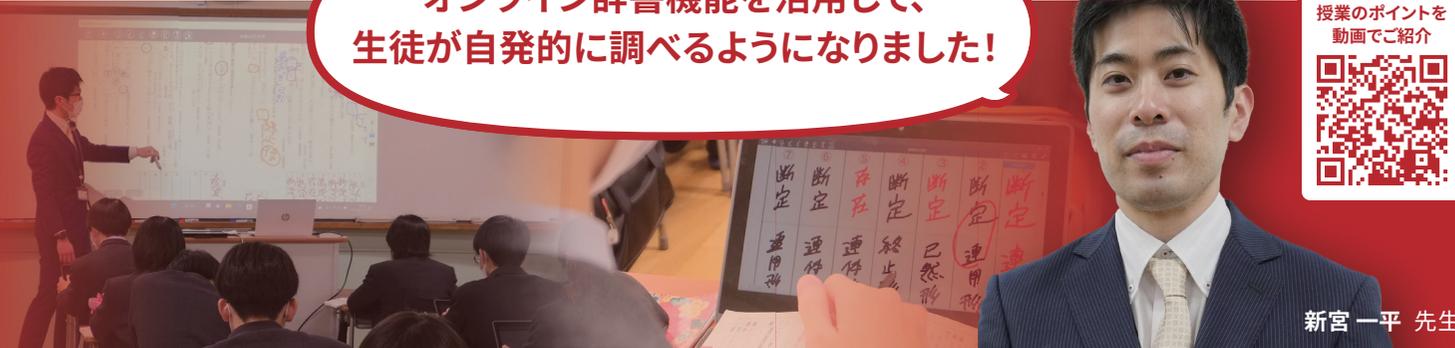
→ P.64

気になったことをすぐ調べ 書き込む習慣が生徒に定着!

～古典の文法理解の授業～

オンライン辞書機能を活用して、
生徒が自発的に調べるようになりました!

授業のポイント
動画を紹介します

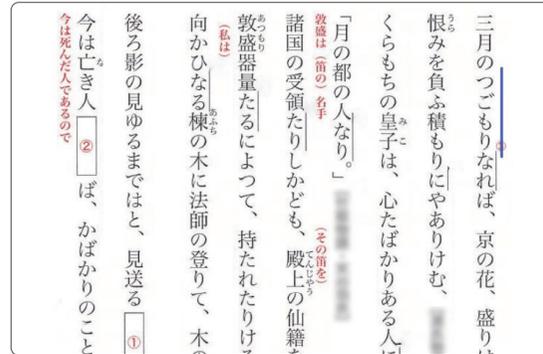


新宮 一平 先生

授業の流れとClassPad.netの活用方法

STEP 1

文法事項を確認しながら、生徒たちが順番に訳を答えていく。



STEP 2

生徒があてられた文章を訳した時に、単語の
つまづきがあれば、ClassPad.netのオンライ
ン辞書機能で確認していく。



宿題や自宅学習でのClassPad.netの活用機会

『ビジュアルカラー国語便覧』を使用して古典常識の学習を自宅でやってもらったり、古典に限らず、意味調べに活用してもらったりしています。

導入前と導入後の変化

生徒が自発的に調べるようになったことが一番の変化です。

気になったことはすぐ自分で調べ、書き込むという癖がついたと思います。



お気に入りの機能・使い方

一番のお気に入り、オンライン辞書機能の『ビジュアルカラー国語便覧』の中にある百人一首です。

百人一首の解説だけでなく、文法事項まで詳しく解説してくれているので、生徒たちが小学校の時に音で覚えていたものを、「こういうことだったのか」と実感できることがとても良いと思います。

ClassPad.netを使用した今後取り組みたい授業

今までは「教師側から与えたものを、生徒たちがClassPad.netを使って調べる」という方式でしたが、今後は「生徒たちが自ら問題を発見し、ClassPad.netに収録されている複数の辞書を使って様々な視点から調べ、自らで解決していく」ということに繋げていきたいと思っています。



生徒に聞いた、ClassPad.netの「良いところ」

松山 正幸さん

ClassPad.netが導入されて「調べるのが面倒」だった私が変わりました!

以前は古典の用語が分からない時でも「調べるのが面倒だからいいや」と思っていました。ClassPad.netのオンライン辞書機能は気軽に調べられ、様々な意味が出てきますので、非常に良いです。また、インターネットで英単語を調べるとき、検索結果の一番上に出てきた一つの意味で訳していたのですが、それだと違和感がある訳になってしまっていました。ClassPad.netは、その単語の複数の意味や過去形など様々な情報を提示してくれます。違う形になることで意味が変わる単語もあるので、英文の訳し方が幅広くなりました。

白濱 ころろさん

ClassPad.netは複数の辞書を横断的に検索できるので便利です!

授業中に出てきた分からない単語を調べるのに、以前はインターネットを使って検索して、該当するサイトを探すということをしていました。古典では、現在使われている言葉の意味とは違うものが多く、インターネットでは詳しくワードを入れられないとなかなか出てこないことがあったので、ClassPad.netでワードを検索するだけで、正確な情報をスピーディに調べられることがとても便利です。授業中や自宅学習で、やらなければならないことがたくさんある時には、とても助かります。また、以前は調べたい単語がある時に、どの辞書で調べたら良いか分からないということがありましたが、ClassPad.netには、複数の辞書から検索できる機能があり、様々な辞書の意味が出てきて、私はそこがすごくお気に入りです。

複数の辞書を横断的に調べられ 総合的な知識が定着!

～環境汚染を題材にした文章で受動態とif節を理解する授業～

ノートや辞書のデジタル化により、
机の上がすっきりして
学ぶ環境が整いました!

授業のポイント
動画を
ご紹介



縄田 烈志 先生

授業の流れとClassPad.netの活用方法

STEP 1

マイクロプラスチックが環境に与える影響についての文章を読み解きながら、ポイントとなる単語や表現をClassPad.netのオンライン辞書機能で確認していく。



STEP 2

「food chain」などの一般用語や「if」などの副詞まで、幅広く意味を調べることで、英文読解力と語彙力を高めていく。

「sea」と「ocean」の違いや、なぜ「oceans」と複数形になっているのか、そこから派生して、世界には海洋がいくつあるのかなど多角的な視点も持ちながらオンライン辞書機能で複数の辞書を横断的に調べ、総合的な知識も身に付けていく。



宿題や自宅学習でのClassPad.netの活用機会

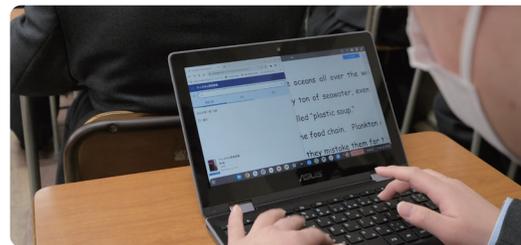
ClassPad.netに収録されているオンライン辞書機能のコンテンツはインターネット上にある辞書以上に良いものばかりです。冬休みの宿題では、**分からない単語の意味、発音記号、アクセント**、さらにその単語を使った例文など、生徒たちも積極的にClassPad.netを活用し、自宅学習での課題を進めていました。

導入前と導入後の変化

大きく変わったのは机の上の環境です。

パソコン1台の中にノートや辞書があり、机の上がすっきりしたことで、生徒たちにとって良い環境が整ったと思っています。

また、2022年度の1年生たちは辞書を買っておらず、辞書を持っていない生徒ばかりでしたが、分からないことがあったらすぐClassPad.netのオンライン辞書で調べ学習ができます。学ぶ環境が整っているということも大きく変わったポイントです。



お気に入りの機能・使い方

『CNN ENGLISH EXPRESS』を活用し、冒頭10分でリスニング力を効率的に強化しています。

ClassPad.netには、和英辞典、英和辞典のほか、CNNが世界で報じたニュースを教材化した『CNN ENGLISH EXPRESS』があります。これを使って、授業の冒頭に10分程度、リスニングの学習をさせています。実際のニュースキャスターの方が読む英文と、生徒たちが聴きやすいナレーターの二つの音声があり、聴き比べながらの学習もできます。記事の内容も比較的新しいため、継続的に授業に取り入れられる点が非常に気に入っています。

ClassPad.netを使用した今後取り組みたい授業

今後は、主体性を持って学習に取り組む姿勢が評価されるようになってきます。授業の中で、家庭学習の中で、**何か分からないことがあったら自発的に調べる。そのような生徒の姿勢に応える機能**が、今は手元にある状態ですので、教師が働きかけて使わせるのではなく、生徒が進んでより活用していけるようになればと考えます。

パソコンを使う、機材を使って作業することは、将来的に生徒が大人になった時、絶対に役に立つ能力です。学校でもデジタル化がかなり進んできていますので、私も上手に扱えるようになり、生徒たちを指導していきたいと思っています。



生徒に聞いた、ClassPad.netの「良いところ」

炭谷 健太郎 さん

オンライン辞書は、分からない単語を簡単な操作で調べられます!



中山 李璃 さん

自宅でもChromebookを開いてみよう、と思えるようになりました!



自宅で勉強する際、今までは教科書を出して、筆箱を出して、と勉強する前に面倒で嫌になるということがありました。今はパソコン1台出せばよく、ゲーム感覚でできるので取り組みやすくなりました。特に英語のコミュニケーションの分野でClassPad.netが活用しやすいと感じています。先生はモニターに書いてくれるので分かりやすいですし、私たちもそこに書いていきます。分からない単語があったらそのまま簡単な操作でオンライン辞書機能で調べることができるので、使いやすいです。

オンライン辞書機能が便利です。調べたらすぐ正確な意味や答えが出てくるので、自宅でもChromebookを開いてみようと思えます。辞書などはかさばってしまいましたが、パソコン一つで見られるのが便利で荷物も減って楽になりました。友人同士で調べ合っ、プリントに書き込むということも行っています。

調べ学習から議論、発表資料作成 までの協働作業がスムーズに!

～英語と情報をかけ合わせた新しい形式の授業～

オンライン辞書機能の活用で、
授業中の単語の解説が
しやすくなりました!

授業のポイント
動画を
紹介



市川 典孝 先生

授業の流れとClassPad.netの活用方法

旅行代理店の社員になったつもりで、各都市の観光スポットの特徴や魅力を伝えるための、英語のリーフレットを作成することをゴールにした協働学習。

STEP 1

グループが担当する都市をくじ引きで決める。



STEP 2

様々な都市について、どのような観光地があるのか、まずは個人でインターネットや辞書等で調べ、ClassPad.netのデジタルノート機能のふせんにまとめる。



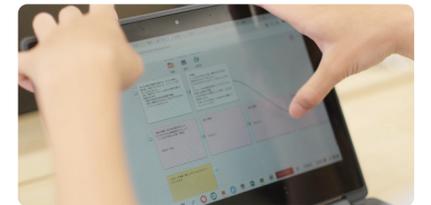
STEP 3

個人で調べたふせんをClassPad.netでグループ内でシェアし、グループの中で論理的に順番として成り立つように組み立てながら、英語で旅程プランを組んだリーフレットを作成。



STEP 4

グループごとに英語で発表する。自分のグループの旅程プランや旅のポイントを的確に他者に伝達するとともに、他のグループの発表内容も理解する力を養う。



宿題や自宅学習でのClassPad.netの活用機会

英語において、特に長文の授業では予習が必要です。新出単語が多く、また中学校で習った単語であっても、違う品詞、違う使い方、同じ見た目でも違う意味になっていることも多くなります。ClassPad.netを活用し、予習で単語を事前に調べ、授業の中でも調べさせ、保存させていく形をとっています。

導入前と導入後の変化

全員が同じ辞書で調べることにより、授業中の単語の解説がしやすくなりました。

ClassPad.netによって、辞書が全員同じものになったということは大きな変化です。以前は電子辞書を使っていましたが、機種の違いや、同じような電子辞書でも入っているコンテンツの違いで、「この単語のこの意味がここに載っている」というような指導はできませんでした。ClassPad.net導入によって全員が同じ辞書、同じ画面、同じコンテンツを見ることになり、ここを見てほしいということが簡単に伝えられるようになりました。また、以前は辞書を買わない生徒もいましたが、ClassPad.net導入によって全員が辞書を持っているという安心感もあります。



お気に入りの機能・使い方

英語の音声にもすぐ触れることができるオンライン辞書機能が特に高評価です。

英語に関しては、辞書だけでなく、『CNN ENGLISH EXPRESS』なども含め、音声にもすぐ触れることができる点でClassPad.netを高く評価しています。また、私の学生時代のことを思い返してみると、数学のグラフなどイメージできないことがありましたが、今の生徒たちはClassPad.netの数学ツール「ClassPad Math」でグラフを書き、最終的なイメージを持って勉強できるというのは羨ましいです。

ClassPad.netを使用した今後取り組みたい授業

1年生で担当している論理・表現は、最終的には英作文となり、一文一文ではなく、まとまった英語を書くこととなります。その上では論理の組み立てが必要となります。ClassPad.netのふせん機能を活用し、並べ替えをしながら、しっかりととした論理の組み立てができるよう、生徒たちに指導したいと考えています。



生徒に聞いた、ClassPad.netの「良いところ」



千村 颯さん

オンライン辞書機能は派生語なども出てきて、一度に複数の単語を覚えることができます!

分からない単語や計算方法に対して、紙の辞書や教科書では調べるのに時間がかかりますが、ClassPad.netでは文字を入力するだけで欲しい情報が得られます。派生語なども見ることができるので、一度に複数の単語を覚えることができ、英語の長文読解の際に特に役立っています。また、プライベートのスマホでは、学習で何か調べようとしても、ゲームなどに誘惑されることがなく、勉強の効率が上がっていると感じます。



福田 みるこさん

分からない英単語をすぐに調べる習慣ができました!

1人1台、ClassPad.netが入ったパソコンを持っていることで、先生から生徒のパソコンに直接書き込みがあるなど、コミュニケーションを取りながら授業が進んでいくのがとても良いと思います。また、ClassPad.netを使うようになってから、分からないことをすぐ調べるようになりました。特に英単語をすぐに調べられるようになったのは大きな変化で、同時に発音が聴けることもありがたいです。

辞書の例文まで深く調べる習慣化により、総合英語力を養う探究的な学びが深化!

～海外コンテンツの字幕入れを通して、楽しみながら総合的な英語スキルを培う探究の授業～

翻訳活動にあたり、正しく深い英単語・表現の知識を得るためにClassPad.netを活用しました!

授業のポイントを動画で紹介



市川 典孝 先生

授業の流れとClassPad.netの活用方法

本英語探究の概要

航空機内安全ビデオや海外映画、ドラマなど、生徒にとって身近で関心を持ちやすい題材を活用し、英語への興味や学ぶ姿勢を深めることを目指したプロジェクトです。PBLの考え方を取り入れた長期的な英語探究として展開しています。

動画を視聴し、英語を聞き取って翻訳した後、その映像に字幕を入れる活動を通して、楽しみながら総合的な英語スキルを身に付けることを目的としています。

中にはまだ翻訳されたものが存在していないコンテンツもあり、それらを自らの手で「日本語字幕入り映像」に仕上げることで、楽しみながら他国の歴史や文化への考察を深めることにも繋がっています。

本授業では、プロジェクトの集大成である「海外映画・ドラマへの字幕付け」に向けたスキル向上を目指し、日本とイギリスの航空機内安全ビデオを題材にリスニングと翻訳の演習を行いました。

STEP 1

日本の航空会社2社の機内安全ビデオを視聴し、機内安全ビデオでよく使われる英語の言い回しの「表現集」を各生徒が作成する。この活動を通して、機内安全ビデオの基本形を把握する。

表現	必ずClassPadで調べる		ビデオの用例(1つかまわらないが括弧で出典を書く)	どの航空会社で使われた?
	品詞	意味		
例 aircraft	名詞	航空機(airplane, helicopterなどすべて含む)	Move away from the aircraft immediately(ANA)	ANA/JAL両方
1 on board	熟語	(飛行機、船など)に乗って	Welcome on board.	ANA/JAL両方
2 pay attention to	熟語	～に注意を払う	Please pay attention to the following safety instructions.(ANA)	ANA
3 in front	熟語	前に、前席に	under the seat in front and do not stick items on top of each	ANA
4 seat	動詞	座席 座らせる 従わせる	Remain seat and wait for instruction. (ANA)	ANA
5 radio	名詞	(目に見えない)電波系	radio waves (ANA)	ANA
6 aisle	名詞	(乗り物、映画館などの)通路	Noting should block the aisle or exits.(ANA)	ANA
7 original	形容詞	最初の、元の、本来の	table to the original position(ANA)	ANA
8 inflate	VI	～を膨らませる	Inflate the life vest at the door or on the wing by pulling the	ANA
9 move away from		～から離れる	Move away from the aircraft immediately(ANA)	ANA
10 brace	動詞	覚悟を決める	In emergency, brace for impact.	ANA
11 original	形容詞	最初の	Return your seat and table to the original position for takeoff	ANA
12 in case of	熟語	・・・の場合には	whenever you are seated in case of sudden turbulence.	ANA

STEP 4

日本の航空会社2社で作成した「機内安全ビデオでよく使われる表現集」を参照しながら、ClassPad.netのオンライン辞書機能で単語や表現の意味を調べ、辞書内の例文も参考にしながらビデオ内のセリフを翻訳する。

British Airways 字幕活動シート		
時間	英語	日本語
0:08	Anne...	アン...
	I must confess a sentiment of the most tender nature...	君に本当の気持ちを伝えなければならない
	Welcome everyone.	皆さんようこそ
	We will now demonstrate the safety features of this aircraft,	今から安全に飛行機に乗るための説明をします
	and your attention is essential as this may be	注意して必ず見てください
	different from any aircraft that you've flown on before.	他の飛行機と違うかもしれません
0:23	Do I smell the winds of war?	戦いのおいを感じるか?
	I see smoke on the horizon.	向こうに煙が見えるぞ
	Smoking, including e-cigarettes, vaping, and the use of other smoking devices,	タバコ、電子タバコを含むベイピングや煙が出る機器
	is not permitted at any time whilst on board.	は、機内では使用できません

STEP 2

世界の航空会社では、自国の特性を表現したビデオを展開していることを踏まえ、ユーモアを交え歴史や文化を取り入れたBritish Airwaysのビデオを紹介する。日本語訳されたものは公開されていないため、ビデオを解説しているYouTube動画を視聴し映像企画の概要を把握する。



STEP 3

British AirwaysのビデオをClassPad.netの動画ふせんとして全生徒に送付する。生徒はビデオを視聴しながら、グループで「英字穴埋めシート」の空欄部分を記入する。聞き取れない言葉はClassPad.netの再生速度調整機能を活用しながら視聴する。

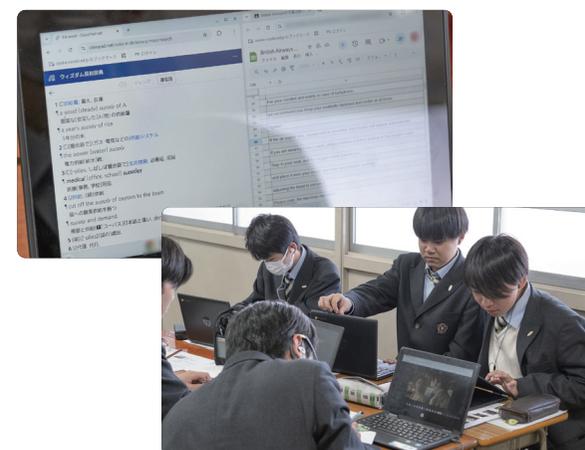


STEP 5

生徒が翻訳した字幕テキストを教師が動画編集し、字幕付きのBritish Airwaysのビデオを作成。自らが提出したセリフが字幕として入った完成形をクラス全体に共有することで、今後のプロジェクトで行う翻訳活動に対する生徒たちのモチベーション向上に繋げる。

本授業後のPBL活動

機内安全ビデオでの学びを活かし、より難易度の高いイギリスの児童文学の翻訳活動を行う。その後プロジェクトの集大成として、海外映画・海外ドラマへの字幕入れ活動を行う。



授業のポイント
動画を紹介します



グラフを触って動かせることで、生徒たちの理解が深まっています!

sin、cos、tanなど理解しづらい グラフの変化を直感的に理解!

～三角関数のグラフの変化を視覚的に学ぶ授業～

池田 透 先生

授業の流れとClassPad.netの活用方法

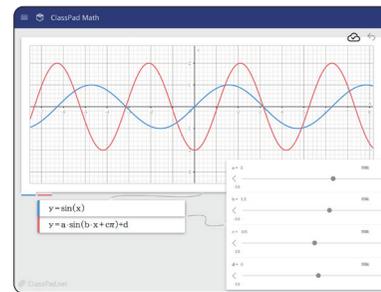
STEP 1

sin、cos、tanの基本的なよく出る角度の値を表でまとめ、生徒たちに考えさせ、実際にその角度の時の値を求めていく。



STEP 2

sin、cos、tanが何の値で変化していくのかを、数学ツール「ClassPad Math」を活用しグラフで確認しながら、「sinの前に2倍を表す2がついた時にグラフがどう変化するのか」などを視覚的に捉える。



STEP 3

問題として与えられたグラフが、視覚的にどのようなグラフになるのか数学ツール「ClassPad Math」を参考にしながら正解を導き出す。



宿題や自宅学習でのClassPad.netの活用機会

数学ツール「ClassPad Math」には電卓の機能がありますので、自宅で計算の確認をする時に生徒たちは活用しているようです。また、オンライン辞書機能に収録されている『共通テスト必出 数学公式180 四訂版 + 数III (電子増補)』にある問題集で、基本部分の予習をすることを促しています。

導入前と導入後の変化

生徒たちがオンライン辞書機能を多く使っていることが非常に印象的です。

元々、生徒たちは電子辞書を持ってきていましたが、ChromebookでClassPad.netのオンライン辞書機能が使えるようになり、授業中の調べものに大きく役立っているようです。数学では、グラフが関係する授業において今回のように数学ツール「ClassPad Math」で視覚的な理解を深めることに活用しています。

お気に入りの機能・使い方

一番気に入っているポイントは、数学ツール「ClassPad Math」でグラフがきれいに書けることです。

グラフを書いて説明した方が視覚的に分かりやすい授業になりますが、二次関数などのグラフを手書きできれいに書くのは難しいため、数学ツール「ClassPad Math」は非常に助かっています。



ClassPad.netを使用した今後取り組みたい授業

オンライン辞書機能の公式集の一つ一つがとても分かりやすいため、事前に生徒たちに目を通しておいてもらえると授業に入りやすくなると考えています。特に理解が難しい単元では効果的ですので、ClassPad.netを活用した予習を促していきたいと思っています。



生徒に聞いた、ClassPad.netの「良いところ」



宮木 佳優 さん

数学ツール「ClassPad Math」なら、頭では整理しづらいグラフも目で見てすぐに理解できます!

数学で扱うグラフは、頭の中ではなかなか整理しづらいのですが、数学ツール「ClassPad Math」を使えば視覚的にすぐに理解できるところがとても良いと思います。また、ClassPad.netが導入されて、分からないことをさっと調べられるようになりました。特に英語と国語でオンライン辞書機能をよく活用しています。



松村 幸汰郎 さん

ClassPad.netのオンライン辞書は英単語を包括的に覚えられます!

以前の私は国語辞典を引いても、一つの単語に対し一つの意味しか覚えていなかったのですが、ClassPad.netの導入によって、多くの意味を知ることができるようになりました。英単語の意味を調べるのにClassPad.netが大きく活躍しています。荷物が減ったことも嬉しいポイントですね。また、数学の授業では、数学ツール「ClassPad Math」をsin、cos、tanの数値を表すことに活用しています。

授業のポイントを動画で紹介



友達同士や同じ学力レベル
だからこそ気付ける教え合いの価値を
実感しています!

生徒同士で率先して教え合うように! 効果的な協働学習が可能に!

～入試問題を解く微分法の授業～

綿谷 知貴 先生

授業の流れとClassPad.netの活用方法

STEP 1

大学の入試問題をClassPad.netで事前に生徒たちに配布する。

[2013 三重大]
関数 $y = xe^{-2x}$ を考える。
(1) y, y' を求めよ。
(2) この関数の $0 \leq x \leq 2$ における増減、凹凸を調べ、グラフをかけ。

[2012 大阪工業大]
関数 $f(x) = xe^{-x}$ について、次の問いに答えよ。
(1) $f(x)$ を微分せよ。
(2) $f(x)$ の増減を調べ、極値を求めよ。
(3) 2つの曲線 $y = f(x)$ と $y = f(2x)$ の原点以外の共有点の x 座標を求めよ。
(4) 2つの曲線 $y = f(x)$ と $y = f(2x)$ で囲まれた部分の面積 S を求めよ。

STEP 2

クラスをグループに分け、グループごとに各大学の入試問題の担当者を割り振り、生徒がそれぞれ自分の担当の入試問題を解く。
(一つのグループの中で、同じ問題を解いている生徒がいない状況を作る。)



STEP 3

解答をプロジェクターに投影し、割り振られた生徒たちが教師役として他の生徒たちに解説する。




導入前と導入後の変化

生徒たちが率先して教え合う、効果的なグループ学習を行えるようになりました。

デジタル世代である生徒たちは端末に慣れていて順応性も高いため、授業の進行スピードが速くなっています。

また、我々教員は、常に生徒たちの理解度合いを注視していますが、我々の感じている理解度と生徒たちの実際の理解度の乖離が少しずつなくなってきたように感じます。私は授業でグループ分けを行います、グループが細分化されることによって、我々が気付かない間違いを、生徒同士で気付いてくれるようになりました。従来の授業では、教師一人が複数の生徒たちに教えていましたが、各グループに教師役の生徒が出てくることで、教師の手の届かないところで生徒たちが率先して教え合っているようになったことが大きな変化です。生徒たちの理解度にも大きく繋がっていると思います。



お気に入りの機能・使い方

授業支援機能を活用した、友達同士でしか気付けない「教え合い」の価値を発見できました。

数学ツール「ClassPad Math」でグラフが書けること、ふせん機能を使って重要な部分を生徒たちに注目させやすいこと、そして添削がレスポンス良くできることが良いと思う点です。

また、生徒たち自身が他の生徒たちの解答を開いて添削するという使い方ができるので、まわりの友達の答案を引き出してきて、生徒同士で添削し合ったりしています。教師の管理はある程度必要ですが、友達同士でしか気付けない、あるいは同じ学力レベルだからこそ気付ける何かがあり、教え合いの価値を発見できたというのが長く使ってきて分かったメリットです。

ClassPad.netを使用した今後取り組みたい授業

同じような学力層や、得意分野・不得意分野が同じ生徒たちを集めるのではなく、グループ内にそれぞれバラバラに点在させてあげることで、一つのグループの中で教師役/生徒役を交代で展開することができると思います。最初は準備が必要だと思いますが、このような学び合いを重要視した授業を目標にしています。



生徒に聞いた、ClassPad.netの「良いところ」

岸 壮樹さん
自分の解答が合っているのか、不安を解消しながら学習できます!

長尾 孝祈さん
手書きでの難易度が高い数IIIのグラフもさっと書けます!

今までは教科書が主体でしたので、帰宅してから教科書を出すのが面倒だったり、教科書自体を学校に忘れてきたら何もできないという状況でした。ClassPad.netはスマホでもログインできるので、帰宅後すぐに見ることができて便利になったと思います。特に数学のグラフや図は、数学ツール「ClassPad Math」の活用によって、より分かりやすくなりました。自分で解いている時、「これは本当に合っているのか」と不安になることがありますが、それが簡単に確認しやすくなったので、数学がより勉強しやすくなったと思います。

数学においてグラフを書くことはとても大切な行為です。グラフを書かせる問題がありますのでその対応が必要で、グラフを書くことによって、問題の答えがより分かりやすくなったりします。数IIIとなると、手でとても書けないというグラフが出てきますが、それらをさっと確実に書ける数学ツール「ClassPad Math」は素晴らしいと思います。また、ClassPad.netには様々な辞書が入っていて、複数の辞書を見比べながら、意味をより具体的に調べられるのが良いところだと思います。

情報に欠かせない「調べる・整理する・まとめる」を効果的に実現!

～都道府県の特徴についての調べ学習～

オンライン辞書機能により、
調べることに対するハードルが
下がりました!

授業のポイント
動画をご紹介

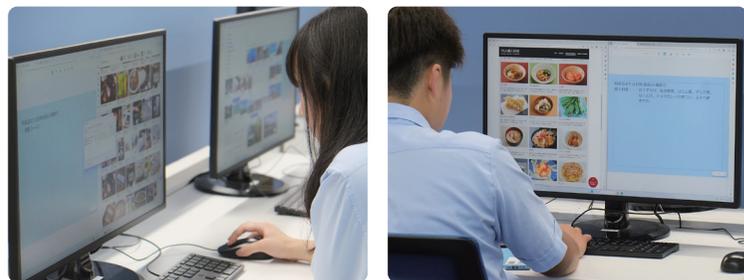


松永 秀樹 先生

授業の流れとClassPad.netの活用方法

STEP 1

各都道府県について、地域の特徴や名物などを調べる。



STEP 2

ClassPad.netのデジタルノート機能を使いながら、調べた内容をどのようにまとめるかを整理する。

観光地① 熊本城

詳細

- ・銀古城の愛称で親しまれている熊本城は、加藤清正が慶長5年(1600)の関ヶ原の戦い後、7年の歳月をかけて同12年(1607)に完成した城。
- ・城域は東西1.6km、南北1.2km、周長5.3km、城域約76万平方m。北から西へは坪井川を引いて堀とし、東と南は数層の石垣をめぐらせている。

良い点

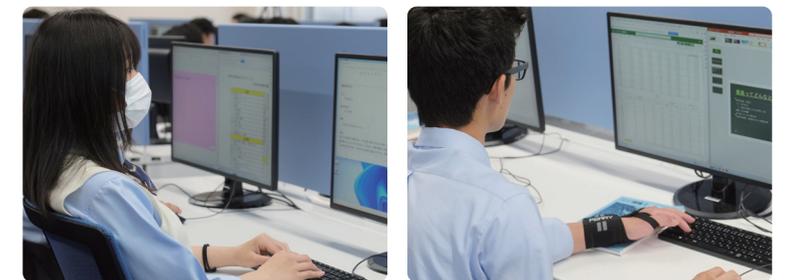
- ・天守閣からの眺め
- ・歴史を知るとさらにおもしろい
- ・おもてなし舞の演奏が楽しい

場所

〒860-0002 熊本県熊本市中央区本丸1-1

STEP 3

整理した内容をパワーポイントでプレゼンテーション資料としてまとめる。



宿題や自宅学習でのClassPad.netの活用機会

英語等の授業で出た宿題でオンライン辞書機能を中心に活用しています。情報に関しても、調べ学習のまとめとしてClassPad.netを使い始めましたので、生徒たちは自宅でも活用していると思います。

導入前と導入後の変化

その他のサービスも含めたICT教育推進による総合的な観点になりますが、**何かを調べることを中心に、とにかく学習に対してのハードルが下がったと感じます。**あとは圧倒的に、生徒たちが持ち物をなくすことが減りました。

お気に入りの機能・使い方

情報の授業には欠かせない「整理してまとめる」を
かなえてくれるデジタルノート機能です。

生徒はデジタルノートでまとめる際にふせん機能を上手に活用し、自分の勉強しやすいようにふせんを使い分けたり、繋ぎ合わせたりしており、より自分自身の理解に沿った形で学習しやすいのではないかと感じています。



ClassPad.netを使用した今後取り組みたい授業

様々なツールを導入していますので、単元や狙いに応じて一つの選択肢としてClassPad.netの利点や特性を活かして、自然に活用していけたらと思っています。



生徒に聞いた、ClassPad.netの「良いところ」

奥山 生さん

ClassPad.netなら、分からない単語や言葉の意味をすぐに調べられます!

ClassPad.netの導入によって、自宅での学習や授業中に分からない単語や言葉の意味を簡単に調べられるので、とても効率的だと思います。特に英単語を調べる際に大きく役立っています。

田中 瑠夏さん

「調べる」「メモする」「見返す」が効率的に行えます!

ClassPad.netがあることで、勉強が効率的になったと思います。特に活用しやすいと思うのは英語です。分からない単語や品詞をすぐ調べられますし、内容もとても分かりやすく書かれています。ClassPad.netは、キーボードなどで打たなくてもペンで書いた文字がそのまま出てきて検索もできます。メモの機能を使えば、授業中に先生が言ったことをすぐ書き込むことができ、授業の内容を家でもう一度見返すことができるようになりました。

東京立正中学校・高等学校 様

校訓

生命の尊重・慈悲・平和

自立した一市民として、世の中でそれぞれの立場で活躍ができるような人物を、世に輩出することを目的としています。

ICT教育の課題・テーマ

「コロナ禍への対応」から、「教育の質を高める」ためのICT教育へ

コロナ禍において、全教職員がやらざるを得ないという状況になったこともあり、ICT教育が推進、加速しました。その後、通常の状態になった現在では、「教育の質を高めていく」という方向へ変わるとともに、その必要性を強く感じています。

端末整備状況

高校生は全生徒が持っている状態

10年以上前から1人1台端末の整備を進めており、高校生は全生徒が持っている状態です。

〈東京都〉

ClassPad.net導入に至った経緯と理由

オンライン辞書機能の充実と、デジタルノート機能の幅広い使い勝手

「コロナ禍だから」ということではなく、ICT教育を次のステージに引き上げるために、どのようなものを導入すべきか検討していました。そのなかで、まず、「ClassPad.netにはオンライン辞書機能がある」ということに惹かれました。さらに、ノートとして使える機能性もあり、幅広い使い勝手で私達が求めているものとして、大きな可能性を感じました。

今後の新しい活動や取り組みについて

ClassPad.net導入をはじめ、本校では新しいチャレンジに取り組んでいます。海外大学への推薦制度、ニュージーランドへのターム留学、カンボジアへの研修、オーストラリアへの語学研修など、令和3年から発展させてきた海外向けのプログラムもその一つです。さらに、日本国内の活動をより充実させるべく、北海道や沖縄など他地域の学校との連携も進めております。

私は生徒たちに常日頃、「思考停止してはいけない」と伝えています。世の中にはあふれるほどのニュースが流されていますが、それをただ素通りするのではなく、自分ごととして捉え、考え、意見を持つ。教育目的として申し上げたように、生徒たちには、自立した一市民として育てほしいという思いがあります。

ロシアのウクライナ侵攻、台湾有事の懸念など、日本を取り巻く状況は、著しいスピードで変わってきています。そのようななか、北海道という場所、沖縄という場所の若者たちは何を考えているのか、東京にある本校と情報を共有しながら、「日本の未来を思考する」というプログラムを始めています。各都道府県の学校にも、この考えに同意をいただいております。



梅沢 辰也 校長先生



現代文 原子 桂輔 先生

ことわざを辞書で調べ、自己の意見を構築する授業

リアルタイムで全員の意見を共有！多様な意見を授業内でインプット可能に！

→ P.68



数学 ニツ森 将真 先生

平方完成、一次不等式、連立一次不等式の演習

授業効率化で机間巡視の時間を確保！「おいてけぼり」の無い授業を実現！

→ P.70



特別授業 琉水亭はなび さん × 浦和実業学園中学校・高等学校 田口 純平 先生

バイリンガル落語家 × 他校の国語教師による人生の授業

～人生におけるコミュニケーションの重要性～

→ P.72



特別授業 浦和実業学園中学校・高等学校 田口 純平 先生

琉水亭はなびさんの演目を題材とした、主体的な学びの実践

生徒全員が積極的に話し合い、アクティブに思考！

→ P.74



リアルタイムで全員の意見を共有！ 多様な意見を授業内でインプット可能に！

～ことわざを辞書で調べ、自己の意見を構築する授業～

授業支援機能により、
授業中に抽出した様々な意見を
リアルタイムで紹介しています！

授業のポイント
動画をご紹介



原子 桂輔 先生

授業の流れとClassPad.netの活用方法

STEP 1

授業で使うふせんを教師が生徒に配布する。ClassPad.netのオンライン辞書機能を使い、「時間」の意味を生徒が調べ、調べた内容を用意されたふせんに入力する。



STEP 2

教師が事前に用意した「時間に関係することわざ」五つを電子黒板に掲載し、その中から生徒が一つを選ぶ。選んだ内容が教科書の分類(①経過する時間②今という時間)のどちらなのかを生徒が考え、その理由をふせんに記入し提出する。

選んだ時間(今という時間) ①経過する時間②今という時間
【選んだ理由】
待ち遠しいという意味からこの先のことをあらわしていると思ったから。
早く実現すればいいと先のことを願っているから。
親しい人と一日会わないと長く会わないように感じるという意味から、また会う時までが待ち遠しいと感じていると思ったから。



STEP 3

提出されたふせんを生徒同士が互いに閲覧できるようにし、様々な視点で「時間」という言葉について考え、他の生徒のふせんの中で良いと思うものを発表し合う。

生徒は他人の意見を見ることにより、多角的なものの見方を発見する。



宿題や自宅学習でのClassPad.netの活用機会

私は普段、授業で行った課題を提出用のフォルダーに提出してもらっています。提出期日を設定することにより、管理自体も楽で、私自身も確認しやすいので、非常に助かっています。

導入前と導入後の変化

授業中に意見をピックアップして、リアルタイムに様々な考え方を紹介できるようになりました。

生徒たちが授業の場で様々な意見を表明できることが、非常に便利だと感じています。以前にも、生徒がその場で考えた意見を提出してもらおうという事は行いましたが、ClassPad.netなら、授業中に意見をピックアップして、電子黒板へ投影し、リアルタイムに様々な考え方を紹介しながら授業を進めることができます。また、今回の授業でも行いましたが、それぞれのタブレットで他の班の生徒の考えもリアルタイムで見られるという点も非常に便利です。



お気に入りの機能・使い方

生徒を萎縮させることなく、提出された課題をクラス全員に紹介して授業を進められます。

提出された生徒の課題を、生徒の名前を隠しながら教師の画面で紹介できることが非常に気に入っています。自分の考えが発表されるのは恥ずかしいと思う生徒もいます。名前を隠して発表されることによって、生徒たちは自分自身の考えをのびのびと書けますし、教師側も特に意識せずに「ある生徒の考えを見ようか」ということでピックアップもしやすいため、ClassPad.net導入時から活用しています。

ClassPad.netを使用した今後取り組みたい授業

どの分野や単元であったとしても、ClassPad.netで課題を提出することは、教師にとっても生徒にとっても便利なシステムです。今後は調べ学習など、宿題にもより活用したいと考えています。



生徒に聞いた、ClassPad.netの「良いところ」



高木 拓夢さん

すぐ調べられるオンライン辞書機能により、知識が深まっていると感じます！

ClassPad.netのオンライン辞書機能は、分からないことをすぐ調べられ、知識が深められるので、とても良いと思います。私の場合は特に国語の現代文で重宝していて、家庭学習でも多く活用しています。また、音声や動画を使った新しい学び方ができていると感じています。



山口 イリス 歩美さん

オンライン辞書機能は紙の辞書より調べやすく、マーカー機能も便利です！

タブレット端末とClassPad.netが導入されたことにより、重たい教科書を学校に持ってくる必要が少なくなり、身体的な負担が軽減されました。個人的には紙の辞書よりオンライン辞書機能の方が様々な単語を調べやすく、特に現代文でよく使っていて、便利だと思っています。また、単語の意味にマーカーを引けるところが気に入っています。全部を引くのではなくて、一部だけに引けるというのがとても良いと思います。

授業効率化で机間巡視の時間を確保! 「おいてけぼり」の無い授業を実現!

～平方完成、一次不等式、連立一次不等式の演習～

授業支援機能により、
課題未提出の生徒へのサポートを
授業中に行えるようになりました!

授業のポイント
動画を紹介します

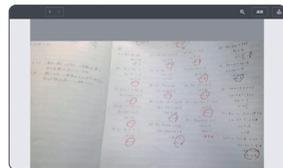


二ツ森 将真 先生

授業の流れとClassPad.netの活用方法

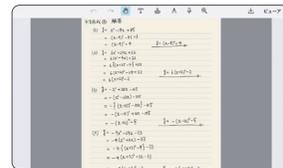
STEP 1

ClassPad.netで授業に使う課題8枚分を生徒に配布。生徒が1枚目の「平方完成」のプリントを解く間、解き方が分からない生徒のために、教師が板書で指導。解き終わった生徒は挙手し、ClassPad.net上で教師が解答を送信する。生徒自身で答え合わせした後、解答の写真を撮影し、提出箱に提出。



STEP 2

解き終わった生徒は2枚目以降のプリントを進める。ある程度解き終わったことを確認した後、一次不等式の解き方を教師が板書で指導。解き終わった生徒から、STEP1と同様に解答を送信する。



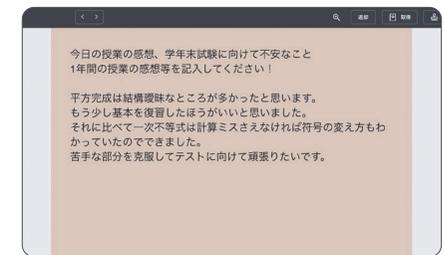
STEP 3

連立方程式の解説を板書で行い、生徒は問題演習。終わった生徒は、解答を見て自己採点する。



STEP 4

本日の振り返りと授業の感想を生徒がふせんに入力し教師に提出。



宿題や自宅学習でのClassPad.netの活用機会

授業内では問題演習が間に合わない生徒もいます。そういった生徒は、自宅でClassPad.netに入った解答資料を見て勉強しています。また、自宅学習時にオンライン辞書機能を活用して調べる回数も増えたようです。

導入前と導入後の変化

授業中に、課題未提出の生徒をすぐに把握してサポートできるようになりました。

生徒の学力にはどうしても個人差がありますが、以前は授業の中で、分からない生徒をそのまま置いていってしまうことがありました。ClassPad.netを導入してからは、提出状況がリアルタイムで分かり、未提出の生徒をすぐに把握してサポートできるようになりました。



お気に入りの機能・使い方

授業の効率化による机間巡視の時間確保と、リアルタイムでの提出状況把握で、「おいてけぼり」の生徒を作らない授業が実現できています。

私は教師になった時、「おいてけぼりを作らない」ことを一つの目標としましたが、誰がおいてけぼりになっているか実は分かっていないのではないかと感じるようになりました。一人一人、机間巡視をすれば分かることもありますが、1授業50分という時間の制限があり、机間巡視をずっとしているわけにもいきません。ClassPad.netであれば、どの生徒が理解していないか、リアルタイムに分かります。また、解答などを事前に用意しておくことで、その時間を机間巡視に使うことができます。机間巡視すること、リアルタイムで提出状況を見ること、この両方で生徒の状況を把握できるということが、ClassPad.net導入のメリットだと思います。

ClassPad.netを使用した今後取り組みたい授業

本授業では、一次不等式と平方完成の計算分野がメインの授業でしたが、**2年生になって学ぶ三次関数では、ClassPad.netの数学ツール「ClassPad Math」を活用し、生徒にグラフの曲線のイメージをつかんでもらってから考えさせるという授業をやってみたいと思っています。**

また、ClassPad.netを活用している教員は学校内でもまだ一部ですので、今後は、学校全体として全教員が一つの授業のスタイルを獲得していき、それを活かしつつ、様々なスタイルを知りながら自分のスタイルを見つけていければと思います。



生徒に聞いた、ClassPad.netの「良いところ」



大石 隼也さん

タブレット1台に、紙の辞書では持ちきれないほどの辞書コンテンツが入っていて、より多くの知識を得ることができます!

ClassPad.netのオンライン辞書機能には様々な辞書が入っていて、自宅学習の際にそれらを使うことによって、より多くの知識を得ることができます。ClassPad.net内にある辞書と同じ量の辞書を持ち運ぼうとすると、とても重くなってしまうので、それをタブレット1台で済ませられるのが良いと思います。



高林 楓さん

オンライン辞書機能の活用で、「分からないままにしてしまう癖」がなくなりました!

私は英文などの問題を解く時に知らない単語があると、他の知っている単語で補ってしまい、知らない単語はそのままにしていました。ClassPad.netが導入され、オンライン辞書機能でさっと調べられるので、分からないままに終わらせることがなくなりました。また、定期テストのほかに、単元が終わるごとにテストがありますが、その日になかった教科だったとしても、ClassPad.netのオンライン辞書機能にその教科の用語集が入っているので、好きな時に空いた時間ですぐに勉強ができ、良い点数に繋がると思います。

人生に生きる特別授業 Presented by CASIO

生徒がより楽しみながら積極的に参加する手法の一つとして、「いつもとは異なる先生による、いつもとは異なる授業」の可能性を感じ、企画・実施した特別授業をご紹介します。



琉水亭はなびさん

バイリンガル落語家×

～人生におけるコミュニケーションの重要性～

本授業では、生活や人生において最も重要なものの一つであるコミュニケーションをテーマとして、前半にバイリンガル落語家として活躍する琉水亭はなびさんをお招きし、公演とバイリンガル落語の演目をご披露いただきました。

日頃の活動内容について

本授業で行ったようなバイリンガル落語や英語落語を行っています。英語落語は月1回浅草での公演の他、保育園や小中学校でもやらせてもらっています。

私は「愛と元気と笑顔を運ぶ」という使命を持っています。その想いを最も伝えたいのが中学生や高校生だと思っていましたが、残念ながら今まで高校での機会はありませんでしたので、今回出張授業のお話をいただき、とても嬉しく思いました。

授業の内容・企画について

伝えたいことがたくさんある中、全体として「コミュニケーションの重要性」に繋がるよう、今回のテーマだけをピックアップすることを意識し、削りながらお話を組み立てていく作業に少々苦しみました。通常、出張授業では50分程度のを二演目行うことが多いのですが「生徒たちに小噺をプレゼントする」という発想から、演目は一つ小噺を二つという構成にしました。

アニメや電車、スポーツ、音楽など好きなことがあってそれを一生懸命やることもコミュニケーションの一つのツールになることがあるので、やりたいこと、自分の夢を見つけてほしいと高校生の皆さんにお伝えしました。

お話をしているうちに、クスクスしてくれたり、ニコニコしてくれて、終わった後に生徒さんが話しに来てくれて、「良かったです」と言ってくれました。全体的に私が伝えたいことが伝わったのが分かって、とても嬉しい授業になりました。



授業と演目の流れ・ポイント

私は落語家になる前に、ヒップホップを学ぶためにアメリカに留学した経験があります。当時英語が思うように話せない苦労がある中、私がいかにコミュニケーションを駆使してアメリカでの留学生活を送っていたか、そしてなぜ英語が満足に話せない日本人がクラスの人気者になれたのか、エピソードも交えてお話ししました。

その後、『Museum』という英語の小噺、『Aligator』というバイリンガルの小噺を披露しました。どちらもコミュニケーションをテーマとしたクスツとするお話です。

次に『反対俣(はなたいぐま)』という古典落語を、バイリンガル落語としてアレンジした演目を披露しました。

最後に、私が人生で経験した様々なことを踏まえて感じた「日本人は世界を救う」という考えや、「笑顔を世界に広めたい」という夢についてお話ししました。私は一度大学受験を失敗しています。それでも夢に向かって一生懸命やった結果、当時目指した「ラジオのパーソナリティ」に行き着きました。さらにその過程で「英語が話せる」という武器も手に入れることができた。その武器で今私がバイリンガル落語をやっているように、一生懸命やったことは無駄にならずに全部自分のものになります。

ClassPad.netパートナー校である東京立正高等学校にご協力いただき高校1年生イノベーションコースの特別授業として実施しました。

他校の 国語教師による人生の授業

後半は、ClassPad.netパートナー校である浦和実業学園中学校・高等学校の田口純平先生にご協力いただき、琉水亭はなびさんの演目と関連付け、実際にClassPad.netを活用した言語コミュニケーションの授業を実施いただきました。



浦和実業学園中学校・高等学校
田口 純平 先生

後半の田口先生の授業は次ページでご紹介！



イノベーションコース担任の原子桂輔先生にお話を伺いました

東京立正高等学校のイノベーションコースとは

課題解決型学習(PBL)を積極的に取り入れた授業を行うコースです。探究の授業ではボランティア活動をはじめ、地域の課題、世の中の課題について、生徒が自ら実際に取り組んでみることを通して課題解決を考えていく、といった活動を行っています。

特別授業の校内での意見・評価

本校にはSDGs委員会という組織があり、私と各担任の先生が話をしてイノベーションコースのプログラムを組み立てています。このコースでは、様々な地域で課題解決に取り組んでいる大人と関わる機会がありますが、本特別授業でのコミュニケーションについての学びが、今後そういった方々と関わる時のプラスになると強く感じましたので、スムーズに話を進めていくことができました。

校長も私と同様の考えで「これから様々な人と関わることを見越し、高校1年生のこのタイミングでこういった授業を実施できるのはとても良いことですね」と申しておりました。



生徒たちに期待すること

様々な課題解決に携わっている大人と生徒たちがより多く関わる機会を設けることにより、「課題へのこういった関わり方があるんだ」「こういう職業があるんだ」という気づきを得てもらいたいと思っています。

夢がまだはっきり見えていない生徒たちに対して、このような気づきを与えるアプローチを取っていきたい。そして、その夢や将来の目標に、周りの困っている人や物事に対して自分が何か一つでもプラスになるようなことを行う課題解決の視点を加えることができたらと思っています。

授業のポイント
動画で紹介



ClassPad.netを使って
生徒の主体的学びをサポートする授業
を行いました!

授業のポイント
動画を紹介します



生徒全員が積極的に話し合い、 アクティブに思考!

～琉水亭はなびさんの演目を題材とした、主体的な学びの実践～



田口 純平 先生

授業の流れとClassPad.netの活用方法

琉水亭はなびさんの演目が『反対俤』でした。『反対俤』の「俤」の意味を調べることから始まり、生成AIが作成した通常の『反対俤』演目についての要約についてグループで協議し発表するという主体的・協働的な学びを、ClassPad.netの活用を通して実践。生徒の皆さんのアクティブラーニングに主眼を置いて授業を展開しました。

STEP 1

通常の『反対俤』の要約文を教師が紹介し、前半の琉水亭はなびさんの落語との相違点や疑問点を生徒が導き出す。

紹介する感想文はGoogle AI GeminiとChatGPTを利用。生徒には最初は明かさずに提示(生成AIの便利さと、ハルシネーションの存在を知る狙い)



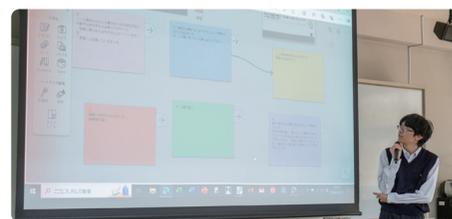
STEP 2

グループワーク機能を活用し、ふせんを貼って話し合いをし、グループの共通見解を作る。



STEP 3

ClassPad.netで作成したふせんをプレゼンテーション資料として、グループでまとめた意見を発表する。



STEP 4

落語には様々な表現方法があること、生成AIの利用とその問題点を説明する。

落語＝「ストーリーの語り手」だけでなく、身振りや手振りの動き、場の様子を考えて話し手が演出するものです。生成AIは様々な文献から一般的なまとめをするため、表現という分野には踏み込めません。生成AIで内容を知ることができても、ハルシネーションが発生します。表現とハルシネーションについてここでは感じてもらいたいと思っていました。



出張授業の話を受けた際の所感・感想

言葉の魔術師である琉水亭はなびさんとのコラボレーションは私にとっても理想的なお話でした。

ClassPad.netの良さは、双方向授業・デジタルノートはさることながら、辞書機能を備えていることです。学びの基本となるのは言葉です。このClassPad.netの特色をどのように全国に伝えていけば良いのか思索しておりました。その中で、今回、言葉の魔術師である琉水亭はなびさんとのコラボレーションは私にとっても理想的なお話でした。と同時に、落語と国語のコラボレーション、新たな試みということもあり、どう授業展開していけば良いかと悩みました。

この授業をきっかけとして、全国でClassPad.netを使って、いろいろな分野とコラボレーションしてみたいです。



出張授業を実施してみた感想

生徒の皆さんが積極的に話し合いをし、アクティブに思考している姿に感心しました。学ぶことは自ら思考すること。この点を実践できている東京立正高等学校の生徒さんたちはとても素晴らしいと思います。普段の先生方の授業へのアプローチが良いからでしょう。

授業で扱った生成AIは今後どんどん発展していく技術であると考えていますが、反面、様々な問題点も抱えています。どの点にハルシネーションがあるのか、バイアスはどうかかっているのか、一歩立ち止まって思考できる人間になってほしいです。何も考えず与えられたことを行うのではなく、今何をすべきか自ら考え行動できる人間になってほしい。そして生成AIを助けに、新しい世界を創り上げてほしいと考えています。



出張授業の内容企画について

今回は全く新しい試みということもあり、イメージを創り上げる段階から苦労しました。ポイントに考えたのは生徒の皆さんが主役である授業を展開すること。ClassPad.netを使って、生徒の皆さんが「なるほど!」と感じ取れる展開に持ち込むこと。この2点でした。そこでなるべく既存の国語の授業ではなく、ClassPad.netを使って、学びの楽しさ、喜びを体感できる授業を目的にしました。他校の先生が授業をされると、意外と学校内には抵抗感があるのではと想像しました。ただClassPad.netを使って生徒の主体的学びをサポートする授業であれば抵抗感はないと考えました。

生徒の能力を引き出す授業with ClassPad.netといったところですね。

生徒に聞いた、ClassPad.netの「良いところ」



井合 杏さん

様々な辞書が入っていて、横断的に調べられるのがとても良いです!

本日の授業では『反対俤』という演目の「俤」をオンライン辞書で調べる活動をしたのですが、普段の授業でも辞書はよく活用しています。ClassPad.netでは国語や英語、その他の教科も様々な辞書が入っていて、横断的に調べられるのがとても良いと思います。分からない単語や用語があったらすぐに検索できるので、効率的に勉強できます。また、宿題はほとんどパソコンでできるようになり、自宅はもちろん、授業の合間にも進められますので、とても便利になりました。



小林 大河さん

自分に合った勉強法を見つけられるようになりました!

探究の授業やグループワークでは、デジタルノート機能を活用しています。学びのものもちろんですが、自分に合った勉強法を見つけられるようになったことがとても良いことだと感じています。授業や勉強の幅が広がったように思います。また、小テストなどで、今までは紙のノートで提出していたため、勉強ができない期間・時間がありましたが、ClassPad.net導入によって、写真を撮って提出するようになり勉強しやすくなりました。

京都女子中学校・高等学校 様

校訓

自立・共生・感謝

「自立」は、自分一人で生きているという意味ではなく、また誰の世話にもならないというものでもありません。様々な人によって生かされているという状況と周りを見据えながら、的確に判断していこうとする、そういった意味を含んでいます。

「共生」は、様々な人の命によって自分自身が支えられて生きている、共に生きているということです。人の命、そして自分の命も大事にすること。命は繋がっているんだということ。そこで共に生きるという「共生」が、二番目の校訓です。

「感謝」は、自分自身が様々な物や人によって生かされているという「感謝」の思いと、その思いを持って行動し社会に貢献できるような人間になってほしいという意味が込められています。

「自立・共生・感謝」は建学の精神に基づいています。建学の精神の根底には、親鸞聖人の教えがあり、その教えを具現化したのがこの校訓です。

教育目標

教育目標は三つあります。一つめは、豊かな心と高い教養を身に付け、様々な課題に意欲的に取り組み、自ら解決できる自立した生徒を育成すること。二つめは、基本的な生活習慣を身に付け、自主活動に積極的に参加するとともに、自他の命を尊重し、他者と協働できる生徒を育成すること。三つめは、一人一人の進路に適した学力を身に付けるとともに、自己の進路を切り開き、感謝の思いで社会に貢献できる生徒を育成することです。

ICT教育の課題・テーマ

全教職員が効果的にICTツールを活用し、それを生徒の教育活動の充実および発展に資することをテーマに、担当部署を中心に講習会や研修を継続的に行ってきました。しかし旧来型の一方向型の授業のスタイルからどうしても脱却できないと、日々悩んでいる生徒もいることが課題でもあります。

〈京都府〉

端末整備状況

2021年度4月に中学生全員にChromebookを貸与しました。2022年度より高校1年生から年次進行で貸与しており、**現在は全校生徒が1人1台端末を所有する状態**になっています。

ClassPad.net導入に至った経緯と理由

オンライン辞書機能の活用による探究の授業への寄与と 旧来の講義型授業から、双方向型授業転換への期待感

Chromebookの導入後、授業のみならず、文化祭や生徒会活動行事、さらには部活動等の学校生活全般においてもその活用が広がりました。そのような状況の中で、さらにその活用を広げるためにClassPad.netの導入を検討しました。

ClassPad.netでは百科事典も利用でき、とりわけ2022年度より開始した探究の授業にも寄与できると考えているところです。また授業支援機能を利用することで、旧来の講義型授業から、双方向型授業への転換を図れる可能性があると考えました。導入については、他社の四つのサービスを比較検討し、校内プレゼンを行い、無料トライアルを経て最終的に教員投票の結果をふまえて導入しました。



林 信康 校長先生



英語 東郷 秀朋 先生

描画活動を介して冠詞の本質をつかむ授業

クラス全員が意見・解答を共有できる教育効果の高さを実感!

→ P.78



数学 三久保 貴史 先生

等積変形を視覚的に理解する授業

説明の効率化で板書時間が15分短縮!生徒の演習時間を確保!

→ P.80

クラス全員が意見・解答を共有できる 教育効果の高さを実感！

～描画活動を介して冠詞の本質をつかむ授業～

授業支援機能を活用し、生徒の解答を用いた
解説で深い理解を実現できました！

授業のポイント
動画で紹介



東郷 秀朋 先生

授業の流れとClassPad.netの活用方法

期末考査において「a」や「the」の冠詞の間違いが散見されたことを受け、改めてその重要性と存在意義を認識・理解してもらうために行ったアクティブラーニングの授業です。教師からの口頭での説明ではなく、自ら描画活動を行うことで、視覚情報も含め、冠詞の本質的なイメージを定着させることを狙っています。

STEP 1

ClassPad.netであらかじめ用意した冠詞の説明スライドを解説する。



STEP 2

ふせん機能を活用して事前に作成した、授業で使うシートのフォーマットを生徒に配信。シートは4分割されており、四つの英文が書かれている。冠詞に注意しながら、英文を正確に表す絵を描く。

- Last night, I ate a chicken in the backyard.
- tea with lemon
- There were cats all over the street.
- There was cat all over the street.



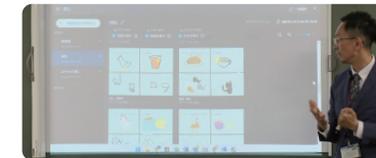
STEP 3

描けた生徒からClassPad.netで提出BOXに提出。



STEP 4

提出された解答をプロジェクターに映してクラスで共有。描き方の異なる複数の解答を紹介し、比較しながらその違いや正解/不正解の予想について、生徒同士が話し合った後に、教師が解説する。



STEP 5

冠詞を正確に表現することを意識し、英文和訳の演習をし、同様に提出BOXに提出。解答の解説をしながら、ポイントとなる冠詞部分については、生徒同士が話し合う場も設ける。



導入前と導入後の変化

共有が容易にできることが、一番のメリットだと思います。

自分のアイデア、意見、答え。そして友達、クラスメイトはどのような意見、答えを持っているのかということ容易にシェアでき、それらが生徒にとって良いお手本、教科書になっています。

もちろん生徒は、紙の教科書も持ってあり、そこには正しい英文もたくさん載っています。しかし生徒にとって教科書は義務感のあるものです。義務感があるものはなかなか自分の中に取り入れにくい。一方、友達やクラスメイトが書いた英文や内容はすごく親近感があって、より自分自身の勉強になり参考になります。その意味において、共有ができる、そして他の生徒のアイデアも自分に取り入れられるということで、たいへん教育効果が高いと思います。



これまでの紙媒体でしたら、見せ合うことで一人や二人くらいの意見を参考にすることはできました。しかし、ClassPad.netなら、例えば1クラス30人いたら、残りの29人全員分の意見を参考にできます。それが大きな変化です。自分と異なるより多くの意見に出会える、そのチャンスを与えてくれていると思います。

お気に入りの機能・使い方

私にとっては、共有が簡単にできる、この点が非常にメリットが大きいと思っています。

ClassPad.netを使用した今後取り組みたい授業

今はClassPad.netを利用して、作文エッセイをたくさん書かせるようにしています。さらに、ある文章について自分でトピックを決めてサマライズ(要約)させるなど、それに関連したものについて書かせるということも頻繁に行っています。その中で英語を学んだことをきちんとアウトプットする、アウトプットするだけでなく、それらを共有し、共有するのであれば周りからしっかりフィードバックを受ける。これを繰り返すことで、英語を「学ぶべきもの」から「学びたいもの」へと変容させていけたらと考えています。



生徒に聞いた、ClassPad.netの「良いところ」



水嶋 奏帆さん

みんなの意見を共有できたり、
自分に無い意見を知ることができます！

デジタルノートを作成したり、ふせんに考えをまとめたものを提出して、みんなで共有できることが一番気に入っています。ClassPad.netがあることで、自分に無い意見を知ることができるのがすごく良いと思います。休日や学校のない日でもClassPad.netで課題がくることがあります。ClassPad.netがあることで、時間がある時や自分のやりたい時に課題に取り掛かれるので、助かっています。



田辺 晶子さん

電車の隙間時間に、ClassPad.netで
授業を振り返っています！

ClassPad.netで教材などを送ってくださる先生がいて、帰りの電車の隙間時間などに見て、「今日はこんなことを教わったな」とパッと振り返ることができるのが良いと思います。課題をデジタルで提出することで、他の人の提出物を見られるのも良いです。自分が書いたことと全然違う意見を見とすごく楽しく、「こういうことを考える人もいるんだ」と思い、紙の教科書やノートなどで行う授業より意欲的に取り組める気がしています。

授業のポイントを動画で紹介



黒板だけで行っていた時より、
10分～15分は余裕が出ています!

説明の効率化で板書時間が15分短縮！ 生徒の演習時間を確保！

～等積変形を視覚的に理解する授業～



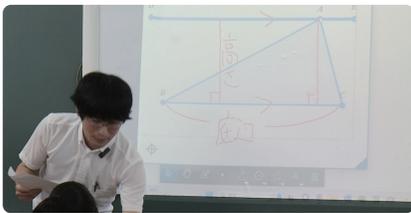
三久保 貴史 先生

授業の流れとClassPad.netの活用方法

等積変形は黒板だけを使った授業ではなかなか説明が難しく、教師のグラフ描画に時間がかかってしまいます。ClassPad.netの数学ツール「ClassPad Math」を活用することで、説明時間を短縮し生徒の活動時間を確保する授業が行えました。

STEP 1

ClassPad.netの数学ツール「ClassPad Math」で事前に用意した図形をプロジェクターで投影し、図を動かしながら「底辺と高さが変わっていないから、面積も変わっていない」という等積変形の原理を解説する。



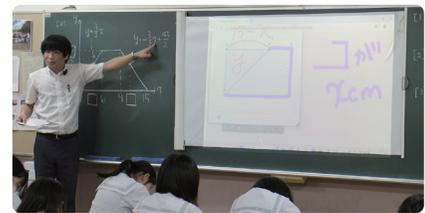
STEP 2

解説をふまえ、演習問題を解く。



STEP 3

「場合分け」や「定義域」の解説、陥りがちな間違いを、「ClassPad Math」の画面を見せ、動かしながら具体的に紹介。等積変形を2回行うことで同じ面積であることを発見する、という難易度の高い導き出し方も動かすことで分かりやすく解説。



宿題や自宅学習でのClassPad.netの活用機会

私は、ICT教育とアナログの「良いとこ取り」をしようと考えています。実際の大学入試の試験を見据えて、記述はあえて紙で行っています。黒板では説明しづらい部分はClassPad.netを活用して両立させています。また、特に英語、国語の教科では、自宅学習の際の単語の意味や類義語調べに、信頼できる情報源ということでClassPad.netを活用させています。

導入前と導入後の変化

説明を短縮でき、授業中の生徒の活動時間を増やすことができました。

ClassPad.netの導入前は、授業は全て黒板で行っていたので、板書と説明に時間がかかってしまうことがあり、授業中の生徒の活動時間をなかなか確保することができませんでした。ClassPad.netを活用することで説明を短縮でき、生徒の活動時間を増やすことができました。黒板だけで行っていた時より、10分～15分は余裕が出ていると思います。



ClassPad.netを使用した今後取り組みたい授業

数学では、グラフや図形などを視覚的に捉えることで自分の頭の中でイメージができるものですが、静止画ではなかなか理解できないことが多いです。授業の中で実際に動かしながら説明する機会を増やすことで、生徒の理解度をより深め、生徒がさらに様々な問題に対して探究していけるよう、私が背中を押してあげたいと思っています。



生徒に聞いた、ClassPad.netの「良いところ」



Kさん

私に必要な全ての辞書が入っていて、すごく便利です!

今までは、英単語や国語の用語などを調べるのに全て紙の辞書を使用していました。確かに紙の辞書も一冊一冊はためになるのですが、ClassPad.netには私に必要な全ての辞書が入っているので、とても便利です。単語などは一つ調べるだけで、類義語や文例などもしっかり載っているので、いつも助かっています。

辞書機能だけでなく、ふせん機能でまとめたことを提出し先生とやり取りすることができます。そんな機能が付いていることも気に入っていて、保健などでもそのようにClassPad.netを使用することがあります。紙でのやり取りは結構時間がかかりますが、ClassPad.netで提出・共有すると、みんなの意見がすぐにパッと見られるようになっているので、そういう面でもとても便利だと思います。

お気に入りの機能・使い方

一番気に入っているのは、数学ツール「ClassPad Math」です。

本当に直感的に操作できます。昔の大学の論文を書くようなものだったら自分でテキストデータを打ち込んで、という作業が非常に大変でしたが、ClassPad.netでは直感的に操作できて、図形なども直感的に書くことができます。

遊学館高等学校 様 〈石川県〉

校訓

遊学の精神の涵養

遊学の精神とは「何ものにもとらわれず、自由に広く世の中を見聞し、人格を高め磨いていくこと」を意味しています。

教育目標

「文武に励み、自らの品格を高めるとともに他者の人格を重んずる心を養い、遊学の精神を持って未来を切り拓く人間の育成をめざす。」ことです。

ICT教育の課題・テーマ

本校では2023年度、1年生からChromebookを持たせました。2024年度の新入生からはiPadを持たせています。ただ、先生方もまだ活用しきれていない点が多く、授業では調べ学習はできて、それ以外の活用にはまだまだ研究が必要だと感じています。Wi-Fi環境が十分に備わっていないところもあり、環境としても不十分な点があります。プロジェクターを設置した当初は、全ての先生が活用する状況ではありませんでしたが、それでも現在ではほとんどの先生がプロジェクターを使うようになり、板書することなく授業を進めています。これはかなりのスピード感を持って進みましたので、今後は若い先生を中心に活用されていくことを期待しています。

端末整備状況

2023年度のChromebookは、学校の貸与という形で生徒に渡しています。3年間生徒が使用した後、学校に返却するという形をとっていますが、2024年に入学した1年生に対するiPadについてはご家庭の負担としていただき、卒業後は自分のものになります。

ClassPad.net導入に至った経緯と理由

EX-wordからの厳選されたコンテンツとデジタルノート機能活用の可能性

カシオの電子辞書を購入していたことが、きっかけになっています。ClassPad.netには、カシオの電子辞書EX-wordから厳選されたコンテンツが入っているということで、そのまま継続して使用させてもらっています。また、デジタルノート等の機能もあるということで、今後の課題等のやり取りの活用を見込んで導入しています。



嶋田 司 校長先生



漢文 高橋 李句 先生

「漢文クイズ」の作成を通して漢文を身近なものとして捉える授業
遊びを取り入れたアクティブな授業がより活発に!協働的に!

→ P.84



英語 鍛冶 勇志 先生

助動詞Canの用法や注意点を学ぶ授業
授業中や授業の振り返り時の課題の提出率がアップ!知識の定着に大きく貢献!

→ P.86



数学 磯部 早紀 先生

関数のグラフ変化を視覚的に理解する授業
図形をうまく捉えることができない生徒に大きな理解促進効果!

→ P.88



情報 小坂 英洋 先生

メディアの発明と歴史をたどる授業
板書時間削減→ほぼ100%が前を向いて授業に参加→理解度アップ!

→ P.90



遊びを取り入れたアクティブな授業が より活発に！協働的に！

～「漢文クイズ」の作成を通して漢文を身近なものとして捉える授業～

ClassPad.netで生徒の解答も
即座に集約し解説に活用しました！

授業のポイント
動画を紹介します



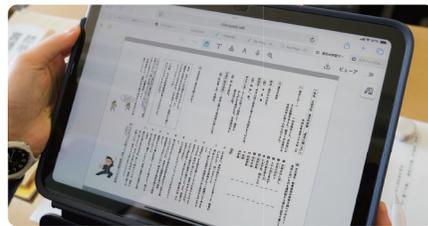
高橋 李句 先生

授業の流れとClassPad.netの活用方法

最初から返り点などの細かい知識に入ってしまうと、漢文が嫌いになってしまう生徒が多いと感じています。「苦手意識は無くして欲しい」という思いから、日常にある漢文や歴史の話、漢文クイズなど、漢文を少しでも身近に感じたいうえで、必要な知識に自然と入っていけるような授業を目指しました。

STEP 1

事前にClassPad.netで作成したデジタルノートを生徒に配布する。ノートの上半分には「漢文の成り立ちの説明」や「日常生活で登場する漢文」について、下半分には、10個の故事成語の意味調べのための問題が記載されている。



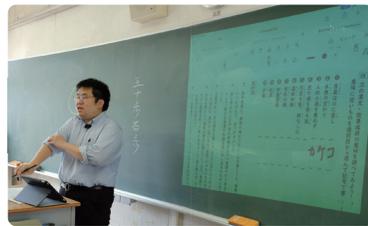
STEP 2

生徒はClassPad.netのオンライン辞書機能を使って故事成語の意味を調べ、生徒同士で話し合いながら協働的に解いていく。



STEP 3

ClassPad.netの画面をプロジェクターに投影し、クラス全員が見られる状態で解答を確認する。この時、教師からの一方的な説明ではなく、生徒の発言も促しながら解答を解説する。



STEP 4

調べ学習後の実践として、「漢文クイズ」を作成する活動を行う。

- ①プリントを見ながら、クイズのテーマとする故事成語を自由に選ぶ
- ②選んだ故事成語を使って漢文を作る
- ③どの故事成語が分かるように正解も用意しておく
- ④完成したらふせん等で提出する
(ポジティブな文/ネガティブな文でふせんの色を変える、などの工夫をする)



STEP 5

生徒が作成・提出した漢文クイズを使って実際にクイズ大会を行う。

テストの点数が悪かったので、勉強すると宣言したが、ずっとゲームをしていた。()している。
答え 矛盾

テストで赤点を取ると3時間の補習をしないと
いけないので心配していたが、どれも高得点
であった。【 】に終わって良かった。

答え【杞憂】

導入前と導入後の変化

生徒同士が教え合う機会が生まれ、発言が苦手な
生徒が自分の考えを表現しやすくなりました。

ClassPad.netを使った授業は、新入生のクラスでも増えてきており、生徒たちの学び方にも変化が見られるようになってきました。

例えば、分からない言葉や知らない単語を自分で調べることの大切さに、少しずつ気づき始めている様子があります。また、学習の中で生徒同士が教え合う機会も生まれ、自然と関わり合いが生まれているのも良い変化だと感じています。

さらに、発言が苦手な生徒でも、書くことであれば自分の考えを表現しやすいというケースがあります。ClassPad.netのふせん機能を活用することで、自分の言葉で意見を出せる場面が増え、生徒一人一人の学びのかたちが広がっていると感じています。



お気に入りの機能・使い方

特に気に入っているのは、オンライン辞書機能です。調べた単語をそのまま単語帳として残しておくことができ、あとから見返すのに便利です。さらに、自分でマーカーを引いて整理できるので、オリジナルの単語帳を作る感覚で学習できるのがとても面白く感じています。

ClassPad.netを使用した今後取り組みたい授業

今後は、ClassPad.netのふせん機能をより多様な使い方でも活用していきたいと考えています。

授業では、内容を視覚的に「見える化」することを大切にしているため、まだ活用できていないファイルふせんやリンクふせんなども取り入れていく予定です。例えば、ふせんに画像を挿入したり、複数の辞書を横断的に検索して他教科と関連付けることで、情報を整理・可視化するような授業を展開していきたいと考えています。また、古文の学習では、歴史的仮名遣いに取り組む前に自分の朗読を録音し、学習後にもう一度読んでみて、読みやすさや理解度の変化を実感できるような活動にもチャレンジしてみたいと思っています。



生徒に聞いた、ClassPad.netの「良いところ」



稲熊 秀人 さん

難しい単語や語句に出合った時に
オンライン辞書機能が大活躍！

ClassPad.netを使った学習を通して、授業や勉強の効率が上がったと感じることが多くなりました。教科書や紙のノートよりも、タブレットに直接書き込むほうが楽しくて面白いと感じる場面も増えています。

宿題がClassPad.net上で出されることも多く、自宅でもそのまま提出できるので、出し忘れが起きにくいところも助かっています。特に国語の「言語文化」の授業では、難しい単語や語句に出会うことが多いのですが、ClassPad.netのオンライン辞書機能を使えば、その場ですぐに調べることができてとても便利です。

授業中や授業の振り返り時の課題の提出率がアップ!知識の定着に大きく貢献!

～助動詞Canの用法や注意点を学ぶ授業～

帯活動～解説～生徒の振り返り活動がスムーズに行えるようになりました!

授業のポイント動画を
動画で紹介

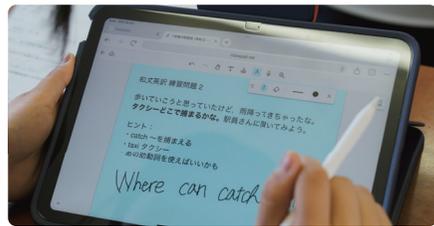


鍛治 勇志 先生

授業の流れとClassPad.netの活用方法

帯活動

事前にClassPad.netのふせん機能で用意した和文英訳の演習問題を生徒に配布する。生徒はオンライン辞書機能を活用しながら和訳を行い、ClassPad.netで提出する。生徒が提出した解答の一例を紹介しながら解説する。



STEP 1

助動詞Canの用法や注意点を解説する。



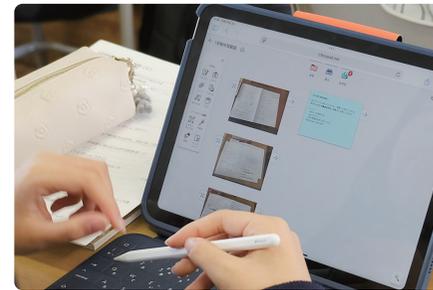
STEP 2

生徒はプリントに沿って、助動詞Canの演習問題を解き進め、解き終わったらペアになり解答を確認し合う。



STEP 3

生徒は、授業中に記入したプリントの写真を撮り提出する。



STEP 4

生徒は、授業で学んだ「助動詞Canが持つ意味」をプリントを見ずに思い出し、ふせんに書き出してClassPad.netで提出する。このようなアクティブリコール活動により、知識の定着を図る。



導入前と導入後の変化

ClassPad.netを導入してから、生徒の課題の提出率が上がりました。

その背景にはいくつかの要因があると感じています。まず、自宅からでも提出できるという点が、生徒にとっては大きなメリットになっていると思います。また、今の生徒たちはデジタルに慣れているため、最初の一步を踏み出しやすいというのも一因です。さらに、最先端のツールを使いこなしている自分を「かっこいい」と感じられることも、自然と取り組みの意欲に繋がっているのではないかと思います。



お気に入りの機能・使い方

ふせん機能を使い匿名で意見を集めると、生徒たちが気軽に自分の意見を表現してくれます。

特に気に入っているのは、ふせんを使った提出機能です。高校生になると、授業中に手を挙げて発言する生徒は少なくなってきました。導入前は、授業中に問いかけても反応が返ってこないことが多く、意見を引き出すのに苦労していました。

ふせん機能を使えば、匿名で意見を集めることができるので、生徒たちも気軽に自分の考えを出しやすくなります。集まった意見はそのままクラス全体で共有でき、全員の考えを可視化しながら授業を進められるようになりました。



ClassPad.netを使用した今後取り組みたい授業

これからは、教師からの一方的な知識のインプットだけでなく、生徒が得た知識をどうアウトプットするかを重視した授業を目指していきたいと考えています。

そのためにも、ClassPad.netのふせん機能を活用し、自分の学んだことを発信する機会を増やしていきたいと思っています。生徒一人一人が考えを表現し、クラス全体で共有できるような、より活発な授業づくりに繋がってほしいと考えています。



生徒に聞いた、ClassPad.netの「良いところ」

谷平 愛也伽さん

正確な情報をすばやく
取り入れられるようになり、
学習の効率が良くなりました!

授業でICTを活用することによって、これからの社会で必要になるスキルをたくさん学べていると感じています。その中でもClassPad.netは、課題の提出がスムーズになり、全体的に学習がとてもしやすくなったと実感しています。

オンライン辞書機能も非常に便利で、インターネット検索と違い、正確な情報だけが表示されるので、そのまま授業に使える点がありたいです。必要な情報をすばやく正確に頭に入れられるようになり、学習の効率も上がっていると感じます。特に英語の授業ではClassPad.netの活用場面が多く、和文英訳の演習では、課題の提出や先生とのやり取りが共有機能を通してスムーズに行えるところがとても便利です。

授業のポイント
動画を
動画でご紹介



数学ツールを活用し、数値代入で変わる
グラフの変形を体感できます！

図形をうまく捉えることができない 生徒に大きな理解促進効果！

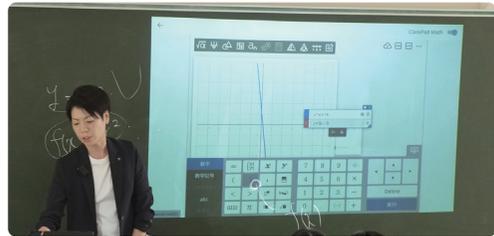
～関数のグラフ変化を視覚的に理解する授業～

磯部 早紀 先生

授業の流れとClassPad.netの活用方法

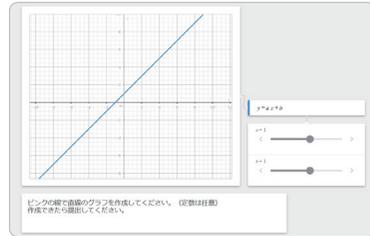
STEP 1

数学ツール「ClassPad Math」で事前に用意したグラフをプロジェクターで画面投影し、関数とF(x)について板書も利用して説明する。



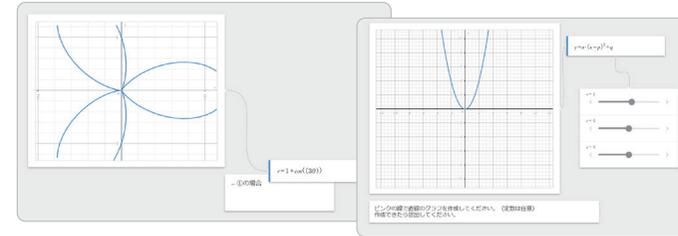
STEP 2

生徒に直線のグラフを配布。a、bを変化させることで、グラフが動くことを数学ツール「ClassPad Math」で実演。その後、生徒が自分の画面でもグラフを動かしながら、任意の直線を入力し提出する。



STEP 3

STEP2と同様の流れで、今度は放物線、円のグラフ、そして、一つ関数を入力することで面白い形になるグラフなども紹介し演習する。



STEP 4

生徒は入力した関数の概形を、配布されたプリントに記入し、写真を撮ってClassPad.netで提出する。



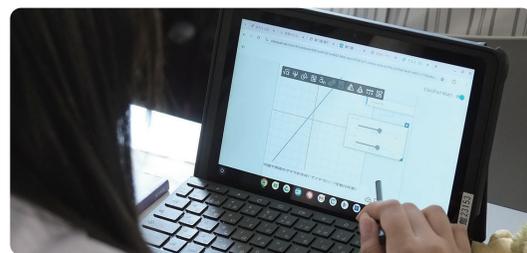
宿題や自宅学習でのClassPad.netの活用機会

情報科では、自宅で行う課題を出し、ClassPad.netで提出してもらうようにしています。課題提出ができる機能が備わっていることは、本当に素晴らしいと思います。

導入前と導入後の変化

図形をうまく捉えることができない生徒に数学ツール「ClassPad Math」は非常に有効です。

まだまだプリントの方が良いという生徒も一定数いるので、現時点ではプリントを併用していますが、数学ツール「ClassPad Math」は、グラフや図形を視覚的に捉えることができ非常に重宝しています。例えば「この交点を求める」という、視覚的に捉える図形の把握は、生徒にとって分かりやすいと思っています。図形をうまく捉えることができない生徒には、非常に有効です。



お気に入りの機能・使い方

数学ツール「ClassPad Math」でグラフを視覚的に捉えられることです。sin(サイン)、cos(コサイン)にしても、「三角比、つまり比率なんだ」ということが視覚的に対比しやすい。数学においてはこれが一番のメリットです。また、ClassPad.netで課題を提出することで、教師も生徒も提出状況がはっきりしますし、紙ベースの課題だとしても写真を撮ってパッと提出できますので良いことだと感じています。

ClassPad.netを使用した今後取り組みたい授業

デジタルノート機能で、YouTubeのリンクを貼り付けて見ることができる機能が気に入っています。生徒はYouTubeで調べて問題を解いてくることがありますが、分かりやすいYouTubeの動画も多いので、うまく活用できればと思っています。授業では、いくつかの解法があることをYouTubeで見せてあげることで、生徒が自分の好きな解法を選ぶことができますし、授業後には、その様々な解法のリンクを張ってまとめておけるのは便利です。一人の教師から教わる解法だと、その解法しかないという認識になりがちですが、解法をいくつか提示してあげるといいことだと思います。



生徒に聞いた、ClassPad.netの「良いところ」



北野 佑奈 さん

テスト前のオンライン辞書機能の活用で、
点数が上がりました！

ClassPad.netなら、オンライン辞書機能ですぐに調べることができるので、勉強がはかどり家庭学習も以前よりやりやすくなりました。テスト前などの勉強で、細かいところまで知りたい時にすぐ調べることができて、分かりやすい解説が出てくるので、テストの点数が上がりました。ClassPad.netは語句調べや単語調べに便利なので、特に英語と国語に活用しやすいです。自分で紙の辞書を引くより早く、分からないところがすぐ分かります。意味や用例なども出てきて知識も深まり、とても簡単に操作できる場所がお気に入りです。

板書時間削減→ほぼ100%が前を 向いて授業に参加→理解度アップ!

～メディアの発明と歴史をたどる授業～

資料を全てClassPad.netに
収納しておくことでスムーズな授業展開を
実現できました!

授業のポイント
動画をご紹介



小坂 英洋 先生

授業の流れとClassPad.netの活用方法

STEP 1

「メディアの発明と歴史、コミュニケーションの歴史、ユビキタス社会、ソーシャルメディア」という四つのキーワードについて、作成した授業資料をリンクふせんで見せながら説明する。



STEP 2

19世紀までに発明されたメディア一覧表を見せ、授業を進めていく。

授業展開が早い時に、ノートを取れなかった場合には、事前に配布された資料を見て記述するように指示。

	同期	非同期
文字		手紙、書籍、新聞
音声	電話	蓄音機
映像		映画

非同期 = 時間と空間を超えて伝達

STEP 3

「蓄音機」「ユビキタス社会」など、資料内でポイントとなる用語には「ClassPad.netマーク」をつけておき、ミニレポートを出題。生徒はオンライン辞書を使って自分で調べ、まとめる。



蓄音機 ミニレポート

- ・発明された年?
- ・発明者?
- ・最初に再生された音?
- ・金沢蓄音器館について (Web)

STEP 4

コミュニケーションの歴史について2分程度のYouTubeを見せながら、コミュニケーション手段の変遷や「繋がりメディア」について解説する。



導入前と導入後の変化

ClassPad.netに出合ってから、板書で授業をすることがほとんどなくなりました。

私は今まで黒板で授業を進めていましたが、ClassPad.netに出合ってから、板書で授業をすることはほとんどありません。やはり投影した方が、生徒は見やすい。ノートは事前に私から生徒に配信しますので、いわゆる反転授業という形で、事前にノートを確認してから授業を受けることができます。これが非常に強みではないかと思っています。

生徒がその授業で初めて黒板に接して黒板の内容を書き取っている時は、おそらく何も聴いていない。あらかじめノートを配信しておき、確認してから授業を聴くということは大きな違いです。ほとんどの生徒が授業中に顔を上げて私の話を聴くようになったということが、その表れではないかと思っています。

前を向いてくれる生徒はほぼ100%、これは以前に比べ倍増した数値ですので、かなりの効果があったのではないかと思います。ノートの提出に関しても、写真を撮ってノートを提出させるというスタイルにしたことで、ノートを集めきれないということもほぼなくなりました。100%、200%という数値で表現しても良いぐらいに、ClassPad.net導入の効果があるのではないかと私は思っています。



お気に入りの機能・使い方

デジタルノート機能で授業の事前準備を行っています。

タブレット端末の中で、ClassPad.netだけではなく、Webを開いて様々なサイトを見ることができるというのは非常に大きなことです。例えばデジタルノート機能であらかじめ入れてあるPDFを閲覧する、あるいは事前に用意してあったリンク先に移って教材を見せるということ、ClassPad.netを起点にして行うことができます。このような形の授業の展開が私にとっては非常に合っていると思います。また、生徒にとってもそれが私のスタイルだと浸透しているので、生徒も苦労なく、ノート提出を行ったり、あるいは私の教材をきちんと見てくれたりしています。本当に使い勝手の良いアプリだと思います。

宿題や自宅学習でのClassPad.netの活用機会

私の授業では、よく辞書調べをします。辞書をその場で調べることもありますが、自宅で調べられないと投げかけることもしています。生徒には作ったノートを、ClassPad.netで提出してもらうようにしていますが、自宅からでも提出できることや辞書を使って調べたことを書き込めるデジタルノート機能は、学校外で勉強することの助けになっていると思っています。

ClassPad.netを使用した今後取り組みたい授業

私が今後課題にしていこうと思うことは、生徒の情報活用能力の向上です。生まれた時にはすでにスマートフォンが普及している、という世代の生徒たちです。しかし情報の活用方法や情報収集の仕方に、まだ慣れてはいません。自分にとって有益な正しい情報なのかということをきちんと選別して収集し、それをまとめて発信できる能力が必要だと思っています。そのためにClassPad.netの中から、例えばクラス全体でコラボレーションできるような機能を使って、みんなで情報を作り上げていくことができれば非常に幸せだなと思っています。



生徒に聞いた、ClassPad.netの「良いところ」



アリシャ・リナ・ショルカル さん

ClassPad.netで事前に配信されたスライドで予習することで、授業がより分かりやすく感じるようになりました!

先生が授業で使うスライドをClassPad.netで事前に配信してくれるので、家での予習に役立っています。実際に授業で先生が使う資料を確認しておけるので、授業が分かりやすく感じるようになりました。課題の提出もClassPad.netで行えるのは便利だと思います。

また、分からなかった単語をClassPad.netのオンライン辞書機能を使って調べ、単語帳に入れておけるので、次の授業で分からなかったものを見直すことができ便利だと感じています。特に情報は分かりにくい単語が多いため、非常に役立っています。

静岡サレジオ高等学校様〈静

岡県〉

※トライアル版導入校となります

校訓・学校の教育目的

創立理念は「誠実な人、よき社会人の育成」です。

誠実な人とは「自分の軸をしっかりと持っている」ということ。よき社会人とは「他者のために他者と共に生きることを大切にすること」を指します。

ICT教育の課題・テーマ

ICT教育の利点の一つは「教育の個別最適化」です。ICTを活用することで、生徒が自分のレベルに応じて学習を進めることができ、トライアンドエラーを繰り返しながら理解を深めることが可能になります。このプロセスを通じて、実際に他者の前で発表したりする時に自信を持って臨むことができます。本校では、こうした学びの機会を支えるために、放課後に「サレジオメソッド」という活動の時間を設けています。この中のeラーニングの時間では、希望者はICTを活用して自分のペースでトライアンドエラーを繰り返しながら学ぶことができます。

また、本校の教育で特に大切にしているのは表現活動です。授業においても「表現で始まり、表現で終わる」ことを意識し、日々の学校生活の中でも自分の考えを伝える場を積極的に設けるようにしています。ICTの活用についても、こうした表現活動を支援するための環境を整えています。例えば、各教室には電子黒板を完備し、さらにラーニング・コモンズを意識して小グループでの発表がしやすいように電子黒板を複数設置した教室も用意しています。

ICTを活用する上で私たちが特に重視しているのは、次の三つの力です。

情報を収集する力 - 疑問に思ったことをすぐに調べ、知識を得る力

情報を検討する力 - 収集した情報を鵜呑みにせず、様々な角度から考察する力

情報を創造する力 - 得た情報を単にコピー&ペーストするのではなく、自分の考えを加えて発信する力

ICTを活用することで、生徒が自ら学び、考え、発信する力を身に付けられるよう支援していきます。

端末整備状況

本校では高校入学時に全員が1人1台の端末を持ち、3年間使用します。採用しているのはキーボード付きのChromebookで、学校が一括購入し、費用は保護者の皆様にご負担いただく形を取っています。全ての生徒が同じタイプの端末を使用することで、統一した環境での学習や管理をスムーズに行えるようにしています。

中学ではタブレット型端末を活用しており、高校ではこれと異なるキーボード付き端末を採用することで、学びのステップアップを図っています。さらに、現代ではほとんどの生徒がスマートフォンを所有しているため、学校側がタブレットを改めて配布する必要はないと考えています。

また、高校では論文作成などキーボードを使う機会が増えるため、早い段階からキーボード操作に慣れることも重要視しています。これにより、生徒たちは将来に向けて実践的なICTスキルを身に付けることができます。



沼波 岳臣 校長先生



地理総合 鈴木 庸介 先生

韓国の受験過熱化をテーマとした探究学習を通して東アジアの地誌を学ぶ授業
相互評価や意見交換がスムーズに行え、協働的な学びが活発化!

→ P.94



世界史探究 吉川 牧人 先生

歴史カードゲームHi!story【ハイスト】とコラボした世界史探究の授業
デジタル技術を活用するハブとして活躍!興味深く楽しく学べる授業設計が可能に!

→ P.96



数学 山田 邦彦 先生

AIで作成したサイコロゲームを介して期待値を学ぶ授業
授業内で生徒の理解度を把握!インタラクティブな授業設計が可能に!

→ P.98



デジタルノートの共有で
生徒個人の発見をクラス全体の学びに
繋げられるようになりました!



鈴木 庸介 先生

相互評価や意見交換がスムーズに行え、 協働的な学びが活発化!

～韓国の受験過熱化をテーマとした探究学習を通して
東アジアの地誌を学ぶ授業～

※トライアル版導入校となります

授業の流れとClassPad.netの活用方法

STEP 1

教師が事前に作成した「韓国の受験過熱化」についての資料をClassPad.netでクラス全員に配布し、韓国の生活文化、産業の発展などについて解説する。分からない言葉が出てきたらオンライン辞書機能で調べ、デジタルノートにふせんとして貼り付けておくことを生徒に促す。



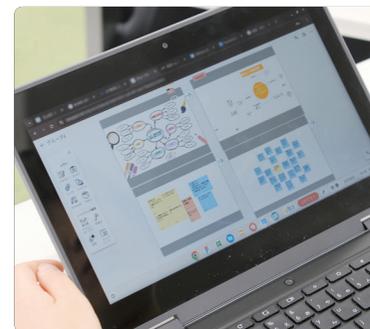
STEP 2

韓国独特の問題である「受験の過熱化」について、その理由を各生徒が探究し、調べた情報や考えをデジタルノートにまとめつつ、マインドマップを作成する。



STEP 3

作成したマインドマップを画像化してデジタルノートに貼り付け、ClassPad.netで提出する。



STEP 4

三人一組のグループに分かれ、マインドマップを発表し合う。発表を聴く中で「自分も同様の要因を考えた/自分が気付かなかった視点を感じた」など、他者の意見に対して、ふせん機能でコメントを貼り付けていく。



STEP 5

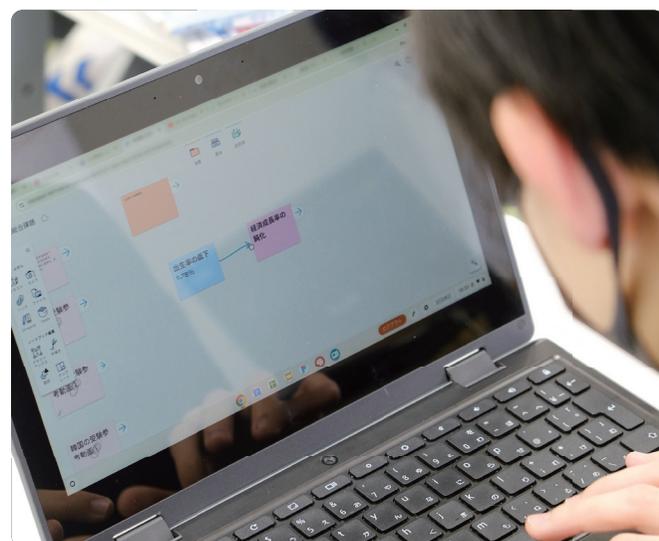
他のグループのデジタルノートも見た上で、振り返りとしてお互いの良かった点をグループ内で伝え合う。



導入前と導入後の変化

生徒同士の考えの共有がスムーズに行えるようになったと感じています。

特に、気付いたことをその場でふせんにメモし、簡単に貼り付けて共有できる機能は、相互評価や意見交換をスムーズに進める上で大きなメリットでした。これにより、授業の中で生徒同士が意見を可視化しながら学びを深めることが可能になりました。また、検索した情報をURLとして共有し、お互いが知らなかった知識を追加・拡充できる点も大きな利点です。これにより、単なる個人の学習にとどまらず、協働的な学びがより活発になったと感じています。



お気に入りの機能・使い方

授業中即座にフィードバックを行える授業支援機能とファクトチェックが不要なオンライン辞書です。

生徒が出した意見やアイデアが瞬時に可視化されるため、授業の中で即座にフィードバックを行ったり、議論を深めたりできる点が非常に便利だと感じています。また、信頼できる情報を活用できることも大きなメリットです。インターネット上の情報にはファクトチェックが必要なものも多く含まれていますが、ClassPad.netでは確実に正しい情報を簡単に取得できるため、生徒たちが安心して学習を進めることができます。



ClassPad.netを使用した今後取り組みたい授業

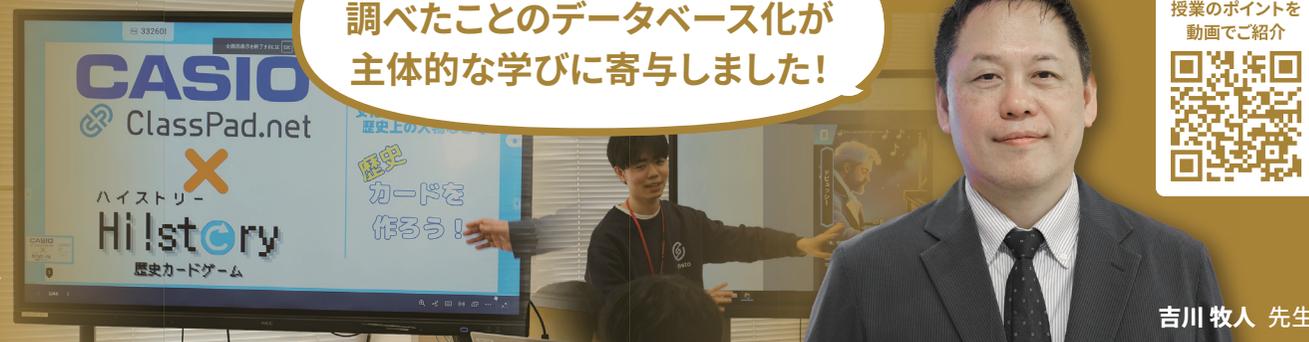
ClassPad.netを活用してみて、特に共有機能の面白さを実感しました。クラス全体で大きなテーマについて考える際、それぞれの生徒の意見を授業内で共有できるため、より深い議論や学びに繋がれると感じています。今後は、この共有機能を活かして、クラス全体で意見を集約し、大きな結論へと導いていくような授業デザインを試みたいと考えています。

デジタル技術を活用するハブとして活躍！ 興味深く楽しく学べる授業設計が可能に！

～歴史カードゲームHi!story【ハイスト】とコラボした世界史探究の授業～

※トライアル版導入校となります

高品質な辞典の活用、
調べたことのデータベース化が
主体的な学びに寄与しました！



吉川 牧人 先生

授業のポイントを
動画で紹介



授業の流れとClassPad.netの活用方法

本授業は、静岡サレジオ高等学校×ClassPad.net×Hi!story【ハイスト】の3者コラボ探究型授業です。

<活動の目的>

- デジタルツールを使ったスピーディーな情報共有
- 日本大百科全書(ニッポニカ)を使うことで中立・客観的な情報にアクセス
- 歴史カードを作ることによって主体的に歴史に触れる
- 仲間と歴史カードを共有することで協働的な学びを実現する

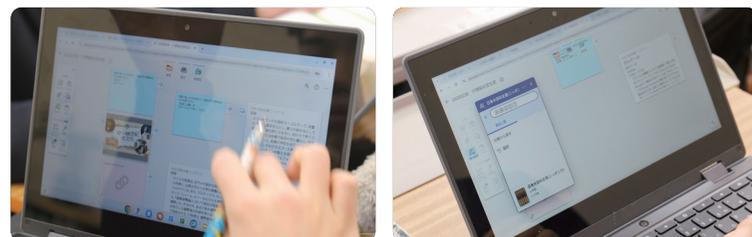
STEP 1

文化史として取り扱う時代についての解説・講義を行う。



STEP 2

文化史の講義を聴いた上で、生徒が興味を持った世界史上の人物を一人選び、ClassPad.netのオンライン辞書のコンテンツ【日本大百科全書(ニッポニカ)】でその人物について情報を集め、デジタルノートへのふせん機能を活用してまとめる。



導入前と導入後の変化

生徒が主体的に取り組める授業設計が可能になりました。

ICTツールを活用する際に最も重要なのは、授業デザインだと考えています。ツールを使うこと自体が目的になってしまうと、本来の学びから逸れてしまうため、生徒が主体的に取り組める環境をどのように設計するかが鍵となります。

今回の導入では、歴史をより興味深く学ぶための授業設計の一環としてClassPad.netを活用しました。その中で、特にデータベースとしての使い勝手の良さが大きな利点であると感じました。また、日本大百科全書(ニッポニカ)といった高品質な辞典を活用できることで、生徒がより深く調べ、学びを深めることができた点も、大きなメリットでした。



生徒に聞いた、ClassPad.netの「良いところ」

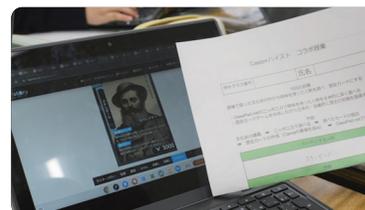


佐野 新太 さん

デジタル×アナログの良いところを自在に活用！
手軽にメモできるふせん機能の活用で
学習の効率が上がりました！

STEP 3

Canva(キャンバ)の画像生成AIを使用し、歴史カードに配置する画像を作成する。作成した画像とテキストをHi!story【ハイスト】サイトのオリジナルカード作成システムを用いてカード化する。



STEP 4

作成した歴史カードをClassPad.netで提出し、クラス全体に共有する。他の生徒の作成した歴史カードを確認し、歴史上の人物と文化史についての理解を深める。



STEP 5

生徒が作成したカードを渡辺拓磨氏が講評。

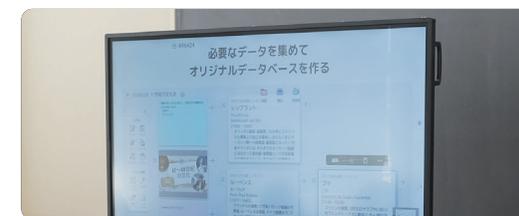


お気に入りの機能・使い方

本授業でClassPad.netを最も活用できたポイントは、授業内容をデータベース化できたことです。

生徒たちは文化史に関する様々な情報を調べ、手書きでも記録していましたが、膨大な量の情報をノートに書き込むのは限界があります。ClassPad.netを活用することで、重要なデータをデジタルノートに効率的に貼り付け、整理しながら学べる点が非常に役立ちました。

また、外部リンクを張り、様々な情報源とスムーズに繋がれるハブとしての機能も大きな魅力です。授業デザインの中で、いかにスムーズに外部の情報と結び付けるかが重要な要素となるため、ClassPad.netはその点で非常に有効なツールだと感じました。



ClassPad.netを活用することで、教材の持ち運びが減り、学習がスムーズになりました。その一方で、デジタルツールを使うことで紙の良さを再認識できるという気付きもありました。自分で必要に応じてデジタルとアナログを使い分けられるのが便利だと感じています。複数の情報を一度に整理しながら見ることができるため、特に数学の授業で役立っています。

異なる分野の繋がりを視覚的に確認しながら学ぶことができるので、理解が深まりやすいと感じています。

お気に入りの機能はデジタルノートのふせん機能です。調べたことを手軽にメモでき、後から見返したり復習したりするのがとても便利です。簡単に保存できて整理もしやすいので、学習の効率が上がると感じています。

授業内で生徒の理解度を把握！ インタラクティブな授業設計が可能に！

～AIで作成したサイコロゲームを介して期待値を学ぶ授業～

※トライアル版導入校となります

授業支援機能で
生徒に学習の全体像を見せながら
進められるようになりました！

授業のポイントを
動画で紹介

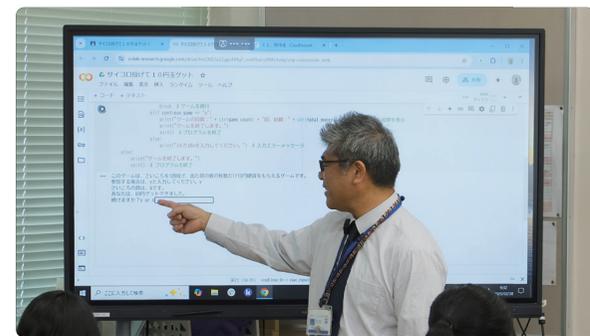


山田 邦彦 先生

授業の流れとClassPad.netの活用方法

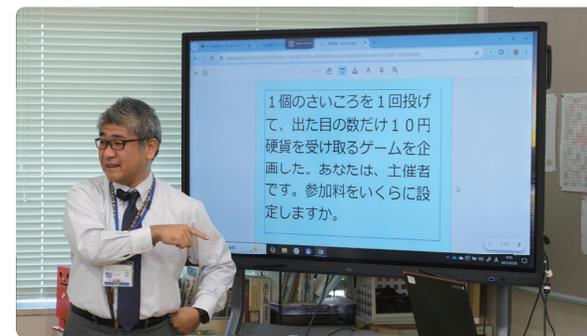
STEP 1

教師がAIを用いて作成した「サイコロを投げて10円玉をゲット」というゲーム（サイコロの出た目×10円がもらえるというもの）を紹介する。生徒は実際にプレイする中で、何回サイコロを投げるとどのくらいのお金がもらえるのか、を実践する。



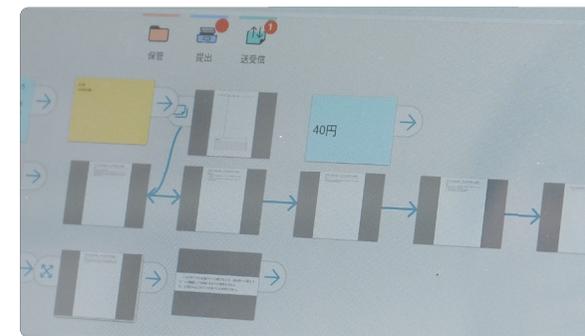
STEP 2

「このゲームの主催者になったら、参加料をいくらにしたら良いのか」という問いを設定し、生徒は「いくらなら参加してもらえそうか」「いくらなら儲けが出そうか」を考えながら自分なりの最適な価格を導き出す。



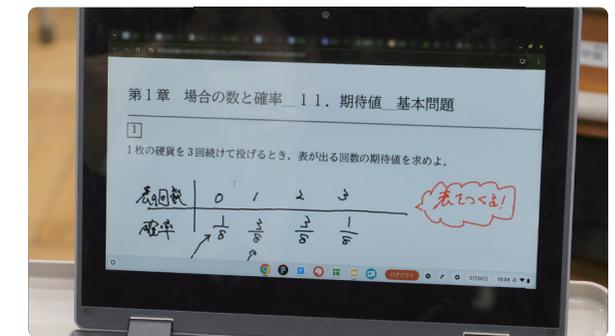
STEP 3

生徒はClassPad.netのデジタルノートで作成したふせんに、自身が導き出した価格を書いて提出BOXに提出する。理論的に考えることを学ぶために、できるだけ根拠も添えて提出することを促す。



STEP 4

ClassPad.netの授業支援機能で期待値の演習問題を配布する。生徒はサイコロゲームでの活動を踏まえ、演習問題を解く。

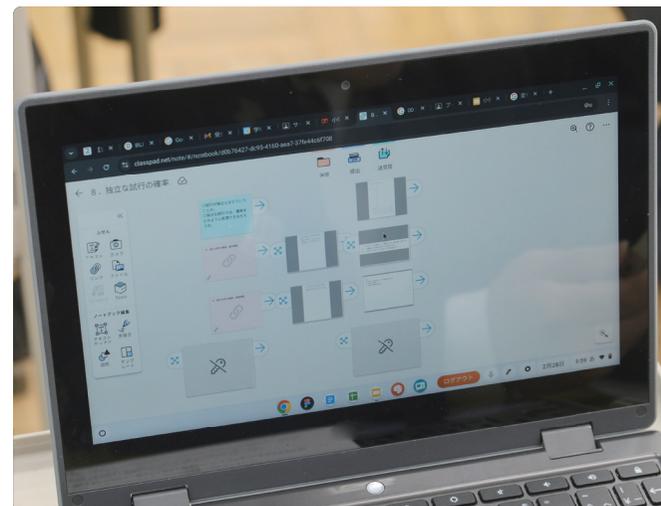


導入前と導入後の変化

授業のコンテンツを俯瞰して提示でき、生徒に学習の全体像を見せながら進められるようになりました。

ClassPad.netを導入したことで、授業の進行や情報の提示方法に大きな変化がありました。これまでは、「これをやりなさい」「次にこれをやりなさい」といった形で、小刻みに情報を提供していました。しかし、ClassPad.netを活用することで、一つの画面上で授業全体のコンテンツを俯瞰して提示できるようになり、生徒に学習の全体像を見せながら進められる点が非常に便利だと感じました。教師側も全体を把握しながら指導できるため、生徒の理解度を確認しやすくなり、より効果的な学習が実現できたと考えています。

また、ClassPad.netのデジタルノート機能を活用することで、情報を階層的に整理できるようになりました。生徒は、学習内容を塊ごとに整理しながら、徐々に抽象化し、階層を上げていくことができます。これにより、段階的に思考を深め、学びの成長を実感できるような使い方が可能になりました。



お気に入りの機能・使い方

特に便利だと感じたのは、Webリンクをデジタルノート上に整理し、必要な情報へスムーズにアクセスできる機能です。

現代はインターネット上に膨大な情報が溢れていますが、それに溺れるのではなく、必要な情報を整理し、ClassPad.net上に適切に配置できる点が非常に優れています。生徒はデジタルノートに貼り付けたWebリンクをクリックするだけで、関連する情報に素早くアクセスできるため、学習の効率が格段に向上します。また、PDFファイルなどの資料も同じノート内に整理できるため、学習リソースを一つのプラットフォームで管理できる点も大きな魅力です。



ClassPad.netを使用した今後取り組みたい授業

現在、生徒と共有しているフォルダーにはタイトルとファイルが並んでいるだけの状態ですが、今後はClassPad.netを活用し、より体系的で直感的に学べる教材構成を構築したいと考えています。具体的には、ClassPad.netのノート機能を活用し、授業の教材・小話・問題などを一つのノートにまとめ、それらを整理しやすい形で配置することを目指しています。

江東区立辰巳中学校 様〈東京 都〉

学校の教育目標

生徒の能力や個性を最大限に伸ばすことが、義務教育最後の3年間の仕事

義務教育を終え社会に巣立っていくことを踏まえ、子どもたちが持っているそれぞれの能力や個性を最大限に伸ばしてあげることが、義務教育最後の3年間を支える中学校の仕事だと思っています。

その上で本校では、目指す人物像として五つの目標を掲げています。

一つ目は、健康でたくましい人。

二つ目は、進んで学ぶ意欲のある人。

三つ目は、人権教育の観点から、周りの人に思いやりを持って接する人。

四つ目は、礼儀正しい人。コミュニケーションをとるために、挨拶をしっかりとできる人になってほしい。

五つ目は、責任を果たす人。人は、役割があることで生きがいを感じると思います。その役割を一つ一つ達成していける人になってほしいと思っています。

ICT教育の課題・テーマ

生徒には、愛着を持ってICTを習得してもらいたい

GIGAスクール構想に基づき、本校も令和3年度から江東区の整備したChromebookを活用しています。生徒は1人1台の端末を持ち、授業や課外活動、特別活動に使用しています。最初のうちは教員も四苦八苦していましたが、4年間様々な形でICTを学習に取り入れ、慣れてきたと感じています。

やはりこれからの時代は、ICTが子どもたちの教育環境の前提になっていくと思います。そして、ICTを駆使できる社会人であることが求められる。子どもたちには、この義務教育最後の3年間で、愛着を持ってICTを習得してもらいたいと思っています。

端末整備状況

現在、江東区では区立小中学校に1人1台の端末を配備済みであり、本校でも生徒全員が活用しています。

ClassPad.net導入に至った経緯と理由

本校教員からの紹介で価値を実感しました

他区から異動してきた教員が、授業支援ソフトを活用して授業をしていたと聞いていました。本校でもICTを活用したより良い授業をと考えていたところ、ちょうどカシオからClassPad.netの紹介があり、私自身良いものだと理解したためトライアル導入することとなりました。



夏目 隆 校長先生



英語 柴田 さや香 先生

「自己紹介」→「他己紹介」の変換を通して代名詞を学ぶ授業
他人に聞かせる意識が芽生え、音読練習に対する意欲と質が向上!

→ P.102



理科 長田 浩貴 先生

植物と動物の細胞を顕微鏡で観察し比較する授業
0から1を作る力が育まれ、生徒の発信力と創造力が向上!

→ P.104

他人に聞かせる意識が芽生え、音読練習に対する意欲と質が向上!

～「自己紹介」→「他己紹介」の変換を通して代名詞を学ぶ授業～

デジタルノート機能、録音機能、グループワーク機能の活用で4技能を伸ばす授業を実現できました!

授業のポイント動画を
動画でご紹介

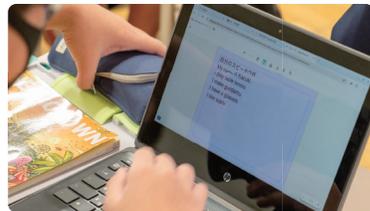


柴田 さや香 先生

授業の流れとClassPad.netの活用方法

STEP 1

デジタルノート機能を使い、生徒がふせんに自己紹介文をライティングする。



STEP 2

自己紹介文のスピーキング練習を行った後、ClassPad.netで音声を録音し提出する。



STEP 3

3～4人のグループになり、自分の自己紹介をグループ内でスピーチし合う。



STEP 4

クラスメイトがスピーチした内容を自己紹介とは別のふせんにまとめる。



STEP 5

教師がサンプルの自己紹介をモニターで共有しながら、主語や所有格を変えて他己紹介の文章に変換する工程を説明する。



STEP 6

クラスメイトがスピーチした内容を他己紹介にライティングし直し、グループ内で発表する。



導入前と導入後の変化

漫然とした音読練習ではなく、クオリティを上げたいというモチベーションが生徒に生まれました。

今まで音読は、どこか漫然とやっていたのですが、ClassPad.netの録音機能を活用し始めたことで、最終的に他人に聞いてもらうことが前提になり、生徒の音読のクオリティが上がりました。

漫然とした音読練習ではなく、最終的に自分の一番良いものを録音したいという気持ちになり、生徒たちも一生懸命になってきていると感じます。



お気に入りの機能・使い方

グループごとの進捗状況に合わせた適切な対応ができるグループワーク機能をよく使っています。

グループワーク機能は、教師側で任意の生徒のグループを作ることができるので、異なる習熟度の生徒で構成されるグループであっても、最終的には各グループを同じようなバランスにして、リーダーを決めるということも容易にできます。また、欠席の生徒が出た場合でも、生徒の入れ替えが簡単に行えます。

さらに各グループの進捗状況が、教師のページからは良く分かります。進捗状況を見て声掛けを変えていったり、進捗が早いグループにはプラスアルファのことを、遅いグループには相応の支援を、ということが出来ます。

もう一つ、音声機能も気に入っています。生徒が録音し提出した音声を聴き、フィードバックすることができますので、この機能も英語科と非常に親和性が高いと思っています。



宿題や自宅学習でのClassPad.netの活用機会

授業でやりきれなかったことを宿題にすることがあります。通常宿題は生徒が自宅一人でやるものですが、グループワーク機能により他の生徒の提出物を見ることができるので、教え合いのような取り組み方ができます。

ClassPad.netを使用した今後取り組みたい授業

動画の送信機能を使いたいと思っています。

スピーチをする際、本番前のチェックとしてスピーチ動画を撮って教師に送信してもらい、教師のフィードバックを基に、より良くしたものをスピーチ本番で生徒に発表してもらおう。そういった使い方を考えています。



生徒に聞いた、ClassPad.netの「良いところ」

小久保 悠真さん

苦手な教科も、自分なりに勉強を進められます!

ClassPad.netは、苦手な教科も自分のやりやすいように取り組むことができます。予習、復習も自分のタイミングでできますし、紙と鉛筆だけの時代に比べ英語のスペルも覚えやすくなりました。

小山内 はるさん

どこにいても、他の人の考えを参考にできます!

学校でも、家でも、ClassPad.netなら他の人の答えや考え、意見を参考にできたり、共有しやすいところが良いと思います。何か分からないところがあった時に、すぐに調べられるのも便利です。

0から1を作る力が育まれ、 生徒の発信力と創造力が向上!

～植物と動物の細胞を顕微鏡で観察し比較する授業～

様々な色のふせんを使い分ける
ことによって、生徒の考察が深められ、
まとめの完成度が上がりました!

授業のポイント
動画を
ご紹介



長田 浩貴 先生

授業の流れとClassPad.netの活用方法

STEP 1

デジタルノート機能であらかじめ作成したふせんを用いて、教師が実験レポートのまとめ方や使用する薬品などの説明をする。



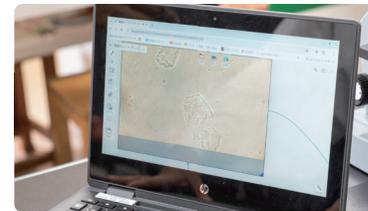
STEP 2

細胞の採取方法動画をClassPad.netで配布。生徒は、配布された動画を確認しながら観察を進める。



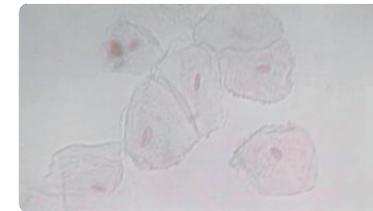
STEP 3

観察した植物(玉ねぎ)と動物(ヒトの頬)の細胞の写真を班ごとにClassPad.netで提出する。



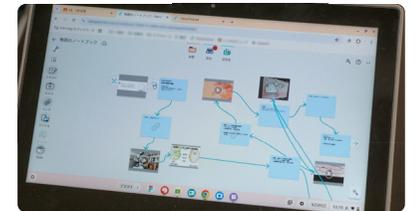
STEP 4

うまく観察できたプレパラートの写真を教室前方のスクリーンで映して、記録する。



STEP 5

生徒が植物と動物の細胞を見比べ、共通点や相違点について自分の考察をデジタルノート機能でまとめる。



宿題や自宅学習でのClassPad.netの活用機会

基本的に課題の提出は学校で授業内にできなかったものを、期限までに自宅でやってもらうという形にしています。その提出のためにClassPad.netを使用しています。

導入前と導入後の変化

0から1を作る力が育まれ、
生徒の発信力と創造力が向上しました。

最後の授業のまとめになる考察の完成度が私自身の課題だったのですが、ClassPad.netを導入してクラス全体で考察を共有し、仕上げていくという活動を取り入れてから、明確に完成度が上がってきたという実感があります。生徒たちの0から1を作る力が付き、授業や学校行事などを通して、かなりの発信力と創造力が向上したと感じています。



お気に入りの機能・使い方

動画と写真の共有が簡単にできることです。

ふせん機能を使い、生徒が自分自身の考えを書いて提出。それを画面に映し、そのまま授業のスライドとしても活用する、という使い方をしています。

ClassPad.netを使用した今後取り組みたい授業

3D教材に力を入れており、3DプリンターやVRを使った授業を考えています。このような教材を取り入れると、生徒たちは楽しく自発的に学習してくれますし、集中力が切れることもなくなります。ClassPad.netでWeb上の3Dデザインソフトや様々な情報を共有することで、授業を進めやすいのではないかと思います。



生徒に聞いた、ClassPad.netの「良いところ」

松枝 蒼弥さん

分からないことを
すぐに解決できるところが魅力!

ClassPad.netなら紙の辞書や教科書を取り出さなくても、自分で調べてすぐに解決できるのが良いと思います。また、共有する時にメールアドレスの入力をする必要がなく、クラスメイトの名前ですぐ共有できるので、これも便利です。

石田 風さん

発表の機会が増え、
発表が得意になりました!

ClassPad.netはスライドを使って発表できるので発表の機会が増え、発表が得意になりました。また、課題が配信されると、いつでもどこからでもその課題を提出できるところが便利だと思います。

大西 遥さん

デジタルノート機能は、
頭の中を可視化できます!

ClassPad.netのデジタルノート機能で、ふせんに思い付いたことをどんどん書いて、矢印で繋げたりしながら自分の考えをまとめたり、その過程を整理したりしています。脳内をパッと可視化できるのがとても良いと思います。

信州大学教育学部附属長野

校訓・学校の教育目的

「ともに学び 一人となる」

ICT教育の課題・テーマ

情報活用の実践力

情報の科学的な理解

情報社会に参画する態度

本校では、ICT活用に上記三つの観点で取り組んでいます。

一つ目の「情報活用の実践力」は、課題や目的に応じて情報手段を適切に活用することを含め、必要な情報を主体的に収集、判断、表現、処理、創造して、受け手の状況などを踏まえて発信・伝達できる能力です。

二つ目の「情報の科学的な理解」は、情報活用の基礎となる情報手段の特性を理解すること。そして情報を適切に扱ったり、自らの情報活用を評価・改善したりするための基礎的な理論や方法を理解することです。

三つ目の「情報社会に参画する態度」は、社会生活の中で情報技術が果たしている役割、あるいは及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報に対する責任について考え、望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度です。

これらを養うべく、日々の教育活動に取り組んでいます。

中学校様〈長野県〉

※トライアル版導入校となります

端末整備状況

令和2年にまずは3年生から、そこから順次導入され、令和3年からは全校生徒が使える状態でスタートしています。BYAD (Bring Your Assigned Device) 形式で導入させていただき、1人1台Chromebookを使用しています。

ClassPad.net導入に至った経緯と理由

ClassPad.netは、信州大学教育学部の森下孟准教授からご紹介いただきました。ちょうど当時使用していた教育アプリの見直しを検討していた時期でもありましたので、英語科から活用し始めました。

カシオの強みでもあると思いますが、英語科の職員からは「辞書機能が非常に充実していて、非常にありがたい。」という声が上がっています。



赤羽 勲夫 校長先生



英語 入間川 浩侑己 先生

主体的に考え協働的に話し合いながら作り上げる英作文の授業
英文作成・読解時に、自ら調べ理解を深める主体的な学びへと変容!

→ P.108



英語 齊藤 優 先生

日本の伝統的なイベントを英語で発表し合う授業
知識の蓄積が生徒の自信と安心に繋がり英作文・スピーチの質が向上!

→ P.110



英文作成・読解時に、自ら調べ 理解を深める主体的な学びへと変容！

～主体的に考え協働的に話し合いながら作り上げる英作文の授業～

※トライアル版導入校となります

英作文のための調べ学習と
振り返りのためのまとめを
スムーズに行えました！

授業のポイント
動画を紹介します



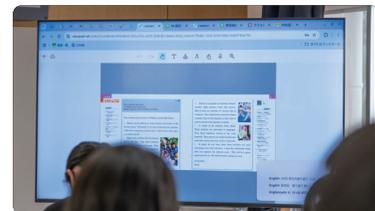
入間川 浩侑己 先生

授業の流れとClassPad.netの活用方法

本時は、ジェイコブ先生というニュージーランドの教師から届いた「日本の文化体験でニュージーランドの生徒たちに人気があるもの、気になっているもの」について記載されたメールに対し、「ニュージーランドの生徒たちに一つ、おすすめするとしたらどの文化活動が良いか」を返信する、というゴールに向けた英作文の授業です。

STEP 1

ClassPad.netのふせん機能であらかじめ用意してあった「ジェイコブ先生からのメール」や「関連する映像資料」を生徒に送付する。



STEP 2

生徒が二人一組となり、ジェイコブ先生からのメール内容をスピーキングし合いながら確認する。



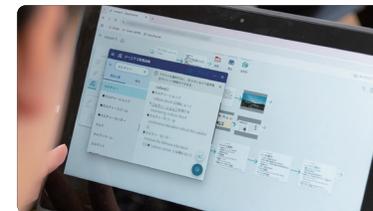
STEP 3

三人一組のグループを作り、ジェイコブ先生からのメールにあった「着物」「空手」「書道」の三つの文化活動について、どの活動を推薦するか、担当する立場を決める。



STEP 4

説得力を伴って伝えるにはどうしたら良いか考え、ClassPad.netのオンライン辞書機能で単語や構文などを調べながらふせんにライティングする。



STEP 5

グループ内で自分の考えを伝え合い、グループとしてどの活動を推薦するかを議論し、グループ内での議論内容をクラス全体に発表する。



STEP 6

同様に「おすすめを提案する」次回の授業に向け、本授業の振り返りをClassPad.netのふせん機能にまとめる。



導入前と導入後の変化

オンライン辞書機能を使うようになり、 生徒が自ら理解を深めていけるようになりました。

やはりオンライン辞書機能が大きなポイントです。授業の中で生徒たちが分からない単語に出合った時に、オンライン辞書機能を活用して自身で理解を深めていける有益な教育アプリだと感じました。その他の機能でも、ファイルのダウンロードや共有機能など、非常に有益なものが多いと感じます。生徒たちにとっては、何かを提出した時に友達の提出したものも見られる、席が遠い生徒の考えもClassPad.netの提出BOXを見て参考にすることができるのは、ClassPad.netがもたらした効果です。



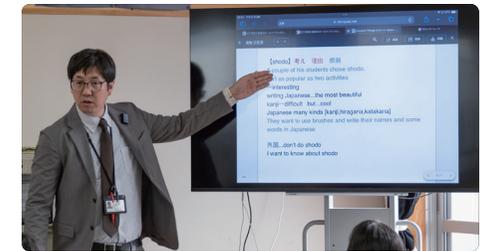
お気に入りの機能・使い方

一つ目はオンライン辞書機能があること。
二つ目は、どの場所でも私のアカウントさえあれば、クラウド上で提出物等が見られることが大きな利点だと思います。
デバイスが変わっても私のアカウントで入れれば確認できるので、出張先でクラスに提出したものを見返したいと思った時などにとても便利です。



ClassPad.netを使用した今後取り組みたい授業

オンライン辞書機能の活用を定着させるためには、繰り返し使っていくことが非常に大事だと思います。オンライン辞書機能を使って自分の単語帳を作ったり、ビデオに撮ったものを再確認したりすることに活用できればと思っています。



生徒に聞いた、ClassPad.netの「良いところ」

日置 湘太さん

授業内容を振り返りやすくなり、学んだことの繋がりを考えられるようになりました！

ClassPad.netによって授業内容の振り返りがしやすくなったことで、前回の授業で学んだことと今回の授業で新たに学んだことの違いがはっきり分かるようになりました。今までの学びをこれからどう活かしていくか、学習の繋がりを考えられるようになりました。

特に活用しやすい教科は英語で、自主学習に効果的に活用しています。授業中に出てきた単語が分からなかった時にオンライン辞書機能ですぐに調べられ、さらにその単語を単語帳にまとめることができますので、自宅でも復習することができ、単語をより深く理解できます。

知識の蓄積が生徒の自信と安心に繋がり 英作文・スピーチの質が向上!

～日本の伝統的なイベントを英語で発表し合う授業～

※トライアル版導入校となります

使用した単語の単語帳を作成することで知識が蓄積し、アウトプットに活かせるようになりました!

授業のポイントを動画で紹介



齊藤 優 先生

授業の流れとClassPad.netの活用方法

STEP 1

「紅葉狩り」や「七夕」など、自分が伝えたい日本の伝統的なイベントについての発表内容を構想する。



STEP 2

構想を基にClassPad.netでお互いの発表を記録し合う。



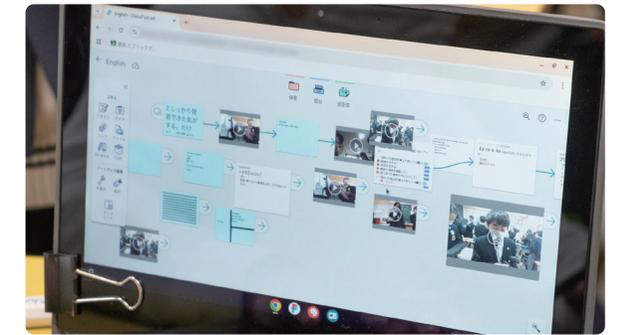
STEP 3

記録した音声を聴き、発表の中で使用している単語を抽出し、ClassPad.netのオンライン辞書機能で単語帳を作成する。単語帳作成を通して、自分が使えるようになった単語とその単語をどのように活用できるようになったのかを振り返る。



STEP 4

自分が伝えたい内容を発表するために収集した画像やふせん機能に記録したテキスト、記録した映像、振り返りで整理した単語などをデジタルノートにまとめる。



導入前と導入後の変化

生徒たちが喜んでオンライン辞書機能を活用し、英語の理解が遅い生徒でも目を見張るようなアウトプットを出すようになりました。

授業をしていると、クラスの中でじっくりと時間をかけて理解したい生徒も一定数います。その生徒たちがオンライン辞書機能に触れた時に、ぱっと表情が明るくなったことが非常に印象的で、覚えています。生徒たちはオンライン辞書機能に自分の調べた単語を入れておくことで、安心して学習できるのだと思います。

本授業の発表でも、「よくここまでできたな」と驚くような内容を話していました。ClassPad.netのオンライン辞書機能を使って自分で書き溜めた知識をアウトプットしたのだと思います。英語科として目指したい生徒の姿を見られたように思えました。

すぐできる、賢いと言われる生徒もいますし、ゆっくり自分のペースを大事にして学習していく生徒もいます。

特に英語科は3年間を通したトータルで見ているので、教師としては3年間かけてできるようになれば良いというスタンスで臨んでいます。ただ、クラスで一緒に授業を進めていくと、できないがはっきりしてしまう教科でもあります。そういったところに難しさを感じる生徒がいるのは事実ですが、ClassPad.netによってそれが少し解消されたように感じます。1年生の段階ですごいった効果が表れたことは、生徒たちの今後の学習への取り組みに良い影響があると思います。



お気に入りの機能・使い方

オンライン辞書機能により、インターネットでの翻訳から脱却することができました。

一番良いと思う機能はやはりオンライン辞書機能です。生徒たちは、インターネットでの翻訳から脱却するにはどうしたら良いだろうと苦勞していました。そんな時、ClassPad.netのオンライン辞書機能を生徒たちに紹介したところ非常に喜び、「4月の最初の単元からこれがあったら良かった」という声が挙がったほどでした。

インターネットの翻訳が全くだめという訳ではないのですが、インターネットの翻訳機能や辞書で調べた単語の正しい意味は何だったのかをClassPad.netのオンライン辞書機能で振り返ることができるのは非常に良いと思います。また、オンライン辞書機能の中でも、発音が確認できることが特に良いと思っています。ClassPad.netでは例文の中の単語や表現について、発音でも分かるところが優れています。生徒たちはアウトプットとしてスピーキングすることが多いので、ClassPad.netで発音が確認できることは非常に有益です。



生徒に聞いた、ClassPad.netの「良いところ」

森下 颯音 さん

オンライン辞書機能で主体的に調べ学習をするようになり、情報収集能力が高まりました!

英語の授業で文章を構成する際、以前は分からないことがあった時にインターネットの翻訳機能を使っていましたが、ClassPad.netのオンライン辞書機能を使うことで、素早く正確な情報を調べられるようになり、より速く文を構成できるようになりました。さらに、ClassPad.netを活用して主体的に調べ学習をすることによって、情報収集能力が高まったと感じます。情報収集能力は今後の社会で最も問われる能力だと思いますので、その力を培い、就職や様々な研究などに役立てたいです。

活用サポート

無料トライアル実施中!

一部のオンライン辞書、デジタルノート、ツール、授業支援をお試しいただけます。

詳細はこちら



認定教師制度

「CASIO PARTNER TEACHER」

ClassPad.netを存分に活用した授業を行っていただいている先生方を認定させていただきます。認定された先生方には様々なメリットをご用意しています。

詳細はこちら



公式YouTubeチャンネル

カシオ社員自らが登場して、操作方法・手順やメリット、導入校様活用事例、製品紹介動画などを中心に配信しています。

詳細はこちら



公式コミュニティサイト

先生の先生による先生のためのコミュニティ。先生方が一緒になってスキルや知識向上が図れる集まりです。

詳細はこちら



オンラインミーティング

いつも学校現場でご奮闘されている先生方同士の出会いや発見、そして新たな学びの創出を目指して、定期的を開催しています。

詳細はこちら



その他サポート・お問い合わせ

利用開始時に必要な登録作業のお手伝い、先生・生徒様への説明会など、導入時から導入後までサポートいたします。

● 登録作業のサポート

ご利用開始時の登録作業などをお手伝いいたします。

● 使い方講習（先生向け、生徒向け）

先生や生徒様向けの講習会を実施いたします。

● サポート窓口

導入時の疑問や、利用時のお困りごとなどをお問い合わせいただけます。

ご興味をお持ちの学校様、カシオ社員による説明をご希望の学校様は、こちらからお気軽にご連絡ください。



先生と一緒に授業を
より良く!

